

トヨタ純正

**HDDナビゲーション
「NHzN-W60G」**

オーディオ取扱書 詳細版



■この取扱書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(ii~viページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、

安全にご使用ください。

その後大切に保管し、わからないとき再読してください。

トヨタ自動車株式会社

ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。

この取扱書では安全にご使用いただくため、特に守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

	警告	記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。
	注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあります。
	アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

安全上のご注意



警告

- 本機はDC12V ⊖アース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。

火災の原因になります。



警告

- 本機の取り付け、取り外し、配線の変更はしないでください。

不適切な取り付けや配線の場合、故障や車両火災などの事故につながるおそれがあり危険です。

本機の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告

- SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



警告

- 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



注意

- 実際の交通規制を守ってください。

本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。

また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事などでも道路状況が変わります。実際の交通規制を必ず守って運転してください。



注意

- 走行中の操作は危険ですので、停車して安全を確認の上、操作してください。

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

なお、本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。

走行中は一部の細街路を消去します。



注意

- HDD（ハードディスク）更新用コネクタ、B-CASカードの保護カバーは、地図データの更新時およびB-CASカードの出し入れ以外は開けないでください。

ゴミなどが入り故障の原因になります。



注意

- モニター収納動作中、手などをはさまないように注意してください。

手などをはさんでケガをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。



注意

- 車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因になります。



注意

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因になるおそれがあります。また、煙や異音がでたり、異臭がする場合には、すぐにオーディオ機能の電源をOFFにしてお買い上げの販売店にご相談ください。



注意

- 本機およびHDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、調整することは、絶対にさけてください。

本機内部は、精密な構造になっているので、万一不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。故障の原因になります。



注意

- バッテリー上がりにはご注意ください。

エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動することは避けてください。
バッテリー上がりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。



注意

- 車内温度は上げすぎたり、下げすぎたりしないでください。

夏期は車内の温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。
冬期は車内の温度が低くなることがありますので、車内の温度を上げてからお使いください。
そのまま使用すると故障の原因になります。



注意

- ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。
故障の原因になります。



注意

- ラジオアンテナにモーターアンテナをご使用のときはアンテナを折らないように注意してください。

本機ではFM多重放送の**VICS**情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がらません。モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車両情報設定にてモーターアンテナ車に設定してください。

モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下がります。駐車場など天井の低い場所にはいる前は、必ず、オーディオ機能の電源をOFFにしてアンテナが収納されたことを確認してください。

アンテナを下げずに天井の低い場所にはいると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。



注意

●A/T車の場合

- ・ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。(コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
- ・チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

●M/T車の場合

- ・ディスクを取り出す際、1・3・5 (R) ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。
- ・チルト位置を設定する際、1・3・5 (R) ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。



アドバイス

●著作権保護された番組について

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

●現在地の表示について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や、長時間バッテリーをはずしておいた場合には、自車の現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置を修正します。

●結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部のレンズが結露して正常に作動しないことがあります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は販売店にご相談ください。

●画面のムラについて

寒冷時にエンジンスイッチをONにしたあと、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。



アドバイス

●本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動などにより記録されたデータが消失する場合があります。ご購入後、お客様が本機に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にバックアップをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

- ①本機の故障、誤作動、または不具合などにより、あるいは本機が電気的なノイズの影響などを受けたことにより、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータなどが変化・消失した場合。
- ②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、ハードディスクドライブ内の地図データや基本プログラム、お客様が本機に記録されたデータなどが変化・消失した場合。
- ③本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータなどが変化・消失した場合。

※なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

●本書に掲載されている画面は実際の画面と異なる場合があります。また、製品の仕様などの変更により本書の内容と製品が一致しない場合がありますのでご了承ください。

●取扱書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類によって異なることがあります。

●地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。

●地図データの誤字・脱字・位置ずれなど表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。

●地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

もくじ

1. はじめに	目的別早見表 1-1 主な特長 1-3 お使いになる前に 1-5 各部の名称とはたらき 1-8 ディスク・SDメモリーカードの出し入れ 1-10 ディスプレイの角度を調整するには 1-16 画面の調整 1-17
2. 共通の操作	電源の入れ方・音量調整のしかた 2-1 テレビ・オーディオの切り替え 2-3 音の調整 2-6
3. テレビ・ラジオ	地上デジタルテレビをお使いになる前に 3-1 初回起動時の設定 3-6 地上デジタル放送を見るには 3-9 チャンネルを設定するには 3-13 受信モードを切り替えるには 3-18 番組表を見るには 3-21 番組内容を見るには 3-23 データ放送を見るには 3-25 信号を切り替えるには 3-27 緊急警報放送（EWS）を見るには 3-30 情報を見るには 3-31 システムを設定するには 3-36 アイコン一覧 3-39 車載用ビデオデッキのモニターとして使うには 3-40 ラジオを聞くには 3-41 交通情報を聞くには 3-44
4. DVD・CD	DVDプレーヤーをお使いになる前に 4-1 DVDプレーヤーを使うには 4-12 ビデオCDプレーヤーを使うには 4-32 CDプレーヤーでCDを聞くには 4-40 MP3／WMAプレーヤーで音楽を聞くには 4-43

1 はじめに

2 共通の 操作

3 テレビ ラジオ

4 DVD CD

5 サウンド ライブラリ

6 SDカード 連携

7 外部機器

8 音声操作

9 ステアリング スイッチ

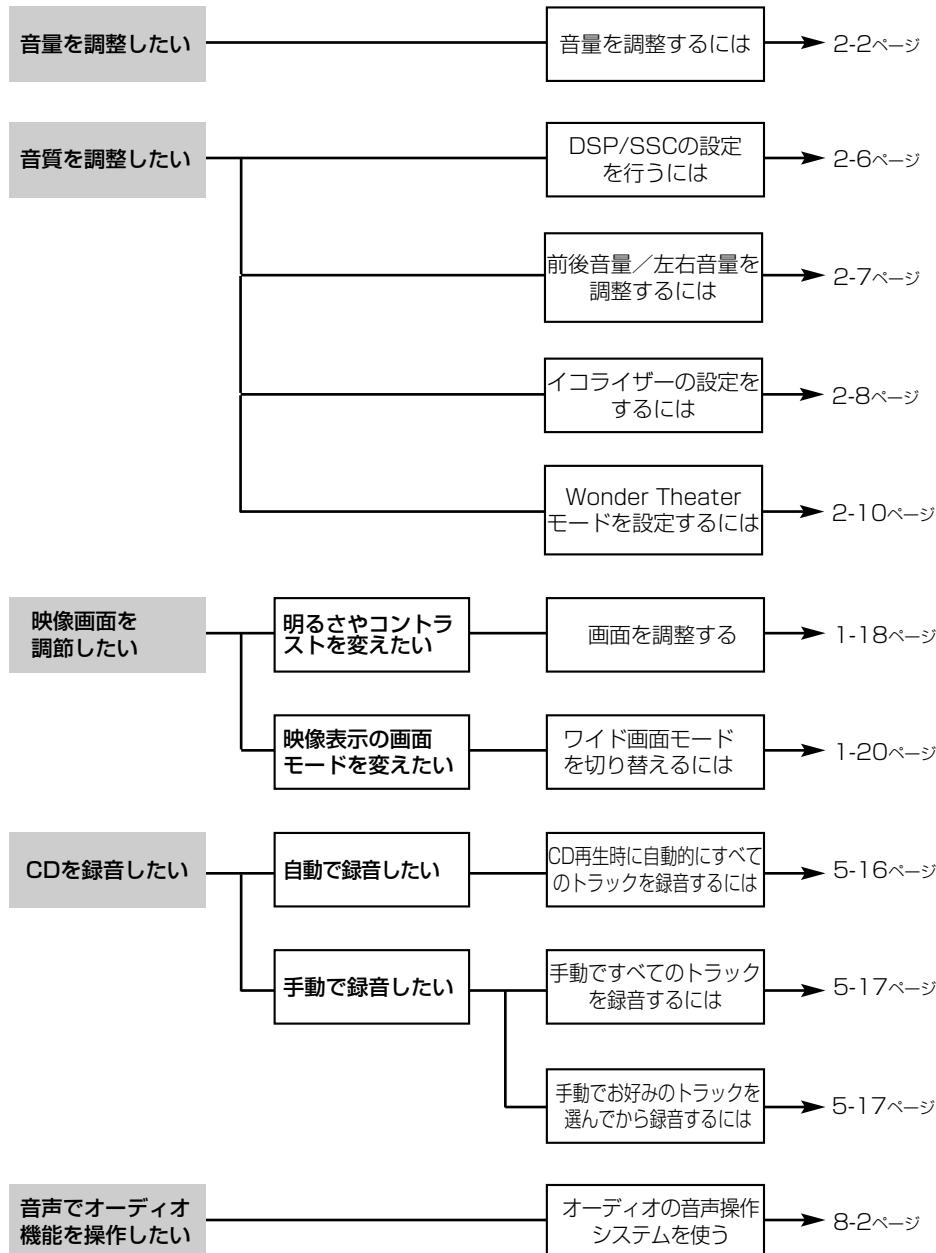
10 知っておいて ください

5. サウンドライブラリ	サウンドライブラリをお使いになる前に 5-1 目的別早見表 5-12 CDを録音するには 5-14 サウンドライブラリを聞くには 5-19 サウンドライブラリを編集するには 5-27 音声操作で楽曲を検索するには 5-40
6. SDカード連携	SD AUDIOで音楽を聞くには 6-1
7. 外部機器	iPod®で音楽を聞くには 7-1 USBメモリーで音楽を聞くには 7-11 ポータブルオーディオ機器を接続して使う（AUX） 7-23 後席ディスプレイを使うには 7-26
8. 音声操作	音声操作システムについて 8-1 音声操作の使いかた 8-2 音声操作システムの操作例 8-5 音声入力コマンド一覧 8-7
9. ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチ 9-1
10. 知っておいてください	Gracenote 音楽認識サービスのご利用について 10-1 こんなメッセージが表示されたとき 10-2 故障とお考えになる前に 10-5 アンテナのお手入れについて 10-8 用語説明 10-9 用語さくいん 10-12

目的別早見表

オーディオを使いたい

地上デジタルテレビ放送を見る	→ 3-9ページ
DVDを見る	→ 4-12ページ
ビデオCDを見る	→ 4-32ページ
VTRを使う	→ 3-40ページ
ラジオを聞く	→ 3-41ページ
交通情報を聞く	→ 3-44ページ
CDを聞く	→ 4-40ページ
MP3/WMAを聞く	→ 4-43ページ
SD AUDIOを聞く	→ 6-1ページ
サラウンドライブラリを聞く	→ 5-12ページ
iPodを聞く	→ 7-1ページ
USBメモリーを聞く	→ 7-11ページ
ポータブルオーディオ機器を接続して使う	→ 7-23ページ
Bluetoothオーディオを聞く	→ 「G-BOOK・Bluetooth取扱書詳細版」の「Bluetoothオーディオの操作」を参照



主な特長

1
はじめに

主
な
特
長

地上デジタルチューナー内蔵

デジタルテレビ機能では受信した1セグ、12セグ放送を見ることができ、ご家庭のデジタルテレビ同様、データ放送や番組表など様々な機能を利用することができます。

(P.3-9参照)



DVDダイレクトタッチ機能

DVDのメニューやチャプターなどの項目を直接タッチして操作することができます。
(P.4-15参照)



サウンドライブラリ機能

CDを挿入するだけで簡単にHDDに録音することができます。アーティスト名やアルバム名、トラック名などの楽曲情報も、あらかじめ収録されているデータベースから自動的に付与されます。(P.5-19参照)



MP3/WMA再生機能

音楽データを高压縮率で保存するMP3/WMAを再生することができます。
(P.4-43参照)



SD AUDIO再生機能

SD JUKEBOXからSDメモリーカードに保存した音楽データを再生することができます。(P.6-1参照)

**Bluetoothオーディオ再生機能**

Bluetoothを搭載したポータブルオーディオなどをBluetooth接続すると、本機でワイヤレス操作ができます。(「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」を参照)

**音質調整機能**

クラブや映画館などの臨場感を再現するDSP。原音を崩さず低音、高音域を強調するSSCなどお好みにあわせて音響を演出できます。(P.2-6参照)

**iPod/USBメモリー再生機能**

オプションのiPod対応USB/VTRアダプターを購入した場合、お手持ちのiPodまたはUSBメモリーを接続して、iPodまたはUSBメモリーの音楽を聞くことができます。(P.7-1, P.7-11参照)



お使いになる前に

●悪路走行時について

悪路走行中などで振動が激しい場合、HDD（ハードディスクドライブ）の地図データを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。

●精密機器のため取り扱いに注意

極端な高温や低温の中でのご使用は誤動作や故障の原因になりますので周囲の温度には注意してください。

また本機内部に金属物や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。

●ディスクの取り扱いに注意

- ・ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなどの誤動作の原因になる場合があります。特にケースからの出し入れにご注意ください。
- ・ラベル面に紙などをはつたりしないでください。デッキ内部でラベルがはがれて故障の原因になります。
- ・ディスクは曲げたり、キズをつけないでください。

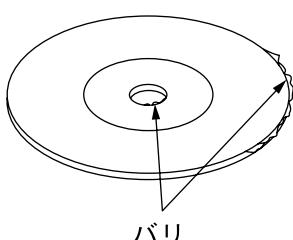
●ディスクの保管上の注意

- ・長時間使用しないときは、汚れ、ゴミ、キズ、そりなどを避けるため、ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- ・ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所に置くことは避けてください。
 1. 長時間直射日光のあたる場所。
 2. 湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
 3. 暖房器具の熱が直接あたる場所。
 4. 車のシート、ダッシュボードの上。

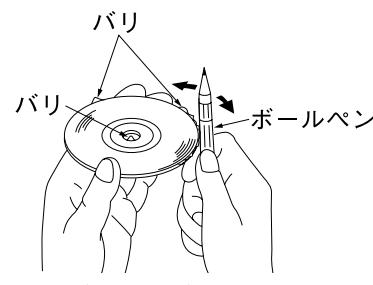
●新しいディスクの使用上の注意

新しいディスクには、ときによりディスクのセンターホールや外周にバリが残っていることがあります。このようなディスクをご使用になるとディスクが正しくセットされず、動作しないことがあります。

このような場合には、あらかじめディスクのセンターホール内側や、外周のバリを細い棒状のもの（例えばボールペンなど）で取り除いてからお使いください。



バリについて



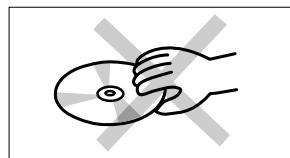
バリの取り除きかた

●ディスクのクリーニングについて

- ・ディスクに汚れやゴミがついたときは、水を含ませたやわらかい布でふいたあと、乾いた布でふいてください。
- ・ディスクをふきとる際には、ディスクの内側中心から外側方向へ軽くふきとってください。
- ・ベンジン、アナログ式レコード盤クリーナー、静電防止剤を使いますと、ディスクを傷めるので使用しないでください。



ディスクの持ち方



ディスクのクリーニング

●SDメモリーカードの取り扱いに注意

- ・濡れたり汚れたりした手で、SDメモリーカードに触れないでください。
故障の原因になります。
- ・SDスロットにはSDメモリーカード以外のものを入れないでください。
故障の原因になります。
- ・SDメモリーカードは次の場所で使用・保管をしないでください。
故障の原因になったり、本機に悪影響をおよぼすことがあります。
 - 静電気が発生するところ
 - 電気的ノイズが発生するところ
 - 高温・多湿のところ
 - 結露するところ
 - 腐食性があるところ
- ・SDメモリーカードは精密電子機器です。次の事項を必ず守ってください。
故障の原因になります。
 - 折り曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたましください。
 - ホコリ・ゴミが付着している状態で、SDスロットに挿入しないでください。
 - SDスロットに挿入するときは、正しい向きで、奥までしっかりと差し込んでください。
- ・保管するときや持ち運ぶときは、市販のケースに入れてください。
SDメモリーカードに大きな力が加わると、壊れるおそれがあります。

●お手入れの仕方

<本機の清掃>

- ・ベンジン、シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

<ディスプレイ部の清掃>

- ・画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理しております。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

●著作権について

- ・本機は著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

●HDD（ハードディスクドライブ）のデータについて

- ・本機は、CDの音楽をHDD（ハードディスクドライブ）へ記録することができます。お車を転売・廃棄する際は、HDD（ハードディスクドライブ）に記録した個人情報、および第三者の著作物データなどは削除してください。
- ・お客様がハードディスク内に録音された音楽データは、著作権保護上他のナビゲーションや音楽機器へムーブ・コピーすることはできません。

●データの補償に関する免責事項について

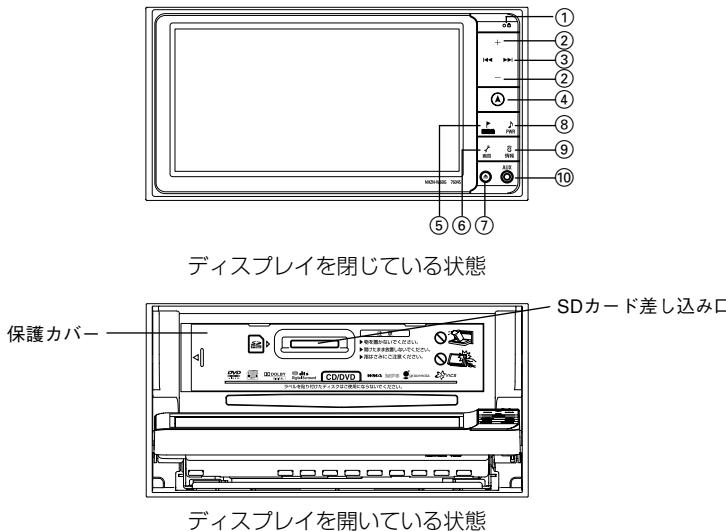
- ・本機は各種データをハードディスクに保存します。本機の故障・修理、誤動作、または不具合等により、ハードディスクに保存されたデータ等が変化・消失する場合があります。お客様がハードディスクに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタンを押したり画面に表示されるタッチスイッチを直接タッチして操作します。

1
はじめに

各部の名称とはたらき



●操作ボタンについて

① インジケータランプ

セキュリティ機能を設定すると、お車を離れた際にランプが点滅して盗難を抑止します。

② VOLボタン

テレビ・オーディオ機能の音量を調整するときに押します。

③ TUNE・TRACKボタン

テレビ・ラジオの放送局の選局、楽曲の選曲やDVDのチャプターを選択するときに押します。

④ 現在地ボタン

ナビゲーションを呼び出し、現在地画面を表示するときに押します。現在地を表示しているときは、現在地の地名を表示します。

⑤ 目的地ボタン

目的地設定画面を呼び出すときに押します。

⑥ 設定・画質ボタン

設定・編集画面を呼び出すときに押します。または、画面の明るさを調整したり、画面モードの切り替えや画面を消すときに押し続けます。

⑦ OPEN (TILT) ボタン

ディスクの差し込みや取り出し、ディスプレイの角度を調整する画面を表示するときに押します。

⑧ AUDIO・PWRボタン

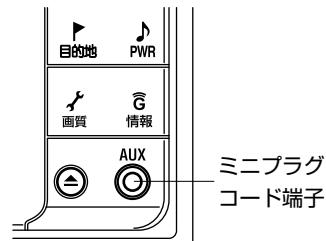
オーディオ操作画面を表示するときに押します。またはオーディオ機能の電源を入れるときや、切るときに押し続けます。

⑨ G・情報ボタン

情報機能、G-BOOK機能、BTナビ機能を呼び出すときに押します。

⑩ ミニプラグコード端子

市販のミニプラグコードで、市販のポータブルオーディオなどを接続できます。

**●タッチスイッチについて**

タッチスイッチ

画面のスイッチに
タッチして操作し
ます



- ・タッチスイッチは“ピッ”という音が鳴るまでタッチしてください。
- ・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- ・スイッチの反応がないときは、一度画面から手をはなしてから再度タッチしてください。
- ・操作できないタッチスイッチは色が反転します。
- ・スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが強調表示されるものもあります。
- ・1つ前の画面に戻すときは [戻る] にタッチします。

<本書でのスイッチ表示>

- ・タッチスイッチにタッチするときは、 [〇〇〇] でスイッチ名称を表示しています。

**アドバイス**

液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

ディスク・SDメモリーカードの出し入れ

音楽をお聞きになるときは、音楽CD、SDメモリーカードを、ビデオを再生するときは、DVDまたはビデオCDを各差し込み口に入れてください。

1
はじめに

ディスク・SDメモリーカードの出し入れ

1 各ディスク（CD・DVD）、SDメモリーカードの入れ方

ディスク・SDメモリーカードの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。

(1) ◎ を押します。

- ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。

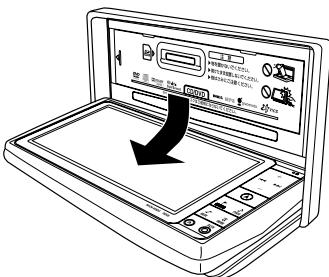


(2) CDまたはDVDを挿入するときは [DISC]、SDメモリーカードを挿入するときは [SD] にタッチします。

- ディスプレイ部が開き、ディスクの差し込み口があらわれます。

(3) ディスクを差し込む場合は、ディスクのラベル面を上向きにして、ディスクの差し込み口に差し込みます。

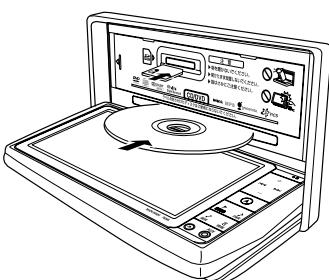
SDメモリーカードを差し込む場合は、SDメモリーカードのラベル面を上にしてSDスロットに奥まで挿入します。



(4) ◎ を押すとディスプレイ部が閉じます。

- ディスクが正しく差し込まれるとディスプレイ部が自動で閉じます。

● SDメモリーカードを差し込んだ場合は、[CLOSE] にタッチしてディスプレイ部を閉じてください。



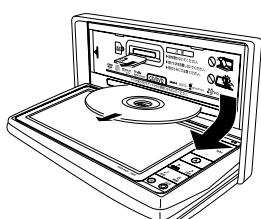
アドバイス

SDメモリーカードまたはディスクが差し込まれている場合は、スイッチにそれぞれ「SD IN」「DISC IN」と表示されます。

！ 注意

- 地図ディスク（DVD-ROM）は使用できませんので差し込まないでください。
- CDおよびDVD、ビデオCDは、同じ差し込み口を使用するため、同時に使用できません。
また、既に挿入されている差し込み口にさらにディスクを挿入しないでください。

2 各ディスク（CD・DVD）、SDメモリーカードの出し方



- (1) ④ を押します。
 - ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。
- (2) CDまたはDVDを取り出すときは **DISC** にタッチします。
 - ディスプレイ部が開き、ディスクが押し出されます。
SDメモリーカードを取り出す場合は、 **SD** にタッチします。
 - ディスプレイ部が開き、SDメモリーカードを押すと、SDメモリーカードが押し出されます。
- (3) ④ を押すとディスプレイ部が閉じます。
 - **CLOSE** にタッチしてもディスプレイ部が閉じます。

！ 注意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあります。
- ディスクやSDメモリーカードを出し入れするとき、ディスクやSDメモリーカードが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。ディスクやSDメモリーカードを傷つけるおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。また、ディスプレイ部の開閉時に指がはざまるおそれがあります。ご注意ください。
- 本機の金属部分は高温になるため、手を触れないでください。
ディスプレイ部の裏側など高温のため、やけどをするおそれがあります。





アドバイス

- ディスク差し込み口にはディスク以外は入れないでください。また、SDスロットにはSDメモリーカード以外は入れないでください。
本機内部は精密な構造になっていますので、ディスク、SDメモリーカード以外は絶対に入れないとください。故障の原因になります。
- 8cmディスクを使用するときはアダプターを使用せずに、そのままディスクを挿入してください。
アダプターを使用するとディスクを取り出せなくなるおそれがあります。
- ディスクレベル面に「CDロゴ」(下記のマーク)の入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。
- 音楽用CD・映像用DVD・ビデオCDは下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R (CD-Recordable)／CD-RW (CD-ReWritable)、映像用DVD、DVD-R／DVD-RW、ビデオCDがご使用できます。



- DualDisc (DVD層と非DVD層を一枚に貼り合わせた両面ディスク)は、右記のマークが付いている場合のみ、DVD層を映像用DVDとして再生することができます。上記のマークが付いていない、または非DVD層については、規格外ディスクとなりますので、再生の保証は致しかねます。また、ディスクの差し込みや取り出しのときにディスクに傷が付くことがあります。



- 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますのでご使用にならないでください。

- CCCD (Copy Control CD) は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。

ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などをお読みください。

- 本機では、スーパーオーディオCD (SACD) はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。

- 本機は、DTS-CDに対応しています。

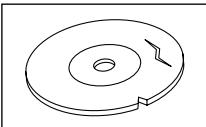
- CD-R/RW、DVD-R／RWディスクのご使用について

- ・市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- ・CDレコーダー (CD-R/RWドライブ) で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- ・CD-R/RW、DVD-R／RWは、通常の音楽CDや映像用DVDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ・ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ・DVD-R/RWは、DVDビデオフォーマット、またはDVDビデオレコーディング・フォーマット (VRモード) で録画したDVDのみ再生できます。
- ・DVD-R/RWは、ディスクの特性、汚れ、またはピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。

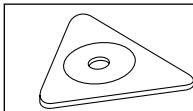


アドバイス

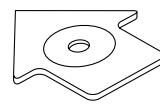
- 市販されているプロテクトフィルムやスタビライザーはご使用にならないでください。
本機に使用しますと故障の原因になります。
- 画面保護のため、ディスプレイ部は必ずお閉めください。
- 特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。
本機に使用しますと故障の原因になります。



傷のあるCD

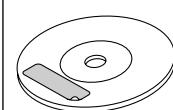


特殊形状のCD

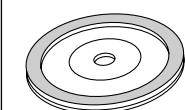
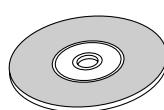
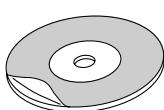


●ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（ディスクリング、保護シール）はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



シール、ステッカー、プリントラベルが貼られたディスク



ディスクアクセサリー



アドバイス

● SDスロットにはSDメモリーカード以外は入れないでください。

本機内部は精密な構造になっていますので、SDメモリーカード以外は絶対に入れないでください。故障の原因になります。

● SDメモリーカードには、プリントラベル類や紙、ステッカーなどを貼らないでください。

SDメモリーカードの厚さや外形寸法が変わったり、内部ではすれ取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

● 画面保護のため、ディスプレイ部は必ずお閉めください。

● SDメモリーカードについて

本機で使用できる市販のSDメモリーカードは、次の条件を満たしているものに限ります。この条件から外れた場合は、本機で正しく動作する保証はできません。なお、本機では、専用アダプターを用いた場合のみ miniSDカード / microSDカードをご使用になれます、マルチメディアカード (MMC) はご使用になれませんのでご注意ください。

※SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。

※SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

■ 使用できるSDメモリーカード

- ・本機は8MB～2GBまでのSDメモリーカードおよび4GB～32GBまでのSDHCメモリーカードに対応しています。

- ・SDHCメモリーカードはSDHCメモリーカード対応の機器で使用できますが、SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。（必ず、お使いの機器の説明書をお読みください。）

- ・SDメモリーカードが正常に動作しない場合には、再度抜き差ししてください。

■ 推奨フォーマットソフトウェア

市販のSDメモリーカードは、購入してそのままご使用になります。ただし、デジタルカメラなど他の機器でフォーマットした市販のSDメモリーカードを使用するときは、次のいずれかのソフトを使用してフォーマットしてください。

- ・Panasonic SD-Jukebox V5以降

- ・Panasonic SDメモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0以降

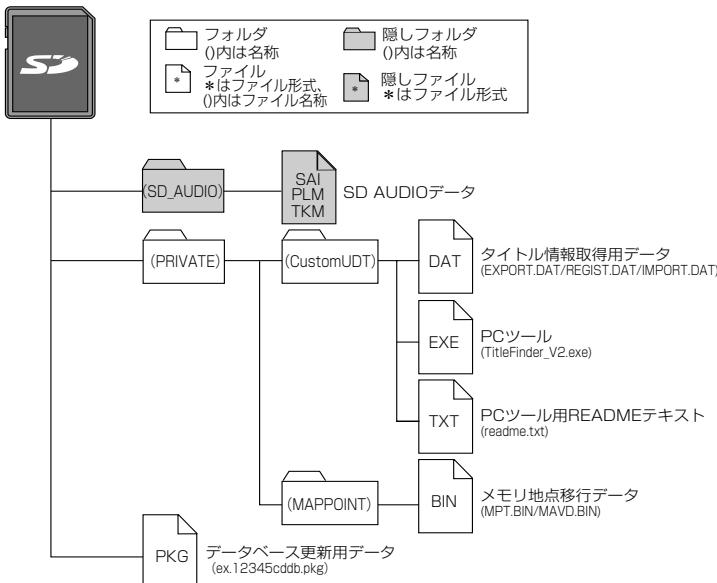
上記以外のソフトでフォーマットされたSDメモリーカードで、SD規格に準拠していない場合は本機で使用できないことがあります。また、使用できた場合でも、再生時の音飛びなどの不具合は保証できません。



アドバイス

● SDメモリーカードのディレクトリー構造について

本機で使用できるSDメモリーカードのディレクトリー構造は、以下のようにになっています。



- ダウンロードするときは、SDメモリーカードの誤消去防止用レバーを記録可の位置にしてください。
- SDメモリーカードへのデータ書込中に、エンジンスイッチまたはACCをOFFにしたり、SDメモリーカードを取り出さないでください。データが破壊される場合があります。
- SDメモリーカードの空き容量が不足した場合は、不要なデータを消去するか、別のSDメモリーカードをご使用ください。
- 本機からSDメモリーカードへのデータ書込みを行った際に作られたフォルダは、削除できません。削除するには、SDメモリーカードを再フォーマットしてください。

● SDメモリーカードへのデータの書き込みについての詳細は、以下を参照ください。

- ・ SD AUDIO (P.6-1参照)
- ・ 楽曲タイトルデータベース更新用データ (P.5-4参照)
- ・ 音楽情報出力データ (P.5-8参照)
- ・ PCツール出力データ (P.5-6参照)
- ・ メモリ地点移行データ（「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリーデバイスを使う」参照）

- お客様の大切なデータは、バックアップをとつておくことを推奨します。

ディスプレイの角度を調整するには

画面が見えにくいときにディスプレイの角度を6段階で調整することができます。

1
はじめに



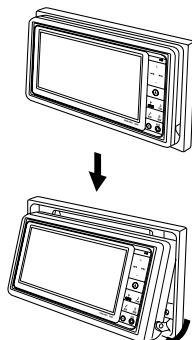
(1) ◎ を押します。

● ディスプレイの角度を調整する画面が表示されます。

(2) にタッチするごとに、ディスプレイ部の角度が1段階ずつ傾きます。

● にタッチすると、ディスプレイ部の角度が1段階ずつ戻ります。

● ◎ を押すと、ディスプレイの角度を調整する画面が解除されます。



アドバイス

- ディスプレイが傾いている状態でも、◎ を押してから または にタッチするとディスプレイは傾きます。
- ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、傾いた状態に戻ります。

ディスプレイの角度を調整するには



注意

- ディスプレイの角度調整をするときは、手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、故障の原因になります。
- ディスプレイが傾いている状態では、ディスクの差し込み口が見えることがあります。ディスクなどを絶対に差し込まないでください。故障やディスク破損の原因になります。

画面の調整

画面の明るさや色の調整、またテレビのワイド画面サイズの切り替えなどができます。

1
はじめに

画面の調整



アドバイス

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により＜昼画表示＞と＜夜画表示＞に切り替わります。

昼画表示



ライト点灯

ライト消灯

夜画表示



1 ライト点灯時に昼画表示にするには



- (1) 夜画を表示しているときに を押し続けます。
- (2) **昼画面** にタッチします。
 - 昼画表示のときは、作動表示灯が点灯します。
 - **昼画面** にタッチするごとに昼画面と夜画面が切り替わります。
 - 画面を消したいときは **画面消** にタッチします。
- (3) 調整が終了したら **完了** にタッチします。

2 コントラスト（鮮明度）／明るさを調整するには



(1) [] を押し続けます。

■ コントラスト（鮮明度）を調整する

強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■ 明るさを調整する

明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

(2) 調整が終了したら **完了** にタッチします。



アドバイス

- コントラスト（鮮明度）／明るさ調整は、昼画面・夜画面でそれぞれ独立して調整することができます。

- 液晶AIが設定されているときは、コントラスト（鮮明度）／明るさは調整できません。

3 液晶AI機能を使うには

コントラスト（鮮明度）／明るさの調整が自動で行われます。



(1) テレビ/DVD/ビデオCDをご覧になっているときに [] を押し続けます。

(2) **液晶AI** にタッチします。

- 液晶AI機能が作動しているときは、作動表示灯が点灯します。

- 液晶AI機能を解除するときは、再度 **液晶AI** にタッチします。

(3) **完了** にタッチします。



アドバイス

液晶AI設定は、テレビ/DVD/ビデオCDの映像画面が表示されているときに設定できます。

4 色合い／色の濃さを調整するには



- (1) テレビ/DVD/ビデオCD/バックモニター/(マルチビュー) バックガイドモニター/ブラインドコーナーモニター/サイドモニター/マルチアングル全周囲モニターをご覧になっているときに を押します。

■ 色合いを調整する

緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤**にタッチします。

■ 色の濃さを調整する

色を濃くするときは **濃**、色を淡くするときは **淡**にタッチします。

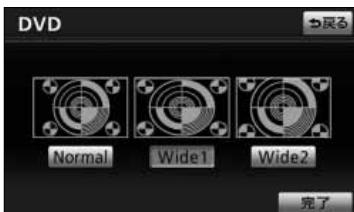
- (2) 調整が終了したら **完了** にタッチします。



アドバイス

色合い／色の濃さは、テレビ/DVD/ビデオCD/バックモニター/(マルチビュー) バックガイドモニター/ブラインドコーナーモニター/サイドモニター/マルチアングル全周囲モニターの映像画面が表示されているときに調整できます。

5 VTR/DVD/ビデオCDのワイド画面モードを切り替えるには



- (1) ビデオ操作画面（P.3-40参照）またはDVD、ビデオCDの各種切替画面（P.4-9、P.4-34参照）で **Wide** にタッチします。
- (2) 表示させたい画面モードにタッチします。



● **Normal** にタッチすると、たて3：よこ4の割合の画面で両端が黒く表示されます。

たて3：よこ4の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。

たて9：よこ16の割合の映像は、左右方向に圧縮されます。

● **Wide1** にタッチすると、画面を全て使用した映像が表示されます。

たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。

たて9：よこ16の割合の映像も、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。

● **Wide2** にタッチすると、たて3：よこ4の割合の画面（標準画面）を上下左右方向に均等に引き伸ばして表示します。（「Normal」に設定したときの画面が、左右を合わせて引き伸ばして表示されます）

この場合、上下方向も左右方向と同じように引き伸ばすため上下の画面が切れて表示されます。



アドバイス

たて9：よこ16の割合の映像が収録されているDVD（P.4-4参照）をオリジナルと同じ比率で表示するには、ワイド画面の設定を「Normal」または「Wide2」に設定し、DVDの初期設定画面（P.4-30参照）で映像出力切替を「4：3（レターボックス）」に設定して下さい。

6 デジタルテレビのワイド画面モードを切り替えるには



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で **設定** にタッチした後の画面で **Wide** にタッチします。
 - 画面モード切替画面が表示されます。
- (2) 表示させたい画面モードにタッチします。
 - 画面モードがタッチしたモードに切り替わります。

- **Normal** にタッチすると、たて3：よこ4の割合の画面で両端が黒く表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像は、左右方向に圧縮されます。
- **Wide** にタッチすると、たて9：よこ16の割合の画面が表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。
- **Full** にタッチすると、画面を全て使用した映像が表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像も、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。



注意

テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されるとオリジナルの映像とは見え方に差が出ることをご留意ください。また、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の（分割表示や）圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

はじめに

メモ

1

はじめに

メ
モ

電源の入れ方・音量調整のしかた

オーディオ機能のオン・オフや音量の調整ができます。

1 電源の入れ方

オーディオの電源のオン・オフを行うことができます。



(1) エンジンスイッチをONまたはACCにします。

(2) を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

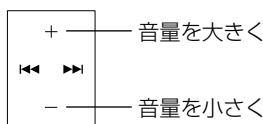
(3) を押し続けます。

- **AM** や **FM** 等のオーディオモードスイッチにタッチしても、電源がオンになります。

- をもう一度押し続けると電源はオフになります。

2 音量調整のしかた

音量の調整を行うことができます。



+ 音量を大きく
◀◀ 音量を小さく
-

(1) VOLボタンで音量を調整します。

- VOL「+」またはVOL「-」を押します。



アドバイス

- VOLボタンは短く押すと1ステップずつ音量が変わり、長く押すと手をはなすまで音量が変わり続けます。
- ボリュームが最大（最小）になると、それ以上の音量は変わりません。
- DVD、ビデオCD、AUX、Bluetoothオーディオのボリュームとは別に調整することができます（P.4-6、P.7-25および「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」の「Bluetoothオーディオの操作」を参照）。



注意

走行中の操作は安全運転に支障がないよう十分注意して行ってください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



アドバイス

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが故障ではありません。

テレビ・オーディオの切り替え

1 テレビ・オーディオの切り替え方

以下の操作でオーディオモードを切り替えることができます。



オーディオモードスイッチ

※1 挿入された以下のディスクのオーディオモードに切り替わります。
DVD/CD(MP3/WMA含む)/ビデオCD。

※2 各機器を接続時のみ表示。

- (1) を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。
- 画面下部にオーディオモードスイッチが表示されます。

- (2) オーディオモードを選んでタッチします。

- **AM** AMラジオに切り替わります。
- **FM** FMラジオに切り替わります。
- **CD/DVD** ディスク^{*1}に切り替わります。
- **HDD** サウンドライブラリに切り替わります。
- **TV** デジタルテレビに切り替わります。
- **BT** Bluetoothオーディオに切り替わります。
- **AUX** AUXに切り替わります。
- **SD** SD AUDIOに切り替わります。
- **iPod / USB** iPod^{*2}またはUSBメモリー^{*2}に切り替わります。
- **VTR** VTR^{*2}に切り替わります。



アドバイス

- 画面に表示されていないオーディオモードを選ぶときは · にタッチして、画面に表示されるオーディオモードスイッチを切り替えてください。
- メディアが挿入されていない場合は **CD/DVD** · **SD** のスイッチが反転して操作できません。
- 録音されている曲が無い場合は **HDD** のスイッチが反転して操作できません。
- 機器が接続されてない場合は **AUX** のスイッチが反転して操作できません。
- ポータブルオーディオが本機に登録されてない場合は **BT** のスイッチが反転して操作できません。
(ポータブルオーディオの登録方法については、「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」の「Bluetoothオーディオの操作」を参照してください)
- オプションのiPod対応USB/VTRアダプターのみ本機に接続されている場合は **USB** のスイッチが反転して操作できません。

2 オーディオ操作画面について

● オーディオ操作画面を表示するには



(1) を押します。

- 選択されているオーディオモードの操作画面を表示します。

● オーディオ操作画面の表示設定を行うには

オーディオ操作画面を表示させてから一定時間後に表示を解除して元の画面に戻るか、表示をそのまま継続するかの設定ができます。



(1) を押します。

- 設定・編集画面が表示されます。

(2) **共通設定** にタッチします。

- 共通設定画面が表示されます。

(3) オーディオ操作画面の表示を一定時間後に自動的に解除したいときは、操作画面継続表示の **しない** にタッチします。

- オーディオ操作画面を継続して表示させたいときは **する** にタッチします。

- 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

(4) **完了** にタッチします。



アドバイス

しない に設定しているときは操作画面を表示させてからおよそ20秒以上何も操作しなかったときに、自動的に解除されます。

共通の操作

2
共通の
操作

テレビ・オーディオの切り替え

●各オーディオモードの操作画面

AM (P.3-41参照)



FM (P.3-41参照)



交通情報 (P.3-44参照)



CD (P.4-40参照)



MP3/WMA (P.4-43参照)



ビデオCD (P.4-33参照)



DVDビデオ (P.4-7参照)



DVD-VR (P.4-7参照)



サウンドライブラリ (P.5-19参照)



デジタルテレビ (P.3-9参照)



Bluetoothオーディオ^{※3}



AUX^{※1} (P.7-24参照)



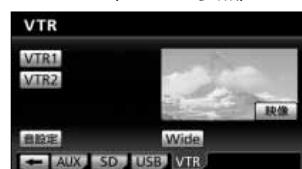
SD AUDIO (P.6-2参照)



iPod/USBメモリー^{※1※2} (P.7-1, P7-11参照)



VTR^{※1※2} (P.3-40参照)



※1 接続する各機器は、別途お買い求めください。

※2 接続コードは販売店オプション。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

※3 「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」の「Bluetoothオーディオの操作」を参照してください。

音の調整

音質や前後左右の音量の調整を行うことができます。

1 DSP/SSCの設定を行うには

DSP（音場）を設定することで再生する音楽に残音響を加え、クラブや映画館などの臨場感のある音場を擬似的に再現したり、SSCを設定することで低音・高音を強調しても波形を崩すことなく中音域とのバランスを保ち、音にメリハリを出すことができます。

DSP SSC 設定状態



(1) 各モードの操作画面を表示させているときに **音設定** にタッチします。

- 音設定画面が表示されます。
- DVD操作画面（P.4-7参照）またはビデオCD操作画面（P.4-33参照）で **音設定** にタッチした場合は、P.2-10の④(2) の画面が表示されます。

(2) **DSP SSC** にタッチします。

(3) DSP（音場）またはSSCを選択すると下記の表のような音質効果を持たせることができます。

- DSP（音場）またはSSCの効果を無効にするには **OFF** にタッチします。
- Compression機能は小さな音のみ大きくします。走行中のノイズに埋もれてしまう映画のセリフや小さな音が明瞭に聞こえるようになり、迫力感が増します。

(4) **完了** にタッチします。

- DSPとSSCを設定すると、各モードの操作画面に設定状態が表示されます。



タッチスイッチ	機能
CLUB	ディスコ、クラブの音場を擬似的に再現します。
THEATER	映画館の音場を擬似的に再現します。
STADIUM	球場の音場を擬似的に再現します。
SSC 1	サウンドに少しだけ厚みを持たせます。
SSC 2	サウンドにほどよい厚みを持たせます。
SSC 3	サウンドに大幅な厚みを持たせます。



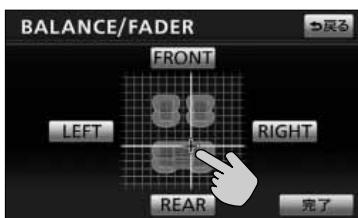
アドバイス

- DSP（音場）とSSCの設定を同時にすることはできません。P.2-6の①の(3)の画面で **SSC 1** をタッチしたあとに **CLUB** にタッチすると SSC1 の設定を解除して CLUB に設定します。
- DSP（音場）とSSCの設定は、各オーディオモード毎で、別々に設定できます。
- SSCが設定されているときは、EQ (P.2-8の③参照) の設定はフラットの状態となります。
- オーディオモードがDVDまたはビデオCDの場合は、Wonder Theaterモード (P.2-10の④参照) が「FLAT」に設定されているときに DSP と SSC の設定を行なうことができます。
- SSCの音質効果が大きい場合、お車のスピーカーによっては音が歪むことがあります。その時は SSC1 または SSC2 に効果を下げるご使用ください。
- DSP（音場）が設定されている場合、再生する音楽によっては残音響が歪んで聞こえることがあります。その時は DSP（音場）の効果を無効にしてご使用ください。

2 前後音量／左右音量を調整するには

音量のバランスを調整することができます。

- (1) 音設定画面 (P.2-6の①の(2)参照) で、
BALANCE FADER にタッチします。



- (2) お好みのバランスポイントにタッチします。微調整するときは、下記のタッチスイッチにタッチして設定できます。

■ 前後音量を調整する

前側音量を強調する場合は **FRONT** 、後側音量を強調する場合は **REAR** にタッチします。

■ 左右音量を調整する

右側音量を強調する場合は **RIGHT** 、左側音量を強調する場合は **LEFT** にタッチします。

- (3) **完了** にタッチします。



アドバイス

- オーディオモードがDVDまたはビデオCDの場合は、Wonder Theaterモード (P.2-10の④参照) が「FLAT」に設定されているときに BALANCE/FADER の調整を行うことができます。
- Wonder Theaterモード (P.2-10の④参照) が「FLAT」以外に設定されているときは、BALANCE/FADER はセンターの位置に設定されます。

3 イコライザーの設定をするには

7帯域の出力を好みで設定できます。

設定値は、**EQ1**～**EQ5**に保存し、必要に応じて呼び出せます。

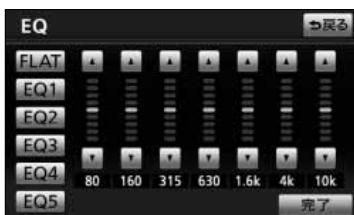
●イコライザーを切り替えるには

- (1) 音設定画面（P2-6の**1**の（2）参照）で、**EQ**にタッチします。

- (2) **EQ1**～**EQ5**を選びます。

●選んだ設定に切り替わります。

- (3) **完了**にタッチします。



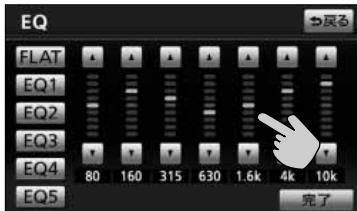
タッチスイッチ	機能
FLAT	全ての周波数が±0dBの、フラットな設定です。
EQ1	Rock : シャープでダイナミックなサウンドを再現します。
EQ2	Pops : 聴きやすくかつメリハリを持たせます。
EQ3	Bass_Boost : 低域を強調します。
EQ4	Treble_Boost : 高域を強調します。
EQ5	Vocal_Boost : 中域を強調します。



アドバイス

- イコライザーの設定値は、各オーディオモード毎で、別々に設定できます。
- イコライザーの設定値、オーディオモード、再生するディスクなどの組み合わせによっては、ノイズが発生する場合があります。そのときは、**FLAT**など、ノイズの発生しない設定に切り替えてください。
- SSC（P.2-6の**1**参照）設定されているときは、EQの画面は表示できません。
- オーディオモードがDVDまたはビデオCDの場合は、Wonder Theaterモード（P.2-10の**4**参照）が「FLAT」に設定されているときにEQの設定を行うことができます。

●イコライザーの設定値を変更するには



- (1) P.2-8の**③**の(2)の画面で、調整したい周波数帯域にタッチして、各周波数の出力を設定します。
- (2) 微調整するときは、**▲**・**▼**をタッチして、設定します。
 - **EQ1**～**EQ5**からお好みの番号を選び、ピット音がなるまでタッチし続けると、設定内容が選んだ番号に上書き保存されます。次回**EQ1**～**EQ5**をタッチするだけで、設定内容を呼び出せます。
 - 設定内容は、**FLAT**には保存できません。
 - **FLAT**をピット音がなるまでタッチし続けると、**EQ1**～**EQ5**の設定内容が初期設定に戻ります。
- (3) **完了**にタッチします。

4 Wonder Theaterモードを設定するには

DVDビデオまたはビデオCDを再生すると、Wonder Theaterモードになります。Wonder Theaterとは、DVD音声を自動で4スピーカーに振り分け、簡易的に5.1チャンネルサウンドを作り出す機能です。ビデオCDの音声にも対応しておりスピーカーの増設なしに車内で臨場感溢れるサウンドを楽しむことができます。



(1) DVD操作画面（P.4-7参照）またはビデオCD操作画面（P.4-33参照）で**音設定**にタッチします。

- 音設定画面が表示されます。



(2) **Wonder Theater**にタッチします。

- Wonder Theaterモード設定画面が表示されます。



(3) Wonder Theaterモードを選択します。

- **FLAT** オリジナルの音響効果を楽しむことができます。

- **Cinema1** ドライバー席で映画視聴用に最適化された音響効果を提供します。

- **Cinema2** フロント席で映画視聴用に最適化された音響効果を提供します。

- **Cinema3** 迫力あるサウンドと明瞭なセリフで映画館にいるような臨場感のある音響効果を提供します。

- **Music** クリアなサウンドでコンサート会場にいるような広がり感のある音響効果を提供します。

(4) **完了**にタッチします。



アドバイス

Wonder Theaterが「FLAT」以外に設定されているときは、DSP/SSC、Compression、EQ、BALANCE/FADERは設定できません。

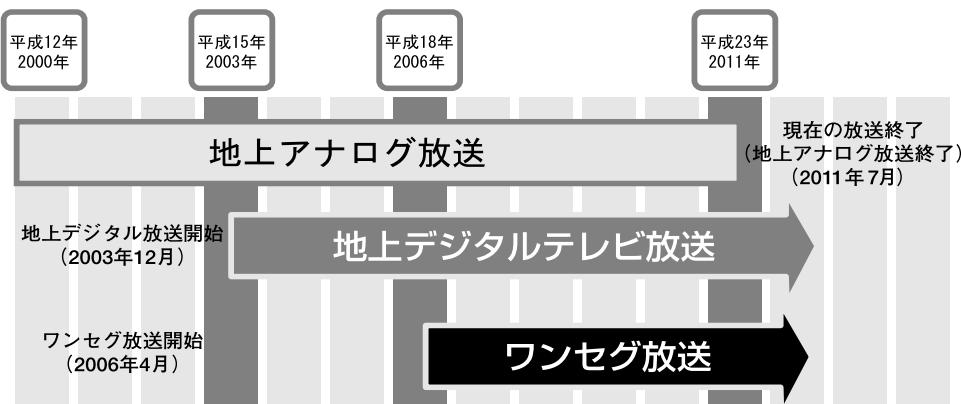
地上デジタルテレビをお使いになる前に

地上デジタル放送について

地上デジタル放送は、UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は、2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。

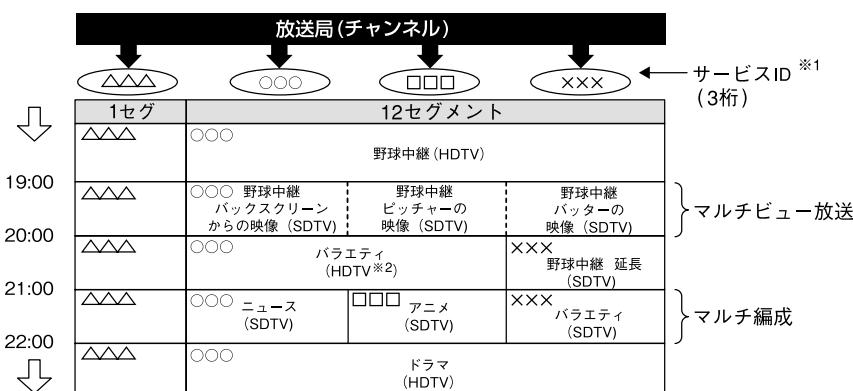
3
テレビ
ラジオ

地上デジタルテレビをお使いになる前に



地上デジタル放送では1つのチャンネルが、13の「セグメント」という単位で分割されています。そのうち12セグメントを使ってハイビジョン映像（HDTV）や、標準映像（SDTV）の番組を提供しています。

標準映像は1つのチャンネルで複数の番組を同時に提供することができます（マルチ編成）。残りの1セグメントは、移動体向けのワンセグ放送（P.3-3参照）に使用されます。



※1 サービス内容によって、サービスIDが変更、追加される場合があります。

※2 標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

サービス番号・リモコンチャンネル・サービスIDの表示について

本機は受信している番組を、サービス番号^{※1}で表しています。また、リモコンチャンネル^{※2}やサービスID^{※3}でも表示します。

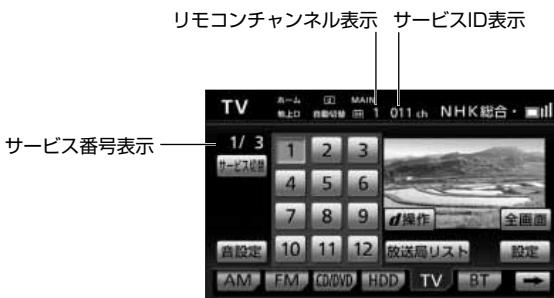
※1 地上デジタル放送では1つの放送局（チャンネル）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。サービス番号とは、これらの番組（サービス）を区別するための番号です。

※2 リモコンチャンネルとは、家庭のテレビなどのリモコンに割り当てられている放送局（チャンネル）のことです。

※3 サービスIDとは、各放送局に割り当てられた2桁のチャンネル番号と、1桁のサービス番号を組み合わせたチャンネルのことをいいます。

3
テレビ
ラジオ

地上デジタルテレビをお使いになる前に



アドバイス

- サービス番号の切り替えについてはP.3-11の**2**、の「●サービス切替スイッチで選ぶには」を参照してください。
- リモコンチャンネルの切り替えについてはP.3-11の**2**、の「●プリセットスイッチから選ぶには」を参照してください。
- サービスIDの切り替えについてはP.3-10の**2**、の「●TUNE・TRACKボタンで選ぶには」を参照してください。

ワンセグについて

「ワンセグ」とは、携帯、移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。地上デジタル放送では1チャンネルをHDTV放送時は12セグメントを使用し、残りの1セグメントを使うため、このように命名されました。

1チャンネル (13セグメント)													
地上デジタル放送	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
地上デジタル 放送	(HDTV放送時) (SDTV放送時)												
ワンセグ													



注意

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseにに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- ・AVC規格に準拠する動画（以下、AVCビデオ）を記録する場合
- ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ・ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。

<http://www.mpeglal.com>

B-CASカードについて

●B-CASカードとは

B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタル放送を受信するときは、必ずB-CASカードを本機に差し込む必要があります。

B-CASカードの動作確認についてはP.3-8を参照してください。

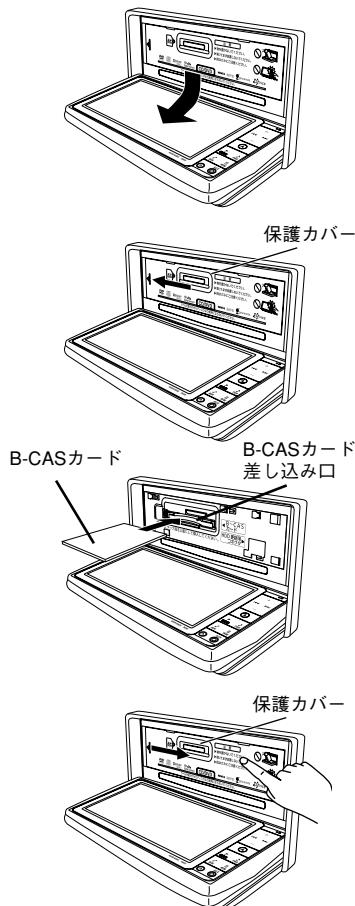


アドバイス

- より詳しい情報は、<http://www.b-cas.co.jp>をご覧ください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- 車を手放す際のカードの取り扱いについては、販売店にご相談ください。

B-CASカードの出し入れ

1 B-CASカードの入れ方



(1) ④ を押します。

- ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。

(2) **DISC** または **SD** にタッチします。

- ディスプレイ部が開きます。

(3) 保護カバーを左にスライドし、引き上げた後、手前に引いて保護カバーを取りはずします。

(4) B-CASカード差し込み口にB-CASカードを差し込みます。

- B-CASカードは、ICチップ面を上面にして差し込んでください。

(5) 保護カバーをはめ込み、右にスライドさせて保護カバーを取り付けます。

(6) B-CASカードの動作確認をします。

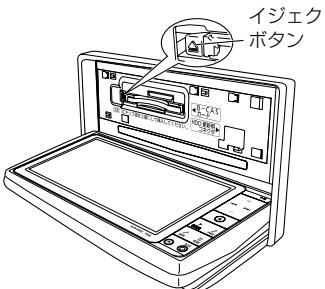
- B-CASカードの動作確認は必ず行ってください。詳しくは、P.3-8を参照してください。



注意

- B-CASカード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。
- 保護カバーを取り付ける際は、指で押さえながら右にスライドさせてください。
無理にスライドさせると保護カバーがゆがみ、破損の原因となります。

2 B-CASカードの取り出し方



- (1) ディスプレイ部を開けます。(P.3-4の1 参照)
- (2) 車のエンジンを切り、ACCオフにします。
- (3) 保護カバーを取りはずします。(P.3-4の1 参照)
- (4) イジェクトボタンを押し、B-CASカードをゆっくりと引き出します。

3
テレビ
ラジオ

地上デジタルテレビをお使いになる前に



注意

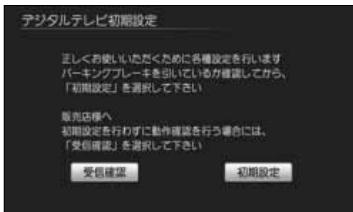
ご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

初回起動時の設定

正しくお使いいただくために、ご購入後初めてデジタルテレビをお使いになる前に、居住地域の設定、受信チャンネルの設定、B-CASカードの動作確認を行います。画面の指示に従って初期設定を行ってください。

■ 初期設定を行うには

● 居住地域の設定



- (1) デジタルテレビを初めてお使いいただく際に表示される初期設定画面で **初期設定** にタッチします。
- 郵便番号を設定する画面が表示されます。
 - **受信確認** にタッチすると、アンテナレベルの確認を行います。



- (2) 自宅の郵便番号を1文字ずつタッチして入力します。
- (3) **決定** にタッチします。
- 県域の設定をする画面が表示されます。



- (4) 自宅の郵便番号を1文字ずつタッチして入力します。
- (5) **決定** にタッチします。
- 県域の設定をする画面が表示されます。



アドバイス

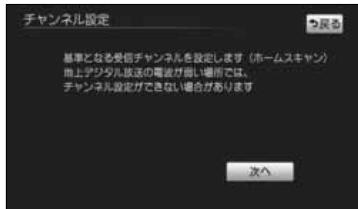
- 県域を設定する画面は郵便番号の入力に応じて、地方と都道府県が強調表示されます。
- 伊豆、小笠原諸島地域は「沖縄・その他島部」の「東京都島部」をお選びください。
- 南西諸島鹿児島県地域は「沖縄・その他島部」の「鹿児島県島部」をお選びください。
- 引越しなどで居住地域の設定を変更したいときは、P.3-37 「**2 地域を設定する**」を参照してください。

テレビ・ラジオ

3
テレビ
ラジオ

初回起動時の設定

●チャンネルの設定



(1) [次へ] にタッチします。

●チャンネル設定の地域を選択する画面が表示されます。



(2) [◀] または [▶] にタッチして地域を切り替えます。

(3) [決定] にタッチします。

●自宅のある地域で受信できる地上デジタル放送の放送局をスキャンし、スキャン終了後、リストが表示されます。

(4) 正しく選ばれていることを画面で確認し、[決定] にタッチします。

●B-CASカードの動作を確認する画面 (P.3-8参照) が表示されます。

● [▲] または [▼] にタッチして、変更したいチャンネル番号を選択します。

● [◀] または [▶] にタッチして、放送局を変更します。



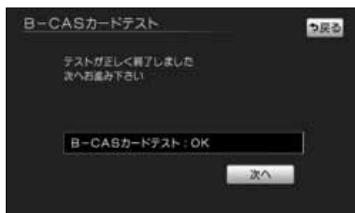
アドバイス

- 受信される地域によっては一覧表を表示するまで約5分程度かかる場合があります。
- 引越しなどでチャンネルを再度設定したいときは、P.3-13「1 ホームモードでチャンネルを設定するには」を参照してください。

●B-CASカードの動作確認



(1) テストにタッチします。

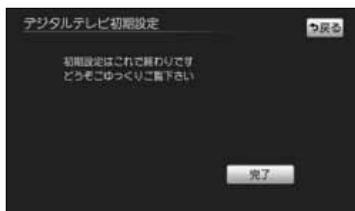


(2) テストが正しく終了したときは 次へにタッチします。



アドバイス

B-CASカードの異常を検出したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

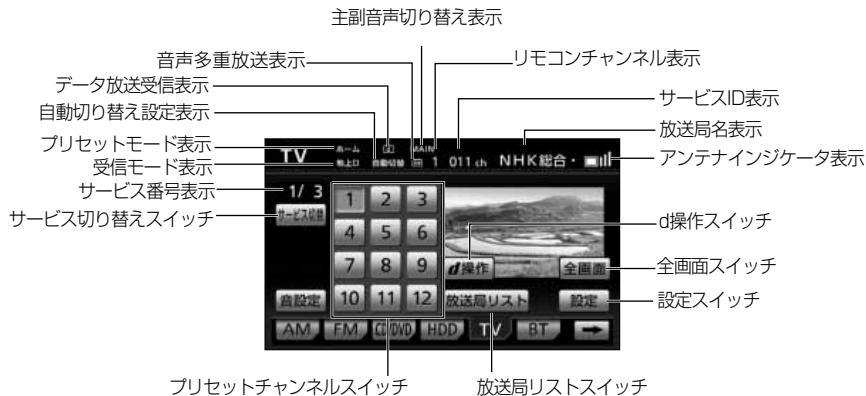


(3) 完了にタッチし、初期設定を終了します。

地上デジタル放送を見るには

本機で地上デジタル放送を楽しむことができます。

●デジタルテレビ操作画面



3
テレビ
ラジオ

地上デジタル放送を見るには

1 デジタルテレビを見るには



(1) を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

(2) にタッチします。

●デジタルテレビ操作画面が表示されます。

● が表示されていないときは、 にタッチしてページを切り替えます。

●デジタルテレビ操作画面で または映像部分にタッチすると、デジタルテレビ操作画面が消去され、デジタルテレビ映像が表示されます。

●もう一度デジタルテレビ操作画面を表示したい場合は、 を押すか画面にタッチするとデジタルテレビ操作画面が表示されます。



アドバイス

- 初めてお使いになる場合は、初期設定を行います。P.3-6の**1**を参照してください。
- 車が停車中で、車のパーキング・ブレーキがかけられているときにデジタルテレビ映像をお楽しみいただけます。
- 走行中は安全のため、デジタルテレビ映像が消え、音声だけになります。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
- 地上デジタルテレビ放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC5.1ch放送）を放送している場合があります。本機はAAC5.1ch放送には対応していません。AAC5.1ch放送を受信した場合、2ch再生となります。
- 本機は双方向通信には対応していません。
- 受信状態表示について
本機は電波の状態をインジケータによって確認することができます。



2 選局するには

選局するには以下の4つの操作方法があります。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



(1) |◀◀▶▶|の左右を押します。

●|◀◀▶▶|(右)を押すと番組(サービス)が順送りに切り替わります。

●|◀◀▶▶|(左)を押すと番組(サービス)が逆送りに切り替わります。

●プリセットスイッチから選ぶには



- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.3-9参照) でプリセットスイッチにタッチします。

●選択したプリセットスイッチに登録された放送局（チャンネル）を選局します。

●放送局リスト画面から選ぶには



- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.3-9参照) で「放送局リスト」にタッチします。

●放送局リスト画面が表示されます。

- (2) 選局したいチャンネル（リスト）にタッチします。

●選択したリストに登録されたチャンネルを選局します。

●「全画面」にタッチまたは映像部分にタッチすると、デジタルテレビ映像が表示されます。

●サービス切替スイッチで選ぶには



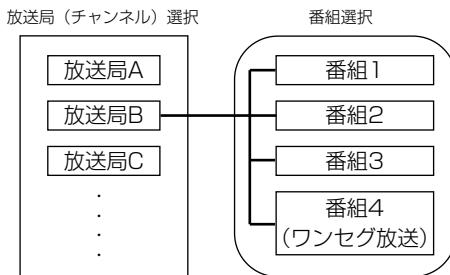
- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.3-9参照) で「サービス切替」にタッチします。

●タッチするごとに番組（サービス）が切り替わります。



アドバイス

- ワンセグ放送のサービスIDは、611～728に割り当てられています。
- 地上デジタル放送では1つの放送局（チャンネル）が複数の番組を同時に放送しています。
- 1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。



チャンネルを設定するには

プリセットモードについて

プリセットモードは「ホーム」、「おでかけ」、「エリア」の3つを状況に合わせて変更することができます。

プリセットモード	説明
ホーム	自宅周辺に車があるときは「ホーム」に設定してください。自宅周辺のチャンネルを設定します。
おでかけ	旅行などのお出かけ先では「おでかけ」に設定してください。「ホーム」とは別にお出かけ先のチャンネルを設定します。自宅周辺に帰ってきたときは「ホーム」の設定に戻すことができます。
エリア	現在地周辺で放送されているチャンネルをプリセットスイッチに表示してご覧になることができます。

1 ホームモードでチャンネルを設定するには

初期設定でいくつかのチャンネルが設定されますが、状況に合わせて変更することができます。ホームモードには「初期スキャン」、「再スキャン」、「マニュアル」があります。

設定方法	説明
初期スキャン	今までのホームモードのチャンネル設定をリセットし、チャンネルを再設定します。引越しなどにより自宅周辺で受信できる ^{※1} チャンネルが変わったときに選択します。
再スキャン	今までのチャンネル設定に加えて、新たに受信できる ^{※1} チャンネルを追加します。自宅に隣接した地域で受信できる ^{※1} チャンネルを追加したいときに選択します。
マニュアル	チャンネル設定を修正したいときに選択します。

※1 受信できないチャンネルが設定されることがあります。

●ホーム初期スキャンでチャンネルを設定するには



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で **設定** にタッチします。
- (2) プリセットモードが「おでかけ」または「エリア」に設定されているときは **ホーム** にタッチします。
- (3) **設定する** にタッチします。



(4) システム設定にタッチします。



(5) ホームチャンネルにタッチします。

アドバイス

プリセットモードが「おでかけ」または「エリア」になっていると、
ホームチャンネルスイッチが反転して操作できません。



(6) 初期スキャンにタッチします。

● 再スキャンにタッチすると自宅に隣接した地域で受信できるチャンネルを追加することができます (P.3-15参照)。

● マニュアルにタッチするとチャンネル設定を修正することができます (P.3-15参照)。

(7) ◀ または ▶ にタッチしてお住まいの地域に切り替えます。

(8) 決定にタッチします。

● 現在受信できる地上デジタル放送の放送局をスキャンし、スキャン終了後、リストが表示されます。

(9) 正しく選ばれていることを画面で確認し、決定にタッチします。

● 修正したい場合は、P.3-15 「●チャンネル設定を修正するには」の(2)を参照してください。



テレビ・ラジオ

3
テレビ
ラジオ

チャンネルを設定するには

●ホーム再スキャンでチャンネルを設定するには



(1) P.3-14の(6)の画面で **再スキャン**にタッチします。

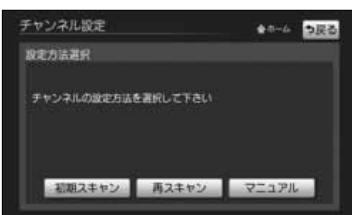
●現在受信できる地上デジタル放送の放送局をスキャンし、スキャン終了後、新たに受信できた放送局が追加されたリストを表示します。



(2) 正しく選ばれていることを画面で確認し、**決定**にタッチします。

●修正したい場合は、「●チャンネル設定を修正するには」の(2)を参照してください。

●チャンネル設定を修正するには



(1) P.3-14の(6)の画面で **マニュアル**にタッチします。

●現在設定されているチャンネルのリストが表示されます。



(2) ▲ または ▼ にタッチして、修正したいチャンネル番号を選択します。

(3) ◀ または ▶ にタッチして、放送局を変更します。

(4) **決定**にタッチします。

2 おでかけモードでチャンネルを設定するには

おでかけモードでは「スキャン」の設定ができます。

設定方法	説明
スキャン	今までのおでかけモードのチャンネル設定をリセットし、チャンネルを再設定します。 おでかけ先で受信できる※1チャンネルを設定したいときに選択します。

※1 受信できないチャンネルが設定されることがあります。

●おでかけスキャンでチャンネルを設定するには



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で【設定】にタッチします。
- (2) プリセットモードが「ホーム」または「エリア」に設定されているときは【おでかけ】にタッチします。
- (3) ピッと音が鳴るまで【スキャン】にタッチし続けます。

●おでかけスキャンが開始されます。

●“スキャン中”の文字が点滅します。

●スキャン中に【スキャン】にタッチするとスキャンが中断されます。



●スキャン終了後、【戻る】にタッチし、約10秒以内にデジタルテレビ映像を表示すると、設定されたチャンネル（放送局）のリストが表示されます。

- (4) 【閉じる】にタッチします。

●デジタルテレビ映像が表示されます。



3
テレビ
ラジオ

チャンネルを設定するには

3 エリアモードでチャンネルを設定するには



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で **設定** にタッチします。
- (2) プリセットモードがホームまたはおでかけに設定されているときは **エリア** にタッチします。
 - 現在地付近で放送されているチャンネルを設定します。



アドバイス

- エリアプリセットに設定している時は、チャンネル設定が現在地に合わせて自動的に更新されます。
- プリセットモードを切り替えたとき、以下のようになることがあります。
 - ・放送局名を表示できても、放送を受信できない場合があります。
 - ・放送を受信できても、放送局名を表示できない場合があります。

受信モードを切り替えるには

受信モードについて

以下の3通りの受信モードを設定することができます。

設定方法	説明
自動切替	地上デジタル放送のチャンネルを視聴中に、受信状況が悪化したときには、自動的にワンセグのチャンネルに切り替え、地上デジタル放送が受信できる状況になれば、自動的に地上デジタル放送のチャンネルに切り替えます。
ワンセグ	携帯電話などの移動体端末向け地上デジタル放送を受信します。 地上デジタル放送の受信状況が悪いときにご使用ください。
地上D	通常の地上デジタル放送を受信します。 ワンセグ放送は受信できなくなります。

1 受信モードを切り替えるには



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で【設定】にタッチします。
 - (2) 【自動切替】、【ワンセグ】または【地上D】にタッチします。
- 受信モードがタッチしたモードに切り替わります。



アドバイス

- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、受信モードを自動切替にしていても、ワンセグに切り替わりません。

2 放送局サーチを行うには

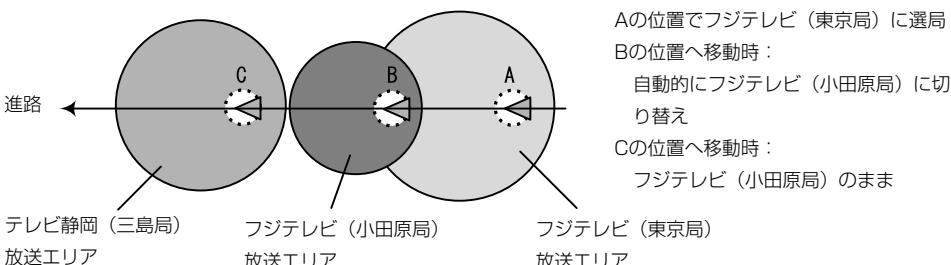
放送局サーチとは、自車の移動に伴い、選局中のチャンネルが受信できなくなった場合に、自動で別の中継局または系列局に切り替える機能です。



- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.3-9参照) で **設定** にタッチします。
- (2) 放送局サーチの **ON** にタッチします。
●タッチした設定に切り替わります。
- (3) 選局中のチャンネルが受信できなくなった場合に自動で別の中継局または系列局をサーチします。
●プリセットモードがホームモード (P.3-13参照) に設定されている場合は、中継局のみサーチします。

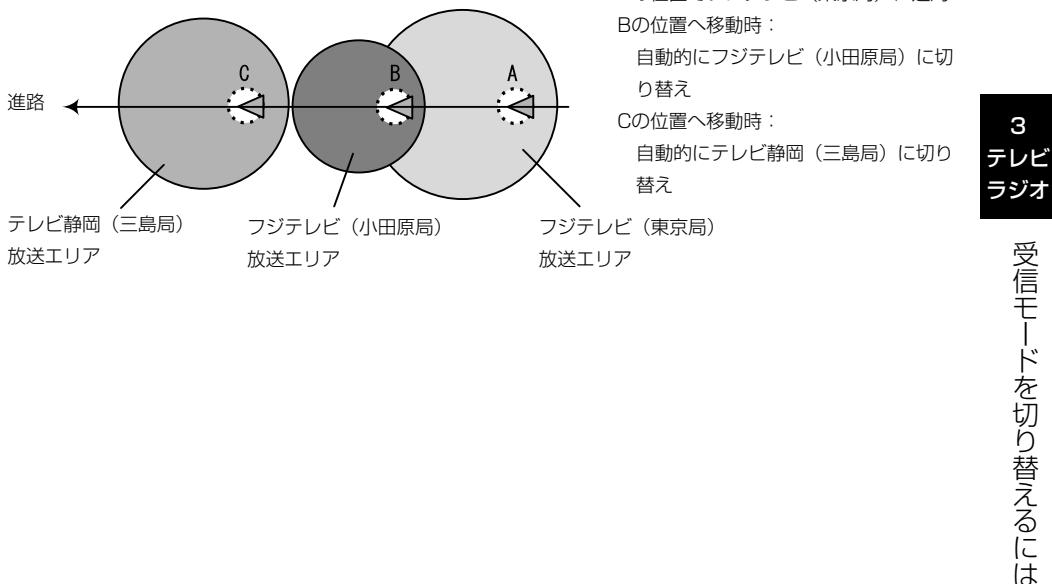
●中継局サーチの動作例

中継局サーチを行った結果、同一放送局名称の他のチャンネル候補が存在する場合に、該当するチャンネルに自動で切り替えを行います。



●放送局サーチ（中継局サーチ＋系列局サーチ）の動作例

放送局サーチを行った結果、同一放送局名称または同一系列の放送局の他のチャンネル候補が存在する場合に、該当するチャンネルに自動で切り替えを行います。



番組表を見るには

1 番組表を表示する

●番組表を呼び出すには



3
テレビ
ラジオ

番組表を見るには



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で**放送局リスト**にタッチします。

- 放送局リスト画面が表示されます。
- 本機に設定されたチャンネルと、現在放送中の番組のタイトルを一覧表示します。
- チャンネルが6つ以上のとき ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを切り替えられます。

- (2) **番組表**にタッチします。

- 番組表が表示されます。

2 見たい番組を探す

●番組表をスクロールするには



- ▲**時間**にタッチすると、番組表の放送時間が戻ります。

- ▼**時間**にタッチすると、番組表の放送時間が進みます。

- ◀**サービス**または**サービス▶**にタッチすると、チャンネル（サービス）が切り替わります。

●別の日の放送の番組表を見たいとき



- (1) [前日] にタッチすると前日、[翌日] にタッチすると翌日の番組表を表示します。

●番組表を拡大、縮小したいとき



- (1) [拡大] にタッチすると拡大（3チャンネル表示）します。



- (2) [縮小] にタッチすると縮小（5チャンネル表示）します。



アドバイス

- 受信可能な放送局で番組情報が表示されない場合は、その番組情報欄にタッチすると番組情報が表示され、映像小画面がタッチした放送局になります。（数分かかることがあります）
- 番組表の青線部分には、短い番組が存在します。タッチすると番組が表示されます。
- 映像小画面にタッチすると、デジタルテレビ映像を表示します。
- 放送局名にタッチすると、タッチした放送局の映像を映像小画面に表示します。
- 地上デジタル放送で表示されるのは最大8日分、ワンセグで表示されるのは最大で10番組です。
- 現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見れません。

番組内容を見るには

■ 番組内容を見るには

番組内容を放送局リスト画面または番組表から呼び出すことができます。

●放送局リスト画面から番組内容を呼び出すには



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で**放送局リスト**にタッチします。

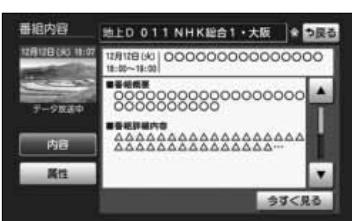
- 放送局リスト画面が表示されます。
- 本機に設定されたチャンネルと、現在放送中の番組のタイトルがリスト表示されます。
- 受信できるチャンネルが6つ以上のときは、
▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを切り替えられます。

- (2) 番組内容を知りたいタイトルにタッチします。

- 映像小画面がタッチした番組に切り替わります。

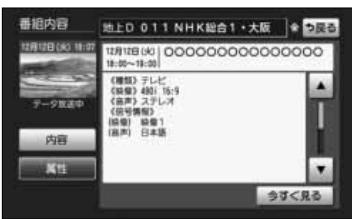
- (3) **番組内容**にタッチします。

- 番組内容が表示されます。
- 今すぐ見る**にタッチすると、選択した番組の映像に切り替わります。



- (4) 番組の詳しい内容（属性）を見たいときは**属性**にタッチします。

- 番組の詳しい内容が表示されます。
- 内容**にタッチすると、番組内容が表示されます。



アドバイス

電源を入れた直後は、番組内容が表示されるまで時間がかかる場合があります（約1分程度）。

●番組表から番組内容を呼び出すには



- (1) 放送局リスト画面 (P.3-21参照) で、**番組表**にタッチします。

●番組表を表示します。番組表の操作方法については P.3-21を参照してください。

- (2) 番組内容を知りたい番組にタッチします。



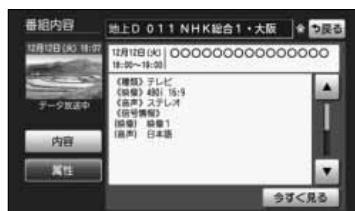
●番組内容が表示されます。

●**今すぐ見る**にタッチすると、選択した番組の映像に切り替わります。



アドバイス

今すぐ見るは現在放送している番組の内容を表示しているときのみ表示されます。



- (3) 番組の詳しい内容（属性）を見たいときは**属性**にタッチします。

●番組の詳しい内容が表示されます。

●**内容**にタッチすると、番組内容が表示されます。

3 テレビ ラジオ

番組内容を見るには

データ放送を見るには

1 データ放送を見るには

データ放送とはテレビ映像のほかに、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組に連動した情報もしくは独立した情報を見ることができます。



3
テレビ
ラジオ

データ放送を見るには

- (1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で **d 操作** にタッチします。

- 操作パネルが表示されます。
- **消去** にタッチすると操作パネルを消去します。

- (2) **d** にタッチします。

- データ放送が表示されます。
- データ放送表示中に **d** にタッチ、もしくは選局を行うと、データ放送を終了します。



2 データ放送を操作するには

画面に表示される説明に従い操作すると、さまざまな情報を見ることができます。データ放送は操作パネルで操作します。操作方法はデータ放送により異なります。



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で **d 操作** にタッチします。

- 操作パネルが表示されます。
- カーソルの上下左右や決定、カラーボタン（青、赤、緑、黄）の操作を行うことができます。
- データ放送の番組で文字入力欄にカーソルを移動させると、自動的に画面キーボード（P.3-26参照）を表示します。

●数字パネルを操作する



- (1) 操作パネルで **数字** にタッチすると、数字パネルが表示されます。

 - データ放送の番組で数字入力を受け付ける画面を表示しているときは、数字が入力できます。
 - **操作** にタッチすると操作パネルの表示に戻ります。
 - **消去** にタッチすると数字パネルを消去します。

●パネルを移動する



- (1) 操作パネルまたは数字パネルで◀位置または▶位置にタッチします。

●文字を入力する



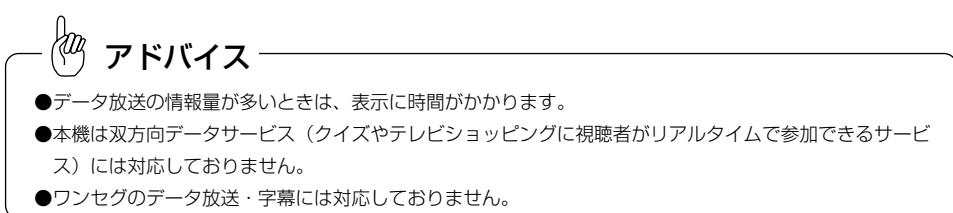
- (1) データ放送の番組で文字入力欄にカーソルを移動させます。

 - 自動的に画面キーボードが表示されます。

(2) 文字を入力します。

 - 入力方法は「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」を参照してください。

(3) **完了** にタッチします。



信号を切り替えるには

1つのチャンネルに複数の映像や音声があるとき、それぞれの信号を切り替えることができます。

1 画像を切り替えるには

1つのチャンネルに映像が複数ある放送を受信したとき、映像を切り替えることができます。



- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.3-9参照) で **設定** にタッチします。

- (2) **設定する** にタッチします。

●各種設定画面が表示されます。

- (3) **信号切替** にタッチします。

●信号切替画面が表示されます。



- (4) 信号切替画面で、映像欄の **◀** または **▶** にタッチします。

●映像が切り替わります。

- (5) **全画面**、または映像部分にタッチすると、デジタルテレビ映像が表示されます。



2 音声を切り替えるには

1つのチャンネルに音声が複数ある放送を受信したとき、音声を切り替えることができます。



- (1) 信号切替画面で、音声欄の **◀** または **▶** にタッチします。

●音声が切り替わります。

- (2) **全画面**、または映像部分にタッチすると、デジタルテレビ映像が表示されます。

3 マルチビューを切り替えるには

マルチビュー放送とは、1つのチャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。

例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

マルチビュー対応の放送を受信したとき、映像を切り替えることができます。



- (1) マルチビュー欄の [◀] または [▶] にタッチします。

●主番組・副番組が切り替わります。

- (2) [全画面]、または映像部分にタッチすると、デジタルテレビ映像が表示されます。

4 二重音声を切り替える

二重音声対応の放送を受信したとき、音声を主音声、副音声または主+副音声に切り替えることができます。



- (1) 信号切替画面で、二重音声欄の [◀] または [▶] にタッチします。

●二重音声が切り替わります。

- (2) [全画面]、または映像部分にタッチすると、デジタルテレビ映像が表示されます。

5 字幕を切り替える

字幕データがある放送を受信したときの表示を切り替えることができます。



- (1) 信号切替画面で、字幕欄の [第一言語]、[第二言語] または [表示しない] にタッチします。

●字幕の表示が切り替わります。

● [表示しない] にタッチしたときは、字幕データのある番組でも、字幕を表示しません。

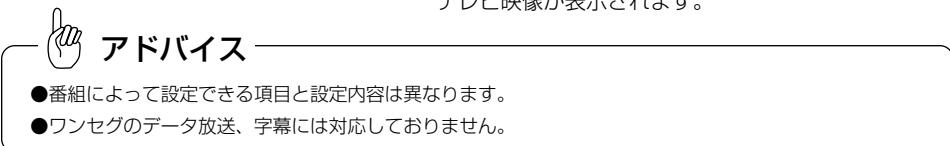
- (2) [全画面]、または映像部分にタッチすると、デジタルテレビ映像が表示されます。

6 文字スーパーを切り替える

文字スーパーは、視聴者にお知らせしたいことを、番組放送中の画面上に文字で表示します。文字スーパーがある放送を受信したときの表示を切り替えることができます。



- (1) 信号切替画面で、文字スーパー欄の **第一言語**、**第二言語** または **表示しない** にタッチします。
 - 文字スーパーの表示が切り替わります。
 - **表示しない** にタッチしたときは、文字スーパーのある番組でも、文字スーパーを表示しません。
- (2) **全画面**、または映像部分にタッチすると、デジタルテレビ映像が表示されます。



緊急警報放送（EWS）を見るには

緊急警報情報（EWS）について

緊急警報放送（EWS: Emergency Warning System）とは、大規模災害など緊急なできごとが発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

■ 緊急警報放送（EWS）受信時の本機の動作



- (1) 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り替わります。



アドバイス

緊急警報放送が終了しても、切り替わったチャンネルはそのままです。元のチャンネルには戻りません。再度、お好みのチャンネルを選局してください。

情報を見るには

1 B-CASカードの情報を見るには

B-CASカードの情報を見たり、動作確認をしたりすることができます。

●B-CASカードの情報を見るには



(1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で **設定** にタッチします。

(2) **設定する** にタッチします。

●各種設定画面が表示されます。



(3) **B-CASカード** にタッチします。

●カードの情報が表示されます。



●B-CASカードの動作確認をするには



(1) **B-CASカードテスト** にタッチします。

●テスト結果が表示されます。



アドバイス

「NG」が表示されたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

2 放送メールを見るには

放送局からのお知らせを見ることができます。



(1) 各種設定画面で**「放送メール」**にタッチします。

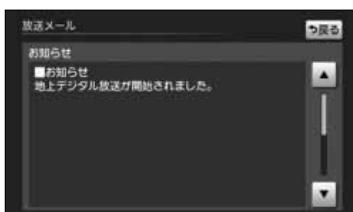
●放送メールの一覧が表示されます。



(2) メールが7件以上ある場合、**▲** または **▼** にタッチしてリストを動かします。

(3) 確認したいメールを選び、リストにタッチします。

●メールの内容が表示されます。



(4) 情報を表示しきれない場合は、**▲** または **▼** にタッチすると表示内容をスクロールします。

3
テレビ
ラジオ

情報を見るには



アドバイス

- 放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで）や、暗証番号削除通知（最新の1通のみ保存）などがあります。
- メールが31件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます（未読も含みます）。
- メールの内容に合わせてスイッチが表示されることがあります。

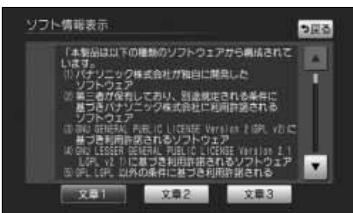
3 ソフトウェアの情報を見るには

本機に関する情報を見ることができます。



(1) 各種設定画面で [ソフト情報表示] にタッチします。

●ソフトウェアの情報が表示されます。



(2) [文章1]、[文章2]または[文章3]にタッチします。

●文章が切り替わります。

3
テレビ
ラジオ

情報を見るには

※地上デジタルチューナーのソフトウェアについて

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1)パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2)第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
- (3)GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(GPL v2)に基づき利用許諾されるソフトウェア
- (4)GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1)に基づき利用許諾されるソフトウェア
- (5)GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記(3)、(4)に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示されるGNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0,GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1の条件をご参照下さい。

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記(3)、(4)に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照下さい。

<http://www.am-linux.jp/dl/JPCAR30>

これらGPL,LGPLの条件で利用許諾されるソフトウェア(GPL/LGPL ソフトウェア)は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも3年間、下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報

cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記のURL からも自由に入手できます。

<http://www.am-linux.jp/dl/JPCAR30>

This product incorporates the following software:

- (1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
- (2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
- (3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2(GPL v2),
- (4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL v2.1) and/or,
- (5) open sourced software other than the software licensed under the GPL v2 and/or LGPL v2.1

For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL v2 and LGPL v2.1, as the case may be at

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html> and
<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>.

In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals. Please refer to the copyright notice of those individuals at
<http://www.am-linux.jp/dl/JPCAR30>

The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

At least three (3) years from delivery of products, we will give to any third party who contact us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL v2/LGPL v2.1.

Contact Information
cdrequest@am-linux.jp

Source code is also freely available to you and any other member of the public via our website below.

<http://www.am-linux.jp/dl/JPCAR30>

システムを設定するには

1 地上デジタル放送のサービスを設定する

地上デジタル放送を選局するときに、テレビサービスと独立データサービスの全てを選局するのか、テレビサービスのみを選局するのかを設定します。



(1) デジタルテレビ操作画面（P.3-9参照）で **設定** にタッチします。

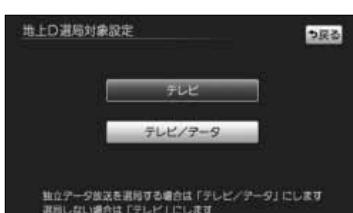
(2) **設定する** にタッチします。



(3) **システム設定** にタッチします。



(4) **地上D選局対象** にタッチします。



(5) **テレビ/データ** または **テレビ** にタッチします。

● **テレビ/データ** にタッチするとテレビサービスと独立データサービスを選局します。

● **テレビ** にタッチするとテレビサービスのみを選局します。

3
テレビ
ラジオ

システムを設定することは



アドバイス

● この設定は番組表、放送局リストにも反映されます。

(例) 「テレビ」を設定すると番組表もテレビサービスのみを表示します。

● 「地上D選局対象」を設定できるのは、地上デジタル放送のみです。ワンセグには設定できません。

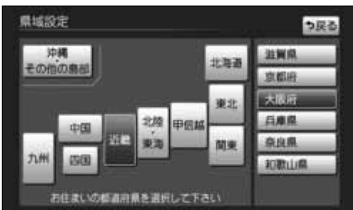
2 地域を設定する

データ放送でお住まいの地域の情報を受信するために地域を設定します。

●県域を設定するには



- (1) システム設定画面 (P.3-36の1の(4)) で **県域** にタッチします。



- (2) 左の画面から自宅のある地方にタッチします。

- (3) 右のリストから自宅のある都道府県にタッチします。

●システム設定画面に戻ります。

●郵便番号を設定するには



- (1) システム設定画面 (P.3-36の1の(4)) で **郵便番号** にタッチします。

- (2) 自宅の郵便番号を1文字ずつタッチして入力します。

- (3) **決定** にタッチします。

●システム設定画面に戻ります。

3 ホームモードでチャンネルを設定するには

ホームモードでチャンネルを設定するには、「ホームモードでチャンネルを設定するには」(P.3-13の1) を参照してください。

4 個人情報を初期化するには

デジタルテレビの設定を工場出荷状態にします。

個人情報を初期化する方法は、「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「個人情報を初期化するには」を参照してください。

3
テレビ
ラジオ

システムを設定することは



アドバイス

- 本機に記録されているお客様のデジタルテレビ操作に関する個人情報（データ放送などで入力した個人情報）が、すべて初期化されます。
- デジタルテレビの設定を工場出荷状態に戻します。
- 個人情報初期化中は、エンジンスイッチをOFFにしないでください。

アイコン一覧

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、いろいろな情報をお知らせします。



メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール。
(未読メール)



メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール。(既読メール)



おでかけスキャンでのチャンネル設定時に表示



ホームスキャンでのチャンネル設定時に表示



エリアモードでのチャンネル設定時に表示



電波状態を表示



強



弱



弱すぎて受信できない、または、電波が届いていない

車載用ビデオデッキのモニターとして使うには

市販のビデオ機器との接続でビデオモニターとして使用することができます。
(別売のiPod対応USB/VTRアダプターを販売店にてお求めください)



(1) を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **VTR** にタッチします。

- **VTR** が表示されていないときは、 にタッチしてページを切り替えます。

(3) **VTR1** または **VTR2** にタッチします。

- VTRモードがタッチしたモードに切り替わります。

(4) ビデオ操作画面で **映像** にタッチするか、映像にタッチすると、ビデオ操作画面が消去され、ビデオ映像が表示されます。

- もう一度ビデオ操作画面を表示したい場合は、 を押すか、画面にタッチするとビデオ操作画面が表示されます。

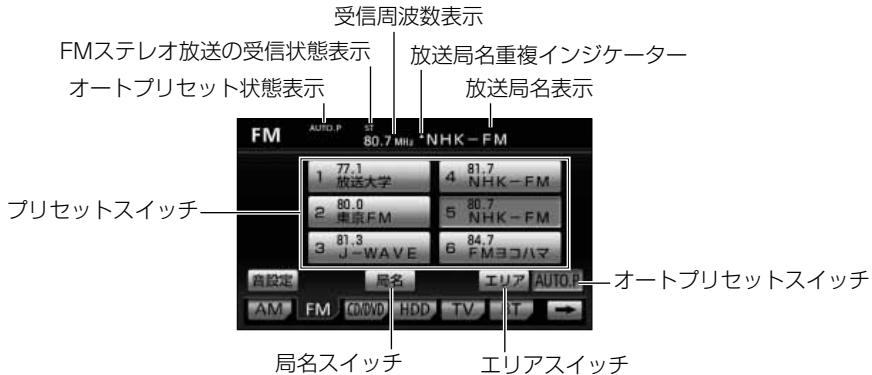


アドバイス

- 車載用ビデオデッキについての詳細は、販売店にお問い合わせください。
- ビデオ機器によっては、ビデオ中継コードが使用できないものがありますので、それぞれの機器の取扱書を参照してください。
- VTRからの入力信号が大きい場合には、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。
- 機器が接続されていないVTRモードのスイッチは反転して操作できません。
- iPod対応USB/VTRアダプターが接続されている場合は **VTR1** が表示されます。
- ドライブレコーダーが接続されている場合は **VTR2** が表示されます。

ラジオを聞くには

AM放送またはFM放送を受信し、聞くことができます。



※放送局名は自車の位置によって表示されないことがあります。

1 ラジオを聞くには



(1) を押します。

● オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **FM / AM** にタッチします。

● FM操作画面／AM操作画面（ラジオ操作画面）が表示されます。

● **FM / AM** が表示されていないときは、
← にタッチしてページを切り替えます。



FMステレオ放送を受信しているときは画面にSTが表示されます。

2 選局するには



(1) |◀| |▶| の左右を押すか、ラジオ操作画面でプリセットスイッチにタッチして選局します。

● |◀| |▶| の左右をピッと音がするまで押し続けると、現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を探して受信します。途中で中止するときはもう一度押します。

3 テレビ ラジオ

ラジオを聞くには

アドバイス

- 受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。
- ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々と変わるために電波の強さが変わったり障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

3 選局した放送局を記憶させるには



(1) 放送局を選局後、ラジオ操作画面でプリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。

(マニュアルプリセット)

● プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。

(2) 自動的に記憶させる場合は、ピッと音が鳴るまで AUTO.P にタッチし続けます。

● 動作が終了するとプリセットスイッチに周波数が記憶されます。

(オートプリセット)

● プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。



アドバイス

AM操作画面から交通情報の周波数を設定することができます。詳細は「交通情報を聞くには」(P.3-44)を参照してください。



アドバイス

- 電波の強い放送局が6局、記憶されます。
- オートプリセット動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチするとプリセットメモリーは、オートプリセット動作前の状態に戻ります。
- オートプリセットを行った時は画面に「AUTO.P」が表示されます。
- 電波が弱く1局もプリセットされなかった場合、プリセット局はオートプリセット動作前の状態に戻ります。

4 エリアスイッチについて



アドバイス

- 旅先などで放送局の受信チャンネルがわからないときなどに便利です。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、▲が表示されることがあります。▲が表示されたときは **局名** にタッチすると重複したもう1つの放送局に切り替えることができます。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「エリア.P」が表示されます。

交通情報を聞くには

交通情報を受信し、聞くことができます。



(1) オーディオ操作画面で **AM** にタッチします。

- AM操作画面が表示されます。

(2) **[...]]** にタッチします。

- 交通情報放送を行っている地域で交通情報を受信できます。

- オーディオ操作画面（P.2-3参照）でオーディオモードスイッチにタッチすると解除されます。



(3) 交通情報の周波数をセットするにはAM操作画面で記憶させたい周波数を選局します。

- 選局する方法については、P.3-42を参照してください。

(4) **[...]]** をピッと音がするまで押し続けます。



初期設定では1620kHzにセットしてあります。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。市販されているDVDビデオの再生はもちろん、ビデオレコーディング・フォーマット（VRモード）の再生にも対応していますので、ご家庭で録画した地上デジタル放送のDVDも再生することができます。

●DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDビデオには、複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



アドバイス

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ブルーレイディスクやHD DVDには対応していません。



注意

本機は著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

マルチアングル機能について

DVDビデオには、同じ場面が複数のアングルで収録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。

(DVDビデオのみ操作できます)



映像のアングルが切り替わります

字幕表示機能について

DVDビデオには、複数の字幕が収録されているものがあり、再生中に字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。(DVD-VRは、字幕の表示／非表示のみできます。)



●DVD-VRの特徴

CPRMについて

地上デジタル放送などの著作権保護された映像をDVDに記録するには、CPRMと呼ばれる著作権保護技術に対応した方式で記録する必要があります。

ビデオレコーディング（VRモード）方式はCPRMに対応しています。

プレイリストについて

録画機器でお好みのシーンなどを集めたプレイリストを作成すれば、プレイリスト単位で再生することができます。

●ディスクについて

再生できるDVDについて

本機で再生できるDVDメディアは、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RWです。また、本機ではDVDビデオフォーマット、またはDVDビデオレコーディング・フォーマット（VRモード）で記録されたDVDを再生できます。本機はNTSCカラーテレビ方式に対応していますので、市販のDVDビデオは、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）用のディスクの再生は、保証いたしません。

フォーマット (記録方式)	メディア	DVD -ROM	DVD-R		DVD-RW (片面1層のみ)		DVD -RAM
			CPRM対応	CPRM非対応	CPRM対応	CPRM非対応	
DVDビデオ		○	○	○	○	○	×
DVD-VR	デジタルテレビを録画	×	○	×	○	×	×
	アナログテレビを録画	×	○	○	○	○	×

○：再生できます

×：再生できません



アドバイス

- 8cmディスクを使用するときはアダプターを使用せずに、そのままディスクを挿入してください。
アダプターを使用するとディスクを取り出せなくなるおそれがあります。
- DVD-RやDVD-RWに録画する際は、録画機器でディスクをファイナライズしてください。ファイナライズされていないディスクは再生できません。また、マルチボーダーで記録されたディスクは再生できません。
- DVD-RやDVD-RWは紫外線や高温多湿環境に弱いため、このような環境に保管することは避けてください。

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDビデオのディスクには②（地域番号）が表示されているものがあります。このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表示しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあります。本機で再生できないことがあります。



アドバイス

DVDビデオ、ソフト製作により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト製作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

ディスクに表示されているマークについて

DVDビデオのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
③	音声のトラック数を表します。
2...	字幕の数を表します。
3	アングル数を表します。
16:9 LB	選択可能な画像アスペクト比（横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
ALL	選択可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクに記録されている音声について

本機搭載のDVDプレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニアPCM・パックドPCM・ドルビーデジタル・ドルビープロロジック・DTS・MPEGオーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応しておりません。

●ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大6チャンネルに分割して記録、再生する（ウーハーチャンネルは通常0.1チャンネルで表現されるため、5.1チャンネル）完全ディスクリート（分割）方式です。

●ドルビーサラウンド

4ch（フロントLR、センター、サラウンド（リア））の信号を2chで記録し、それぞれをドルビープロロジックデコーダーにより再度4chに出力する方式です（サラウンドチャンネルの出力はモノラルとなります）。

●サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1秒間に区切る回数を表したのが、サンプリング周波数でそのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

●リニアPCM

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CDでは、44.1kHz／16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz／16bit～96kHz／24bitで記録されていますので、CDよりも高音質での再生が可能です。

●DTS

Digital Theater Systems社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ドルビーデジタルと同様の音声分割をする方式ですが、圧縮率が低いため、より高品位なサラウンド再生をすることができます。

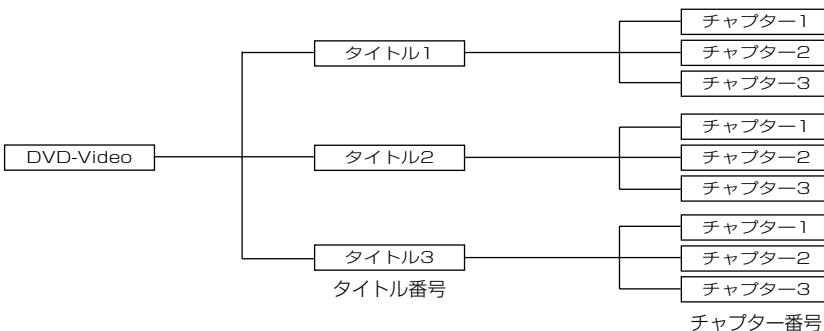
DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

ディスクの構成について

DVDビデオに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）がつけられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプターフ番号）がつけられています。

DVD-VRでは、タイトル番号にプログラム番号またはプレイリスト番号、チャプターフ番号にエントリーポイント番号が表示されます。



4
DVD
CD

DVDプレーヤーをお使いになる前に

音量について

DVDでは迫力ある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。そのため、会話シーンで音量を上げたあと、DVD以外のオーディオに切り替えたとき、音量が大きすぎることがあります。このような現象を防止するため、DVD再生中は、その他のオーディオとは別に音量を調節することができます。音量調整のしかたについてはP.2-2を参照してください。



アドバイス

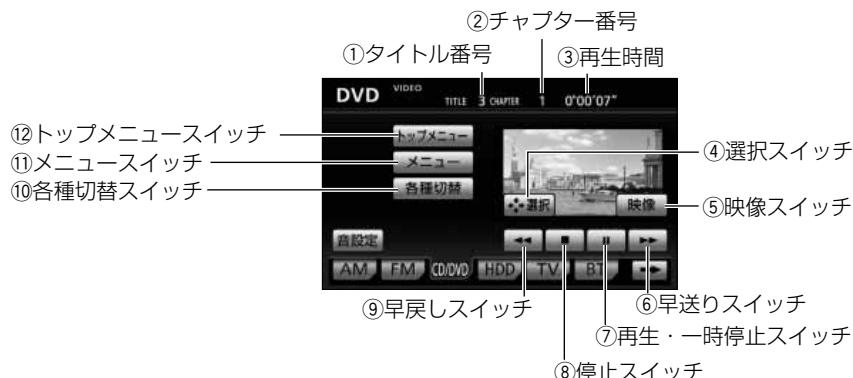
- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- DVDには、メニュー項目など音声が収録されていない場面があります。そのような場合、本編再生中に音量調整してください。
- DVDでは迫力ある効果音を得るために、通常の会話のシーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクを再生させて会話のシーンで音量調節を行うと、効果音のシーンのときに音量が大きすぎることがありますので、注意してください。
- DVDはドルビーデジタル、マルチチャンネル音声再生に対応しています。そのため、ディスクによっては音声が出力されないスピーカーがあります。すべてのスピーカーから音声を出力したいときは、ドルビープロロジック (P.4-28参照) またはダウンミックス (P.4-28参照) をONにすることをおすすめします。

DVDの操作画面について

●DVD操作画面について

DVDビデオまたはDVD-VRを再生させているときに、 を押すか、DVDの映像をタッチするとDVD操作画面が表示されます。

DVDビデオ再生時



DVD-VR再生時



① タイトル番号

DVDビデオでは、現在再生しているタイトル番号を表示します。

DVD-VRでは、現在再生しているプログラム番号またはプレイリスト番号を表示します。

② チャプター番号

DVDビデオでは、現在再生しているチャプター番号を表示します。

DVD-VRでは、現在再生しているエントリーポイント番号を表示します。

③ 再生時間

再生時間を表示します。

④ 選択スイッチ

ディスクメニューの項目などを選ぶ矢印キーと決定スイッチを表示するときにタッチします。

(選択スイッチは、DVDビデオ再生時のみ表示されます。)

⑤ 映像スイッチ

映像を表示するときにタッチします。

映像部分にタッチしても映像を表示することができます。

⑥ 早送りスイッチ

映像を早送りするときにタッチします。

⑦ 再生・一時停止スイッチ

映像を再生・一時停止するときにタッチします。

⑧ 停止スイッチ

映像を停止するときにタッチします。

⑨ 早戻しスイッチ

映像を早戻しするときにタッチします。

⑩ 各種切替スイッチ

各種切替画面（P.4-9参照）を表示するときにタッチします。

⑪ メニュースイッチ

ディスクメニューを表示する（P.4-15参照）ときにタッチします。

(メニュースイッチは、DVDビデオ再生時のみ表示されます。)

(操作方法は、再生しているディスクに付属の取扱書をご覧ください)

⑫ トップメニュースイッチ

ディスクメニューを表示する（P.4-15参照）ときにタッチします。

(トップメニュースイッチはDVDビデオ再生時のみ表示されます。)

(操作方法は、再生しているディスクに付属の取扱書をご覧ください)

●各種切替画面について

DVD操作画面（P.4-7参照）で **各種切替** にタッチすると、各種切替画面が表示されます。

DVDビデオ再生時



DVD-VR再生時



① サーチスイッチ

タイトルサーチ (P.4-16参照) を行うときにタッチします。

② リターンスイッチ

タッチすると、ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。
(リターンスイッチは、DVDビデオ再生時のみ表示されます。)

③ 音声スイッチ

音声を切り替える (P.4-20参照) ときにタッチします。

④ 字幕スイッチ

字幕を切り替える (P.4-19参照) ときにタッチします。

⑤ アングルスイッチ

映像のアングルを切り替える(P.4-18参照) ときにタッチします。

(アングルスイッチは、DVDビデオ再生時のみ表示されます。)

⑥ Wideスイッチ

ワイド画面モード (P.1-20参照) を切り替えるときにタッチします。

⑦ 映像スイッチ

映像を表示するときにタッチします。

⑧ DVD初期設定スイッチ

DVDプレーヤーの設定やサウンドの設定(P.4-22参照) を行うときにタッチします。

⑨ ページ送りスイッチ

タッチするごとに静止画が切り替わります。

(ページ送りスイッチは、DVD-VR再生時のみ表示されます。)

⑩ MAIN/SUBスイッチ

音声モードを切り替える (P.4-21参照) ときにタッチします。

(MAIN/SUBスイッチは、DVD-VR再生時のみ表示されます。)

⑪ 再生モードスイッチ

再生モードを切り替える (P.4-21参照) ときにタッチします。

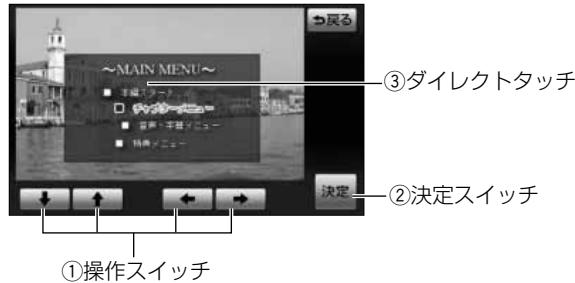
(再生モードスイッチは、DVD-VR再生時のみ表示されます。)

4
DVD
CD

DVDプレーヤーをお使いになる前に

●ディスクメニュー操作画面について

DVD操作画面（P.4-7参照）で **◆選択** にタッチすると、ディスクメニュー操作画面が表示されます。（DVDビデオのみ操作できます）



① 操作スイッチ

ディスクメニューで項目を選択する（P.4-15参照）ときにタッチします。

② 決定スイッチ

ディスクメニューで選択された項目を実行する（P.4-15参照）ときにタッチします。

③ ダイレクトタッチ

ディスクメニューで直接項目を実行する（P.4-15参照）ときにタッチします。

DVDプレーヤーを使うには

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になります（走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります）。

1 DVDを見るには

●DVDが挿入されていない場合



(1) ディスク差し込み口にDVDを差し込みます。

- 自動的に電源が入り、再生を開始します。
- 再生中に を押すとDVD操作画面（P.4-7参照）が表示されます。

●DVDが挿入されている場合



(1) を押します。

- オーディオ操作画面（P.2-3の1の(2) 参照）が表示されます。

(2) にタッチします。

- 再生を開始します。



本機で対応していない音声を再生した場合、仮想センタースピーカーから出てくる会話などの音声が聞きとりにくかったり、音に違和感が生じる場合があります。

2 映像を操作するには

●映像を再生するには



(1) を押します。

- DVD操作画面（P.4-7参照）が表示されます。

(2) にタッチします。

4
DVD
CD

DVD
プレーヤー
を使うには

●早送り・早戻しをするには

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。



(1) |◀◀▶▶|を押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。



- DVD操作画面（P.4-7参照）で◀◀または▶▶にタッチしても早送り・早戻しできます。
- ▶▶を押し続けると早送りできます。
- ◀◀を押し続けると早戻しできます。

●停止するには



(1) [PWR] を押します。

- DVD操作画面（P.4-7参照）が表示されます。



(2) [■] にタッチします。

- 再生するには▶▶にタッチします。

●一時停止するには



(1)  を押します。

- DVD操作画面（P.4-7参照）が表示されます。



(2) 一時停止するには  にタッチします。

-  にタッチすると再生を開始します。
-  を押し続けるとスロー再生をします。



4
DVD
CD

DVDプレーヤーを使つことは

3 ディスクメニューを操作するには

ディスクに収録されているメニューを直接タッチして選択（ダイレクトタッチ機能）するか、または矢印キーを操作して選択することができます。
(DVDビデオのみ操作できます)



(1) 映像画面 (P.4-12の1 参照) にタッチします。

- DVD操作画面 (P.4-7参照) が表示されます。



(2) メニュー、または トップメニューにタッチします。

- ディスクメニューが表示され、ディスクメニュー操作画面 (P.4-11参照) が表示されます。



(3) ディスクメニューはダイレクトタッチか矢印キーで操作します。

- ダイレクトタッチで操作する場合
ディスクメニューに直接タッチするとタッチした項目を実行します。
- 矢印キーで操作する場合 · · · にタッチするとディスクメニュー内の項目を移動します。
決定 にタッチすると選択されている項目を実行します。



アドバイス

- ディスクによって記録されているメニュー項目は異なります。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作どおりに機能しない場合があります。
- DVD映像に選択できる項目があれば、ダイレクトタッチ可能です。
- ディスクメニュー操作画面では、ワイド画面モード (P.1-20参照) の設定に関わらずWide1で表示されます。
- ダイレクトタッチできないディスクもあります。その場合は、矢印キーと決定ボタンで選んでください。

4 見たい映像を探すには

●チャプター番号で探すには



(1) |◀◀▶▶|を押します。

- 右側を押すと次のチャプターから再生します。
- 左側を押すと現在再生しているチャプターの先頭から再生します。

●タイトル番号で探すには



(1) [PWR] を押します。

- DVD操作画面（P.4-7参照）が表示されます。



(2) [各種切替] にタッチします。

- 各種切替画面（P.4-9参照）が表示されます。



(3) [サーチ] にタッチします。



(4) 再生したいタイトル番号を入力します。

- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。

(5) 上記(4)の画面で **完了** にタッチすると入力したタイトル番号から再生します。

- 入力したタイトル番号がDVDに収録されていない場合は現在再生している映像画面に戻ります。

● プログラム（プレイリスト）で探すには
(DVD-VRのみ操作できます)



(1) |◀◀▶▶|を押し続けます。

- 右側を押し続けると、次のプログラム（プレイリスト）を選ぶことができます。
- 左側を押し続けると、前のプログラム（プレイリスト）を選ぶことができます。



アドバイス

ディスクにより操作できなかったり、異なった動作をする場合があります。

4
DVD
CD

DVD
プレーヤー
を使うには

5 アンダル・音声を切り替えるには

●アンダルを切り替えるには

ディスクに複数のアンダルが収録されていると、アンダルを切り替えることができます。
(DVDビデオのみ操作できます)



- (1) 各種切替画面 (P.4-9参照) で **アンダル** にタッチします。



- (2) **アンダル切替** にタッチします。

- タッチするごとにアンダル番号が切り替わり、映像のアンダルが切り替わります。



初期設定画面 (P.4-22参照) でマルチアンダルマーク表示をONにしておくと、アンダル切り替えが可能なときに画面右上にアンダルマークが表示されます。

4
DVD
CD

DVDプレーヤーを使うことは

●字幕言語を切り替えるには

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕言語を切り替えることができます。



(1) 各種切替画面 (P.4-9参照) で **字幕** にタッチします。

- 字幕番号および言語が表示されます。



(2) **字幕切替** にタッチします。

- タッチするごとに字幕番号および言語が切り替えられます。
- **字幕消し** にタッチするごとに字幕表示の表示、非表示を切り替えることができます。

字幕非表示中はスイッチが強調表示されます。



アドバイス

字幕消し および選択中の字幕表示はDVD-VRには対応していません。

●音声言語を切り替えるには

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声言語を切り替えることができます。



- (1) 各種切替画面（P.4-9参照）で **音声** にタッチします。

- 音声番号および言語が表示されます。



- (2) **音声切替** にタッチします。

- タッチするごとに音声番号および言語が切り替えられます。



アドバイス

現在選択中の音声表示は、DVD-VRには対応していません。

4
DVD
CD

DVDプレーヤーを使うことは

●音声モードを切り替えるには

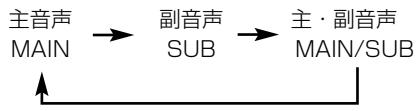
音声多重で収録されているディスクの場合、主音声/副音声を切り替えることができます。

(DVD-VRのみ操作できます)



- (1) 各種切替画面 (P.4-9参照) で **MAIN/SUB** にタッチします。

- タッチするごとに以下の順に切り替わります。



●再生モードを切り替えるには

ディスク内にプレイリストが作成されているときにプレイリストを再生することができます。

(DVD-VRのみ操作できます)



- (1) 各種切替画面 (P.4-9参照) で **再生モード** にタッチします。

- (2) **プレイリスト** にタッチします。

- プログラムを再生するときは **プログラム** にタッチします。



ディスク内にプレイリストがないときは **再生モード** は表示されません。

6 DVDプレーヤーの設定を変更するには

●DVDプレーヤーの設定画面を表示するには

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定したり、ダウンミックスのON・OFFやダイナミックレンジの設定などをすることができます。



(1) 各種切替画面 (P.4-9参照) で **DVD初期設定** にタッチします。

● 初期設定画面が表示されます。



● ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。



●設定項目について

機能名	機能	ページ
音声*	再生する映像の音声言語を設定します。	4-23
字幕*	再生する映像の字幕言語を設定します。	4-24
ソフトメニュー*	表示するメニューの言語を設定します。	4-25
マルチアングル*	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	4-26
視聴制限*	再生できるDVDビデオを制限します。	4-26
オートスタート*	オートスタートのON・OFFを設定します。	4-27
ダウンミックス	ダウンミックスのON・OFFを設定します。	4-28
ProLogic	ProLogicのON・OFFを設定します。	4-28
音声ダイナミックレンジ*	音声ダイナミックレンジの設定をします。	4-29
映像出力切替	映像の画面出力方式の切り替えをします。	4-30

※DVDビデオのみ反映されます。

●優先音声言語を設定するには

音声言語の初期設定を変更することができます。



(1) 初期設定画面 (P.4-22参照) で **音声** にタッチします。



(2) お好みの言語にタッチします。

- 画面に表示された言語以外の言語を設定したいときは **その他** にタッチします。



アドバイス

ディスクにあらかじめ優先音声言語が登録されている場合は、ディスクに登録された音声言語で再生されます。また、設定した音声言語がディスクに収録されていない場合は設定した音声言語で再生はできません。



(3) [その他] にタッチします。

- 言語コード入力画面を表示します。
- 言語コードについては、P.4-31の7の言語コード一覧をご覧ください。

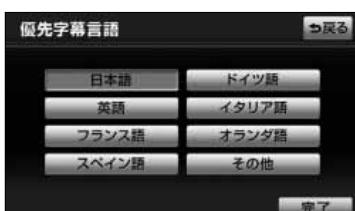
(4) [完了] にタッチします。

●優先字幕言語を設定するには

字幕言語の初期設定を変更することができます。



(1) 初期設定画面 (P.4-22参照) で [字幕] にタッチします。



(2) お好みの言語にタッチします。

- 画面に表示された言語以外の言語を設定したいときは [その他] にタッチします。



ディスクにあらかじめ優先字幕言語が登録されている場合は、ディスクに登録された字幕言語が優先されます。また、設定した字幕言語がディスクに収録されていない場合は設定した字幕言語で再生はできません。



(3) [その他] にタッチします。

- 言語コード入力画面を表示します。
- 言語コードについては、P.4-31の7の言語コード一覧をご覧ください。

(4) [完了] にタッチします。

●優先ソフトメニュー言語を設定するには

ソフトメニュー言語（ディスクに収録されているメニューなどの表示言語）の初期設定を変更することができます。



- (1) 初期設定画面（P.4-22参照）で「ソフトメニュー」にタッチします。



- (2) お好みの言語にタッチします。

- 画面に表示された言語以外の言語を設定したいときは「その他」にタッチします。



アドバイス

ディスクにあらかじめ優先ソフトメニュー言語が登録されている場合は、ディスクに登録されたソフトメニュー言語が優先されます。また、設定したソフトメニュー言語がディスクに収録されていない場合は設定したソフトメニュー言語で再生はできません。



- (3) 「その他」にタッチします。

- 言語コード入力画面を表示します。
- 言語コードについては、P.4-31の7の言語コード一覧をご覧ください。

- (4) 「完了」にタッチします。

●マルチアングルマークの表示を設定するには

マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。



(1) 初期設定画面 (P.4-22参照) で **マルチアングル** にタッチします。

- タッチするごとに、表示と非表示が切り替わります。

●視聴制限を設定するには

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。



(1) 初期設定画面 (P.4-22参照) で **視聴制限** にタッチします。



(2) 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

(3) **完了** にタッチします。



(4) お好みの視聴制限レベルにタッチします。

(5) **完了** にタッチします。

●オートスタートON・OFFを設定するには

走行中は映像を表示できないためディスクメニューを操作できません。オートスタートは走行中にディスクメニューを自動で実行して本編を再生する機能です。



(1) 初期設定画面 (P.4-22参照) で **オートスタート** にタッチします。

- タッチするごとに、ONとOFFが切り替わります。



アドバイス

オートスタートをONに設定していても以下の場合は本編を再生しない場合があります。

- ディスクの初期設定が「本編再生」や「再生」以外の場合
- 走行を開始する前に「本編再生」や「再生」以外の項目を選択していた場合

後席ディスプレイを装着した場合走行中にディスクメニューをリモコン操作する場合はオートスタートをOFFにしてください。

●ダウンミックスのON・OFFを設定するには

マルチチャンネルで再生している音声を2チャンネルに切り替えます。



(1) 初期設定画面 (P.4-22参照) で **ダウンミックス** にタッチします。

● タッチするごとに、ONとOFFが切り替わります。



アドバイス

以下の場合ダウンミックスをONにして再生することをおすすめします。

- 前後音量バランスで、リアの音量を調整したときに、フロントの仮想センタースピーカーから出てくる会話などの音声が聞きとりにくいとき。
- ドルビーデジタル、マルチチャンネル音声再生に対応しています。そのため、ディスクによっては音声が出力されないスピーカーがあります。このとき全てのスピーカーから音声を出力したいとき。
- 前席、後席とも同じような音響で音声を出力したいとき。

●ドルビープロロジックを設定するには

4チャンネル（フロントLR、センター、サラウンド（リア））の信号を2チャンネルで記録し、それをドルビープロロジックデコーダーにより再度4チャンネルに出力する方式です（サラウンドチャンネルの出力はモノラルとなります）。



(1) 初期設定画面 (P.4-22参照) で **ProLogic** にタッチします。

● タッチするごとに、ONとOFFが切り替わります。



アドバイス

ドルビープロロジックは以下の条件が満たされているときに設定することができます。

- ダウンミックスOFF
- 2チャンネル音声のとき
- ドルビーデジタルで再生しているとき

●音声ダイナミックレンジを設定するには

DVDの音声ダイナミックレンジ（音声の最大値と最小値の比）を設定することができます。



(1) 初期設定画面 (P.4-22参照)

で **音声ダイナミックレンジ** にタッチします。

- タッチするごとに、STD、MAX、MINと切り替わります。
- MAX…………最大ダイナミックレンジ
- STD…………標準ダイナミックレンジ
- MIN…………最小ダイナミックレンジ

4
DVD
CD

DVDプレーヤーを使うには

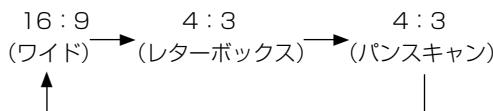
●映像出力切替を設定するには

後席ディスプレイ（別売）の画面比に合わせて映像出力的方式（ワイド、レターボックス、パンスキヤン）を設定することができます。



(1) 初期設定画面（P.4-22参照）で **映像出力切替** oucherにタッチします。

● タッチするごとに設定が切り替わります。



● 16:9 (ワイド)

後席ディスプレイが16:9の画面の場合もしくは未装着の場合に設定します。

4:3の映像を再生する場合は、左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

● 4:3 (レターボックス)

後席ディスプレイが4:3の画面の場合に設定します。16:9の映像を再生する場合は、上下部分は黒帯となります。

● 4:3 (パンスキヤン)

後席ディスプレイが4:3の画面の場合に設定します。中心部分または重要部分を画面一杯に表示します。16:9の映像を再生する場合は、画面に入りきらなかった部分が切れた映像となります。



アドバイス

- 4:3 (レターボックス) 及び4:3 (パンスキヤン) に出力映像設定すると、本機の画面では横方向に伸びた映像となる場合があります。
- 本機で設定したワイド画面モード（P.1-20の⑤参照）の映像効果は、後席ディスプレイ出力には反映されません。



注意

テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されますとオリジナルの映像とは見え方に差が出ることをご留意ください。また、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の（分割表示や）圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

7 言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0801	ハウサ語	1721	ケチュア語
0514	英語	0809	ヒンディー語	1813	レートロマン語
0618	フランス語	0818	クロアチア語	1814	キルンディー語
0405	ドイツ語	0821	ハンガリー語	1815	ローマ語
0920	イタリア語	0825	アルメニア語	1823	キンヤルワンド語
0519	スペイン語	0901	国際語	1901	サンスクリット語
1412	オランダ語	0905	Interlingue	1904	シンド語
1821	ロシア語	0911	イヌピアック語	1907	サンド語
2608	中国語	0914	インドネシア語	1908	セルボクロアチア語
1115	韓国語	0919	アイスランド語	1909	セイロン語
0512	ギリシャ語	0923	ヘブライ語	1911	スロバック語
0101	アファル語	1009	イディッシュ語	1912	スロベニア語
0102	アブハジア語	1023	ジャワ語	1913	サモア語
0106	アフリカーンス語	1101	グルジア語	1914	ショナ語
0113	アムハラ語	1111	カザフ語	1915	ゾマリ語
0118	アラビア語	1112	グリーンランド語	1917	アルバニア語
0119	アッサム語	1113	カンボジア語	1918	セルビア語
0125	アイマラ語	1114	カンナダ語	1919	シスワティ語
0126	アゼルバイジャン語	1119	カシミール語	1920	セストウ語
0201	バシキール語	1121	クルド語	1921	スンダ語
0205	ベラルーシ語	1125	キルギス語	1922	スウェーデン語
0207	ブルガリア語	1201	ラテン語	1923	スワヒリ語
0208	ビハーリー語	1214	リンガラ語	2001	タミル語
0209	ビスマラ語	1215	ラオス語	2005	テルグ語
0214	ベンガル語	1220	リストニア語	2007	タジク語
0215	チベット語	1222	ラトビア語	2008	タイ語
0218	ブルトン語	1307	マダガスカル語	2009	チグリス語
0301	カタロニア語	1309	アオリ語	2011	ツルキ語
0315	コルシカ語	1311	マケドニア語	2012	タガログ語
0319	チェコ語	1312	マラヤーム語	2014	セツワナ語
0325	ウェールズ語	1314	モンゴル語	2015	ニュージーランド語
0401	デンマーク語	1315	モルダビア語	2018	トルコ語
0426	ブータン語	1318	マラー語	2019	ツォンガ語
0515	エスペラント語	1319	マライ語	2020	タタール語
0520	エストニア語	1320	マルタ語	2023	トゥィ語
0521	バスク語	1325	ビルマ語	2111	ウクライナ語
0601	ペルシャ語	1401	ナウル語	2118	ウルドゥー語
0609	フィンランド語	1405	ネパール語	2126	ウズベク語
0610	フィジー語	1415	ノルウェー語	2209	ベトナム語
0615	フェロー語	1503	プロバンス語	2215	ポラビュク語
0625	フリジア語	1513	オモロ語	2315	ウォルフ語
0701	アイルランド語	1518	オリヤー語	2408	コーサ語
0704	スコットランドゲール語	1601	パンジャブ語	2515	ヨルバ語
0712	ガルシア語	1612	ポーランド語	2621	ズールー語
0714	グラニ語	1619	アフガニスタン語		
0721	グジャラート語	1620	ポルトガル語		

ビデオCDプレーヤーを使うには

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオCDをご覧になります（走行中にビデオCDモードを選択した場合、音声のみになります）。

再生できるディスクについて

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）用のディスクの再生は、保証いたしません。



アドバイス

8cmディスクを使用するときはアダプターを使用せずに、そのままディスクを挿入してください。アダプターを使用するとディスクを取り出せなくなるおそれがあります。

4
DVD
CD

ビデオCDプレーヤーを使うには

ビデオCDの操作画面について

●ビデオCD操作画面について

ビデオCDを再生させているときに、 を押すか、ビデオCDの映像をタッチするとビデオCD操作画面が表示されます。



① トラックナンバー

現在再生しているトラックナンバーを表示します。

PBC（プレイバックコントロール）付きビデオCDを再生している場合は常時「PBC ON」と表示されます。

② 再生時間

再生時間を表示します。

PBC（プレイバックコントロール）付きビデオCDを再生している場合は常時「PBC ON」と表示されます。

③ 映像スイッチ

映像を表示するときにタッチします。

④ 早送りスイッチ

映像を早送りするときにタッチします。

⑤ 再生・一時停止スイッチ

映像を再生・一時停止するときにタッチします。

⑥ 停止スイッチ

映像を停止するときにタッチします。

⑦ 早戻しスイッチ

映像を早戻しするときにタッチします。

⑧ 各種切替スイッチ

各種切替画面（P.4-34参照）を表示するときにタッチします。

●各種切替画面について

ビデオCD操作画面（P.4-33参照）で **各種切替** にタッチすると、各種切替画面が表示されます。



① ページ戻しスイッチ

ディスクに収録されているメニューの前ページを表示する（P.4-38参照）ときにタッチします。

② ページ送りスイッチ

ディスクに収録されているメニューの次ページを表示する（P.4-38参照）ときにタッチします。

③ リターンスイッチ

タッチするとディスクのあらかじめ決められた場所へ移動し、その位置から再生されます。

④ MAIN/SUBスイッチ

音声を切り替える（P.4-39参照）ときにタッチします。

⑤ 番号スイッチ

メニューからトラックを選択する（P.4-38参照）ときにタッチします。

⑥ Wideスイッチ

ワイド画面モード（P.1-20参照）を切り替えるときにタッチします。

⑦ 映像スイッチ

映像を表示するときにタッチします。

1 ビデオCDを見るには

●ビデオCDが挿入されていない場合



(1) ディスク挿し込み口にビデオCDを差し込みます。

● 再生を開始します。

● 再生中に を押すとビデオCD操作画面 (P.4-33参照) が表示されます。

●ビデオCDが挿入されている場合



(1) を押します。

● オーディオ操作画面 (P.2-3の1の(2) 参照) が表示されます。

(2) にタッチします。

● 再生を開始します。

● が表示されていないときは、 にタッチしてページを切り替えます。

2 映像を操作するには

●映像を再生するには



(1) を押します。

● ビデオCD操作画面 (P.4-33参照) が表示されます。

(2) にタッチします。

●早送り・早戻しをするには

再生している映像を早送り・早戻しすることが出来ます。



(1) |◀▶|を押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。



- ビデオCD操作画面 (P.4-33参照) で ▶ または ▶ にタッチしても早送り・早戻しできます。
- ▶ を押し続けると早送りできます。
- ▶ を押し続けると早戻しできます。

●停止するには



(1) [PWR] を押します。

- ビデオCD操作画面 (P.4-33参照) が表示されます。

(2) [] にタッチします。

- 再生を停止します。

- ▶ にタッチすると再生を開始します。



4
DVD
CD

ビデオCDプレーヤーを使うには



(1)  を押します。

- ビデオCD操作画面 (P.4-33参照) が表示されます。



(2)  にタッチします。

- 再生を一時停止します。



●  にタッチすると再生を開始します。

●  を押し続けるとスロー再生します。

3 トラックを選択するには

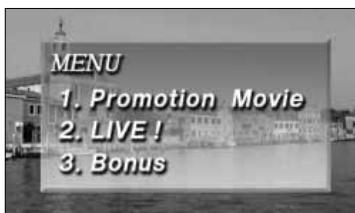
● トラックスイッチで選ぶには



(1) |◀◀▶▶|を押します。

- 右側を1回押すと次のトラックから再生します。
- 左側を1回押すとトラックの先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前のトラックを再生します。

● メニューから選ぶには



(1) [PWR] を押します。

- ビデオCD操作画面（P.4-33参照）が表示されます。



(2) [各種切替] をタッチします。

- 各種切替画面（P.4-34参照）が表示されます。
- [ページ送] にタッチすると、次のメニューを表示します。
- [ページ戻] にタッチすると、前のメニューを表示します。



(3) [番号] をタッチします。

- 番号選択画面が表示されます。



(4) 再生したい映像の番号を入力します。

- 修正するときは [修正] をタッチすると1番号ずつ消去されます。

(5) [完了] にタッチすると入力された番号の映像を再生します。

- 入力した番号がビデオCDに収録されていない場合は、現在再生している映像を表示します。

4 音声を切り替えるには



(1) [PWR] を押します。

- ビデオCD操作画面 (P.4-33参照) が表示されます。

(2) [各種切替] をタッチします。

- 各種切替画面 (P.4-34参照) が表示されます。



(3) [MAIN/SUB] にタッチするたびに

メイン／サブ (MAIN/SUB)

サブ (SUB) ← メイン (MAIN) ←



CDプレーヤーでCDを聞くには

CD、DTS-CDを再生し、聞くことができます。CDの出し入れについてはP.1-10を参照してください。



1 CDを聞くには

●CDが挿入されていない場合



●CDが挿入されている場合



4
DVD
CD

CDプレーヤーでCDを聞くには

(1) ディスク差し込み口にCDを差し込むと自動的に電源が入り、再生を開始します。

- 再生中に を押すとCD操作画面が表示されます。

(1) を押します。

- オーディオ操作画面（P.2-3参照）が表示されます。

(2) **CD/DVD** にタッチします。

- CD操作画面が表示されます。

- **CD/DVD** が表示されていないときは、 にタッチしてページを切り替えます。



アドバイス

- 8cmディスクを使用するときはアダプターを使用せずに、そのままディスクを挿入してください。
アダプターを使用するとディスクを取り出せなくなるおそれがあります。
- 本機では、CDエキストラの画像再生はできません。
- マルチセッションにより複数セッションが存在するディスクでは、すべてのセッションを再生できない場合があります。



アドバイス

- 録音機種によってはディスクが再生されないことがあります。
- CD操作画面に表示される文字数は以下のとおりです。
 - アーティスト・・・半角で最大25文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
 - ディスクタイトル・・・半角で最大25文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
 - トラックタイトル・・・半角で最大25文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
- 録音（入力）機種によっては文字（記号）タイトルが表示されないことがあります。
- 本機に内蔵されているデータベースから情報を取得した場合は、CD操作画面に情報が表示されます。
- CD-TEXT情報のあるCDを再生中は、タイトルデータベース情報の有無に関わらずCD-TEXT情報を優先して表示します。

4
DVD
CD

CDプレーヤーでCDを聞くには

2 曲を選ぶには

● トラックスイッチで選ぶ



(1) |◀◀▶▶|を押します。

- 右側を1回押すと、次の曲を再生します。
- 左側を1回押すと、曲の先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前の曲を再生します。

● リスト画面で選ぶ



(1) 上記画面で [LIST] にタッチします。

(2) 曲（リスト）にタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 選択した曲の再生を開始します。



アドバイス

現在再生している曲のリストが強調表示されます。

3 早送り・早戻しをするには



(1) |◀◀▶|を押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

4 再生中のディスクの中から希望する曲を探すには



(1) [SCAN]にタッチします。

- [SCAN]の作動表示灯が点灯し、画面上部に“SCAN”的文字が表示されます。
- 再生中の曲の次の曲から、曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
- 解除するにはもう一度[SCAN]にタッチします。解除されたところから再生を続けます。

5 同じ曲をリピート再生するには



(1) [RPT]にタッチします。

- [RPT]の作動表示灯が点灯し、画面上部に“RPT”的文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度[RPT]にタッチします。

6 曲の順番をランダムに聞くには



(1) [RAND]にタッチします。

- [RAND]の作動表示灯が点灯し、画面上部に“RAND”的文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度[RAND]にタッチします。



アドバイス

ランダム選曲は、曲が終わるごとに次に再生する曲をランダム（無作為）に決めています。このため同じ曲が連続して再生されることがあります。

MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

CD-ROM、CD-R/RWに記録されたMP3/WMAファイルを聞くことができます。

●MP3/WMA操作画面



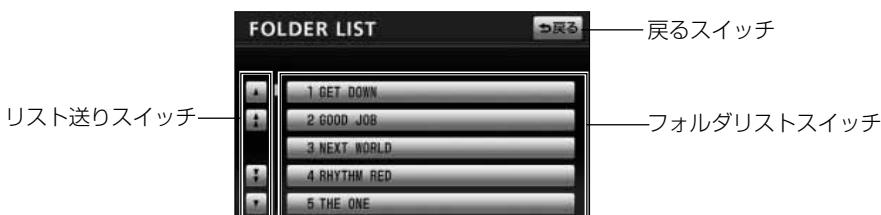
アドバイス

- MP3/WMA操作画面のアーティスト名は、MP3/WMAファイルのタグ情報（P.4-51参照）を表示します。
- 記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。
- アーティスト名を表示するのに、時間がかかる場合があります。

4
DVD
CD

M
P
3
/
W
M
A
プレーヤーで音楽を聞くには

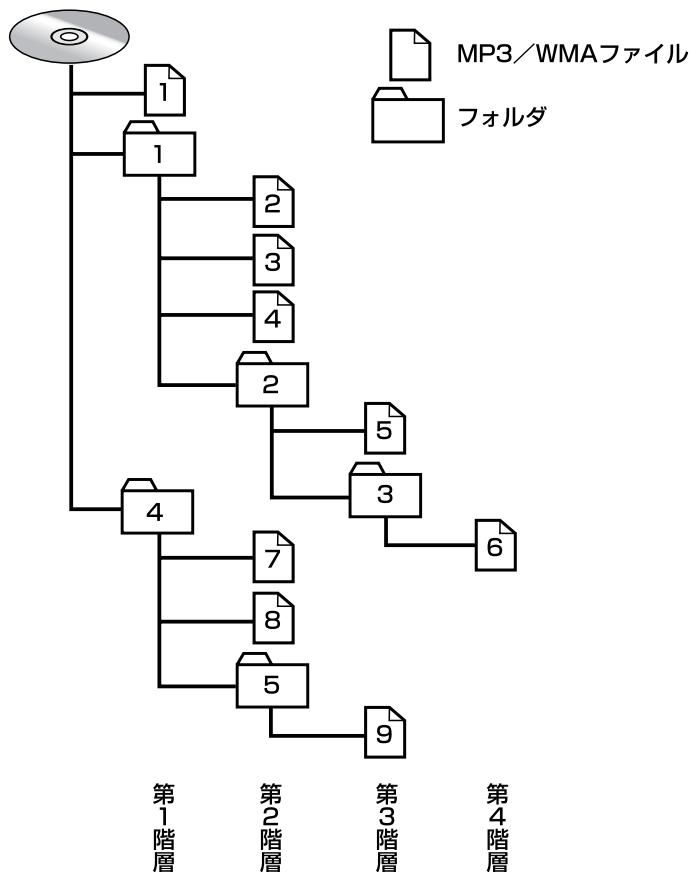
●フォルダリスト画面



●ファイルリスト画面



●MP3/WMA対応ディスクの構造例



4
DVD
CD

MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには



アドバイス

- フォルダに格納されずディスクに直接格納されているファイル①は、本機のMP3/WMAプレーヤーで再生する場合に“ROOT FOLDER”という架空のファルダに格納されます。
- MP3/WMAファイルが直接格納されていないフォルダは、本機では表示されません。
- 同じディスク（同一セッション）に音楽CD（CDDA）データとMP3/WMAデータが混在する場合は、MP3/WMAデータは再生できません。
- 同じディスクにオーディオファイル（WAVEデータ）とMP3/WMAデータが混在する場合には、MP3/WMAデータのみ再生することができます。
- マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、すべてのセッションを再生できない場合があります。

1 MP3/WMAディスクを聞くには

●ディスクが挿入されていない場合



- (1) ディスク差し込み口にディスクを差し込むと自動的に電源が入り、再生を開始します。

- 再生中に を押すとMP3/WMA操作画面が表示されます。

●ディスクが挿入されている場合



- (1) を押します。

- オーディオ操作画面（P.2-3参照）が表示されます。

- (2) **CD/DVD** にタッチします。

- MP3/WMA操作画面が表示されます。

- **CD/DVD** が表示されていないときは、 にタッチしてページを切り替えます。



アドバイス

- 通常は①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧→⑨（「●MP3/WMA対応ディスクの構造例」を参照）の順に再生します。
- 再生中のファイルのモードを、「MP3」または「WMA」で表示します。
- 画面に表示させることができるフォルダ名、ファイル名の文字数は、最大12文字（半角のみのときは25文字）までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されない場合があります。

2 聞きたいフォルダを選ぶには

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

●操作画面で選ぶには



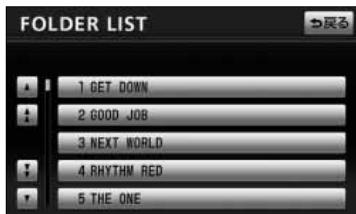
- (1) MP3 / WMA 操作画面（P. 4-43 参照）で または にタッチします。

- 選んだフォルダに格納されている最初のファイルの再生を始めます。

●リスト画面で選ぶには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.4-43参照) でFOLDER の[LIST]にタッチします。



- (2) リストに表示されたフォルダ名にタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 走行中はリストのスクロール操作はできません。
- 選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

3 聞きたいファイルを選ぶには

ディスクの中から聞きたいファイルを選ぶことができます。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



- (1) |◀◀▶▶|を押します。

- 右側を1回押すと、次のファイルを再生します。
- 左側を1回押すと、ファイルの先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前のファイルを再生します。

4
DVD
CD

M
P
3
/
W
M
A
プレーヤーで音楽を聞くには

●リスト画面で選ぶには



- (1) MP3/WMA操作画面（P.4-43参照）でFILEのLISTにタッチします。



- (2) リストに表示されたファイル名にタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 行走中はリストのスクロール操作はできません。
- 選択したファイルの再生を開始します。

4
DVD
CD

M
P
3
/
W
M
A
プレーヤーで音楽を聞くには

4 早送り・早戻しをするには



- (1) |◀▶|をピッと音が鳴るまで押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

5 同じファイルをリピート再生するには



- (1) MP3/WMA操作画面（P.4-43参照）でRPTにタッチします。

- RPT の作動表示灯が点灯し、画面上部に“RPT”的文字が表示されます。
- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度RPTにタッチします。

6 同じフォルダをリピート再生するには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.4-43参照) で **RPT** をピッと音が鳴るまでタッチし続けます (フォルダリピート)。
- **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面上部に “FLD. RPT” の文字が表示されます。
 - 再生中のファイルと同じフォルダにあるファイルを繰り返し再生します。
 - 解除するにはもう一度 **RPT** にタッチします。

7 再生中のフォルダの中からランダムに再生するには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.4-43参照) で **RAND** にタッチします。
- **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面上部に “RAND” の文字が表示されます。
 - 再生中のフォルダの中からランダム (無作為) にファイルが選択され再生します。
 - 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

8 全フォルダの中からランダムに再生するには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.4-43参照) で **RAND** をピッと音が鳴るまでタッチし続けます (フォルダランダム)。
- **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面上部に “FLD. RAND” の文字が表示されます。
 - ディスク内の全フォルダの中からランダム (無作為) にファイルが選択され再生します。
 - 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

4
DVD
CDM
P
3
/
W
M
A
プレーヤーで音楽を聞くには

4
DVD
CDM
P
3
/
W
M
A
プレーヤーで音楽を聞くには

9 再生中のフォルダの中からファイルを探すには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.4-43参照) で **SCAN** にタッチします。
- **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面上部に “SCAN” の文字が表示されます。
- 再生中のファイルの次のファイルから、フォルダ内の全ファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
- 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

10 全フォルダの中からフォルダを探すには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.4-43参照) で **SCAN** をピッと音が鳴るまでタッチし続けます (フォルダスキャン)。
- **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面上部に “FLD. SCAN” の文字が表示されます。
- 再生中のフォルダの次のフォルダから、各フォルダ内の先頭にあるファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
- 全フォルダの先頭にあるファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

●MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio Layer3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMAファイルの規格や記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格

MP3(MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3 LSF)

●対応サンプリング周波数

MPEG-1 Audio Layer3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 16、22.05、24 (kHz)

●対応ビットレート

MPEG-1 Audio Layer3 : 64、80、96、112、128、160、192、224、
256、320 (kbps)

MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 64、80、96、112、128、144、160 (kbps)
※VBRに対応しています。

●対応チャンネルモード

: ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、
モノラル

再生可能なWMAファイルの規格について

●対応規格

WMA Ver. 7、8、9

●対応サンプリング周波数

32、44.1、48(kHz)

●対応ビットレート

Ver. 7、8 : CBR 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)

Ver. 9 : CBR 48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)

※2ch再生のみ対応しています。

4
DVD
CD

M
P
3
/
W
M
A
プ
レ
ー
ヤ
ー
で
音
楽
を
聞
く
に
は

ID3タグ/WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機では、ID3 Ver. 1.0、1.1、ID3 Ver. 2.2、2.3のID3タグに対応しています。
(文字数はID3 Ver. 1.0、1.1に準拠します。)

※Riff SIFには対応しておりません。

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、オーナー名（アーティスト名）を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R、CD-RWおよびCD-ROMです。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは通常の音楽CD(CDDA)に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけた場合、再生できることや、音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

●ディスクフォーマット

CD-ROM Mode 1

CD-ROM XA Mode 2 Form 1

●ファイルフォーマット

ISO9660レベル1

Joliet、Romeo

※UDF2.5には対応しておりません。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

●最大ディレクトリ階層 : 8階層

●最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角12文字。半角のみのときは25文字。

●最大フォルダ数 : 192 (リート含む)

●ディスク内最大ファイル数 : 255

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子 “.mp3” / “.wma” がついたものだけです。

MP3/WMAファイルには、“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

本機は、マルチセッションに対応しておりません。1枚のディスクに2つ以上のセッションが記録されている場合は、すべてのセッションを再生できない場合があります。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが格納されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRで作成したファイルの早送り・早戻し動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番について

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは次のような順番で表示します。

1. MP3/WMAファイルを格納しているフォルダにフォルダナンバーが順番に付与されます。この順番は同一階層にあるフォルダよりも下位階層にあるフォルダが優先となります。
2. 次にフォルダ内のファイルにディスクに書き込まれた順番にファイルナンバーが付与されます。
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAファイルが存在する場合はMP3を優先して表示します。



アドバイス

MP3/WMA以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけないでください。

●MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合について

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、視聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示どおりにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合について

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/CD-RWに書き込む場合について

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介して、ライティングソフトにてCD-R/RWに書き込みます。

- ・ISO9660レベル1およびJolietというファイルフォーマットに設定してください。
 - ・CD-RWを消して使用する場合には、完全に消したことを確認してからご使用ください。
 - ・CD-R/RWは、書き込みの設定でセッションとCDの終了処理を行ってください。
※使用方法などはライティングソフトで異なりますので確認してください。



アドバイス

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R／CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。また、本機ではディスクアットワンス、トラックアットワンスで記録されたディスクをご使用ください。
- MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

4
DVD
CD

MP3／WMAプレーヤーで音楽を聞くには

サウンドライブラリをお使いになる前に

●サウンドライブラリの概要

サウンドライブラリは本機のハードディスクに録音された音楽・音声データをさまざまな再生モードで再生することができます。再生可能な音楽・音声データは、CDを録音したデータになります。CD再生時、および録音時は、「Gracenote 音楽認識サービス」により、アルバム名や、アーティスト名、ジャンルを検索し、該当する名称でリスト（アルバム）を作成します。録音した音楽は、いろいろな方法で再生することができます。

※該当する名称が検索できなかった場合は、録音日時別にアルバムを作成します。

●データベースについて

本機は、CDアルバムをサウンドライブラリに録音した場合、ハードディスクに収録されている Gracenote メディアデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベースは Gracenote® のデータベース情報を使用しています。

Gracenote® 音楽認識サービスについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください: www.gracenote.com GracenoteからのCD および音楽関連データ: Copyright (c) 2000 - 2010 Gracenote. Gracenote Software:Copyright 2000 - 2010 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります:#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc. から提供されました。GracenoteおよびCDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください: www.gracenote.com/corporate



アドバイス

「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を 100% 保証するものではありません。

オートタイトリング機能について

本機は録音した音楽に、データベースからアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。



アドバイス

録音時にタイトル情報が付与できなかったものは、録音日、トラックナンバーを付与します。

(2010年6月15日17:00に録音した場合の例)

アルバムタイトル・・・06月15日17:00

トラックタイトル・・・TRACK 1、TRACK 2、…

データベース情報の表示と更新について

ハードディスクに収録されているデータベースのバージョン情報や録音したトラック数とアルバム数を確認することができます。また、SDメモリカードを使用してデータベースの更新や、データベースに収録されていないタイトル情報を録音した音楽・音声データに付与することができます。



- (1) を押します。
- G-BOOK または BT NAVI が選択されているときは、情報にタッチします。

- (2) データ管理にタッチします。
- データ管理画面が表示されます。
 - 録音したトラック数とアルバム数を表示するには P.5-3 の 1 を参照してください。
 - データベースのバージョンを表示するには、P.5-3 の 2 を参照してください。
 - データベースのバージョンを更新するには、P.5-4 の 3 を参照してください。
 - データベースに収録されていないタイトル情報を取得するには、P.5-6 の 4 を参照してください。



●タイトル情報を更新・取得する方法について

本機にCDを録音してもタイトル情報が付与されない場合、以下の何れかの方法でタイトル情報を付与することができます。

●本機のデータベースを更新（アップデート）する方法

SDメモリーカードを利用してインターネット※経由で更新情報を取得します。（P.5-4の③参照）

●本機に録音された任意のアルバムのタイトル情報を取得する方法

タイトルが付与されなかったアルバム等を選択し、SDメモリーカードと専用のPC（パソコン）

ツールを使ってインターネット※経由で取得します。（P.5-6～P.5-11参照）

※ご利用には、お客様がインターネットプロバイダーと別途契約する必要があります。

1 録音したトラック数とアルバム数を表示するには



(1) データ管理画面（P.5-2の（2）参照）でHDDの容量の **確認** にタッチします。

- 録音したトラック数と作成したマイベスト数が表示されます。



アドバイス

グラフは録音できる残りの割合と作成できるマイベストの割合を表示しています。

2 データベースのバージョンを表示するには

データ管理	
■ 使用領域 □ 空き領域	
バージョン情報	
2009/07/05	Ver.00923
2009/03/24	Ver.00854
2008/12/03	Ver.00645
2008/08/17	Ver.00335
初期バージョン	Ver.00235

(1) データ管理画面（P.5-2の（2）参照）でデータベースのバージョンの **バージョン情報** にタッチします。

- データベースのバージョンと、更新した日付リスト表示します。



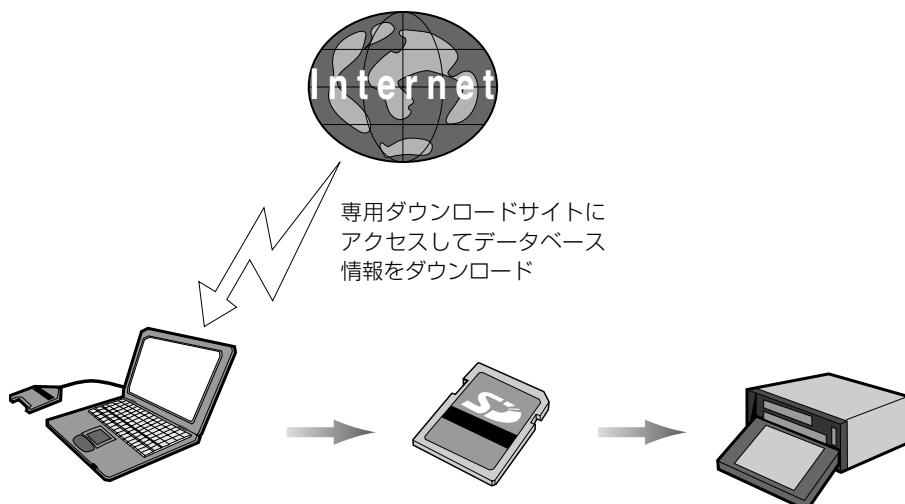
アドバイス

- 録音した曲にタイトルなどを付与するときに使用する Gracenote メディアデータベースのバージョンが表示されます。
- 表示できる件数は最大200件です。

3 タイトルデータベースを更新（アップデート）するには

本機に収録されているタイトルベース情報は、インターネットとSDメモリーカードを利用して、専用ホームページから更新タイトルデータベースをダウンロードし、データベースを更新（アップデート）することができます。録音時にタイトル情報が付与されなかったアルバムでも、更新タイトルデータベースに該当アルバムが収録されていればタイトル情報を自動付与します。

更新タイトルデータベースのダウンロードについては専用ダウンロードサイトでご確認ください。
トヨタ専用ダウンロードサイト：<http://toyota.jp/dop/navi/update/cddb.html>



ダウンロードしたデータベース情報を
SDメモリーカードに保存

データベース情報を保存したSDメモリーカードをナビゲーションに差し込み、
P.5-5の（1）の手順にしたがって情報を更新



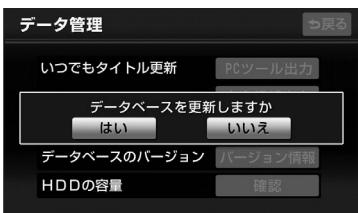
アドバイス

- データベースの更新は、2017年3月までご利用できます。
- 1年分の更新データは、約12MBほどのサイズになります。あらかじめSDメモリーカードの空き容量をお確かめのうえ、ダウンロードしてください。
- SDメモリーカードのフォーマットについては、P.1-14を参照してください。

サウンドライブラリ



- (1) 更新データベースが格納されたSDメモリーカードを本機に挿入して、ディスプレイを閉じます。(P.1-10の①参照)
- (2) データ管理画面 (P.5-2の(2) 参照) を表示して、Gracenote Databaseの [SDで更新] にタッチします。



- (3) [はい] にタッチするとデータベースの更新 (アップデーター) が開始されます。



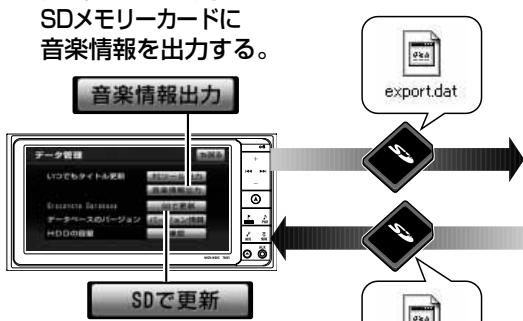
アドバイス

- データベースの更新中に、本機の操作を行わないでください。更新中に操作を行いますと、更新がキャンセルされますのでご注意ください。
- データベース更新中は、SDメモリーカードを抜いたりエンジンスイッチをOFFにしないでください。
- 更新データの容量によって、更新に時間がかかることがあります。
- SDメモリーカードに複数の更新データを入れて更新するとかなり時間がかかることがあるため、1つの更新データでアップデートすることを推奨します。
- 編集したアルバムのタイトル情報は、更新データに同じアルバムのタイトル情報が収録されていた場合、データベースの更新後に再取得の操作を行うことで、新しいタイトル情報に上書きされます。

4 本機に録音された任意のアルバムのタイトル情報を取得するには

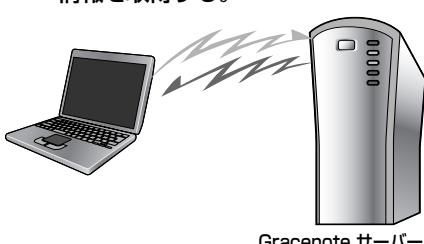
タイトル情報が付与されなかったアルバムなど、本機に録音した任意のアルバムのタイトル情報を、SDメモリーカードと本機専用の検索用PC（パソコン）ツールを利用して、インターネット経由で取得することができます。

- ① ナビゲーションから
SDメモリーカードに
音楽情報を出力する。



- ④ データベースを更新する。

- ② Gracenote サーバーにアクセスし、ア
ルバム名/アーティスト名/曲名などの
情報を取得する。



- ③ 取得した情報をSDメモリーカー
ドに保存する。

●検索用PC（パソコン）ツールをお手持ちのパソコンに導入する



- (1) データ管理画面を表示して、いつでもタイトル更新の **「PCツール出力」** にタッチします。
- PCツール（TitleFinder_V2.exe）および管理情報（regist.dat）が、SDメモリーカードに出力されます。出力先フォルダは、下記となります。
 - ・ PRIVATE¥CustomUDT
- (2) ツールが出力されたSDメモリーカードをお手持ちのパソコンに挿入し、PCツール（TitleFinder_V2.exe）および管理情報（regist.dat）をパソコンにコピーします。



アドバイス

● コピー先は任意の場所で構いませんが、PCツール(TitleFinder_V2.exe)と管理情報(regist.dat)は、必ず同じ場所に置くようにしてください。

● 本ツールを初めてご利用する際は、管理者(Administratorsのメンバー)としてWindowsにログオンしてください。管理者権限がないとご利用できません。

● 本ツールの動作環境

- OS Microsoft Windows 98SE/Me/2000 Professional (Service Pack 4)/XP (Home/Professional) Service Pack 3/Vista (Ultimate/Business/Home Basic/Home Premium) Service Pack 2/7 (Ultimate/Professional/Home Premium)
- CPU Intel MMX Pentium 266 MHz以上 (推奨Pentium II 300 MHz以上)
- メモリ 64 MB以上 (推奨128 MB以上)
- HDD 200 MB以上の空き容量
- インターネット接続環境 推奨 64 Kbps以上
- ディスプレイ/ビデオボード 解像度 推奨 800×600ピクセル 表示色 推奨 65000以上
- その他 SDメモリーカードリーダー/ライターが別途必要です。
空き容量が4 MB以上のSDメモリーカードが別途必要です。

● インターネット接続の設定を行う



アドバイス

詳細なインターネット接続設定は、ご契約先のプロバイダにお問い合わせして頂くようお願いいたします。

- (1) **TitleFinder.exe** アイコンをダブルクリックします。
● Gracenote タイトル検索ソフトが起動します。
- (2) **接続設定** を選びます。
- (3) 接続の設定を行います。
 - **Internet Explorerの設定を使用する**
Internet Explorerをお使いの場合にチェックします。
Internet Explorer以外のブラウザをお使いの場合はチェックを解除し、下記項目を設定します。
 - **LAN接続を使用**
LAN接続の場合にチェックします。
 - **ダイヤルアップ接続を使用**
ダイヤルアップ接続の場合チェックします。
 - **タイトル取得の完了時に回線を自動で切断**
タイトル取得が完了すると、自動的に回線を切断します。
 - **プロキシサーバを使用**
プロキシサーバを使用する場合にチェックします。
- (4) **設定** を選びます。
● 設定が保存されます。

● アルバム情報取得までの操作

操作の流れは下記の3つに分けられます。

- ① (ナビ操作) 本機からSDメモリーカードに音楽情報を出力する。
- ② (PC操作) PCツールでアルバム情報を取得し、SDメモリーカードに保存する。
- ③ (ナビ操作) SDメモリーカードに保存したアルバム情報を用いて、タイトルデータベースの更新を行う。

1 本機からSDメモリーカードに音楽情報を出力する



(1) データ管理画面で、**音楽情報出力** にタッチします。

- PCツールを一度も出力されていない場合、メッセージが表示されます。この場合、**OK** にタッチするとPCツールがSDメモリーカードに出力されますので、お手持ちのパソコンに導入してください (P.5-6参照)。

(2) タイトル情報を取得したいアルバムをリストから選択し、**完了** にタッチします。

- 複数のアルバムを同時に選択することができます。
- **タイトル無し全選択** にタッチすると、タイトルが自動付与されていないアルバムを全て選択します。



(3) **はい** にタッチします。

- 選択したアルバムのタイトル情報を取得するための情報 (export.dat)が、SDメモリーカードに出力されます。出力先フォルダは、下記となります。
 - PRIVATE¥CustomUDT
- **いいえ** にタッチすると、再びアルバムを選択しながらすことができます。



アドバイス

- 音楽情報出力中は、本機の操作を行わないでください。出力中に操作を行いますと、出力がキャンセルされますのでご注意ください。
- 音楽情報出力中は、SDメモリーカードを抜いたり、エンジンスイッチをOFFにしないでください。
- 音楽情報の容量によって、出力に時間がかかることがあります。
- SDメモリーカードのフォーマットについては、P.1-14を参照してください。

② PCツールでアルバム情報を取得し、SDメモリーカードに保存する

●出力した音楽情報を使用してタイトル情報を取得する



(1) PCツールを起動し、[参照]を押します。

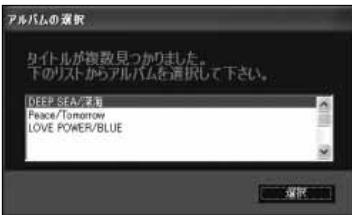


(2) ファイル選択ダイアログから、SDメモリーカードに保存した「export.dat」を選択し、[開く(O)]を押します。



(3) [Fileからデータベース検索]を押すと、Gracenoteサーバーにアクセスし、検索を開始します。

- モデム接続の場合は、ダイヤルアップ接続の確認画面が表示されます。
“接続先”、“ユーザー名”、“パスワード”を入力し、**接続**を押してください。

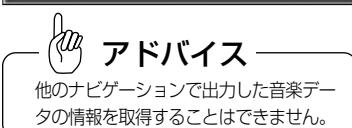


(4) アルバム情報が複数ある場合のみ、アルバム名を選び**選択**を押します。



(5) [保存]を押します。

- 音楽情報ファイル「export.dat」と同じフォルダにアルバム情報「import.dat」が作成されます。保存が完了するとメッセージが表示されるので**OK**を押します。



アドバイス

他のナビゲーションで出力した音楽データの情報を取得することはできません。

(6) 「import.dat」ファイルを、SDメモリーカードにコピーします。

- 必ずSDメモリーカードの「PRIVATE¥CustomUDT」フォルダの中にコピーしてください。それ以外の場所にコピーすると、タイトル情報を付与できません。

●CDを使用してタイトル情報を取得する

お手持ちのCDよりPCツールを利用してタイトル情報を取得することができます。取得したタイトル情報を、ナビゲーションに登録しておくことで、CDを録音する際に、確実にタイトル情報を付与させることができます。

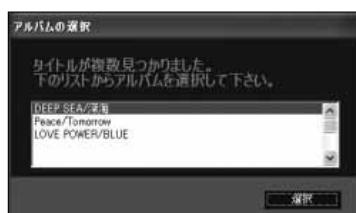


(1) タイトル情報を取得したい検索対象のCDをパソコンのCDドライブに挿入します。

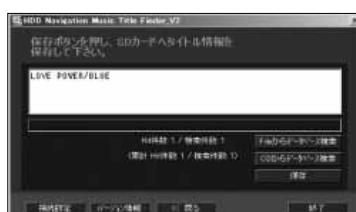
(2) 「検索対象となるCDドライブ」より、CDを挿入したドライブを選択します。



(3) **CDからデータベース検索** を押します。



(4) アルバム情報が複数ある場合のみ、アルバム名を選び**選択** を押します。



(5) **保存** を押します。

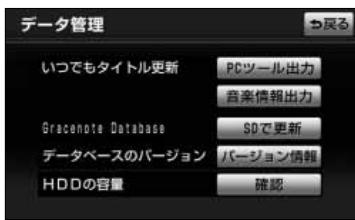
5
サウンド
ライブラリ

サウンドライブラリをお使いになる前に

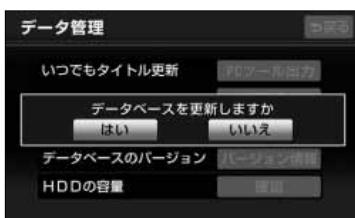


- (6) アルバム情報の保存先を選択し、**OK** を押します。
- (7) アルバム情報「import.dat」ファイルを、SDメモリーカードにコピーします。
● 必ずSDメモリーカードの「PRIVATE\CustomUDT」フォルダの中にコピーしてください。それ以外の場所にコピーすると、タイトル情報を付与できません。

③ SDメモリーカードに保存したアルバム情報を用いて、タイトルデータベースの更新を行う



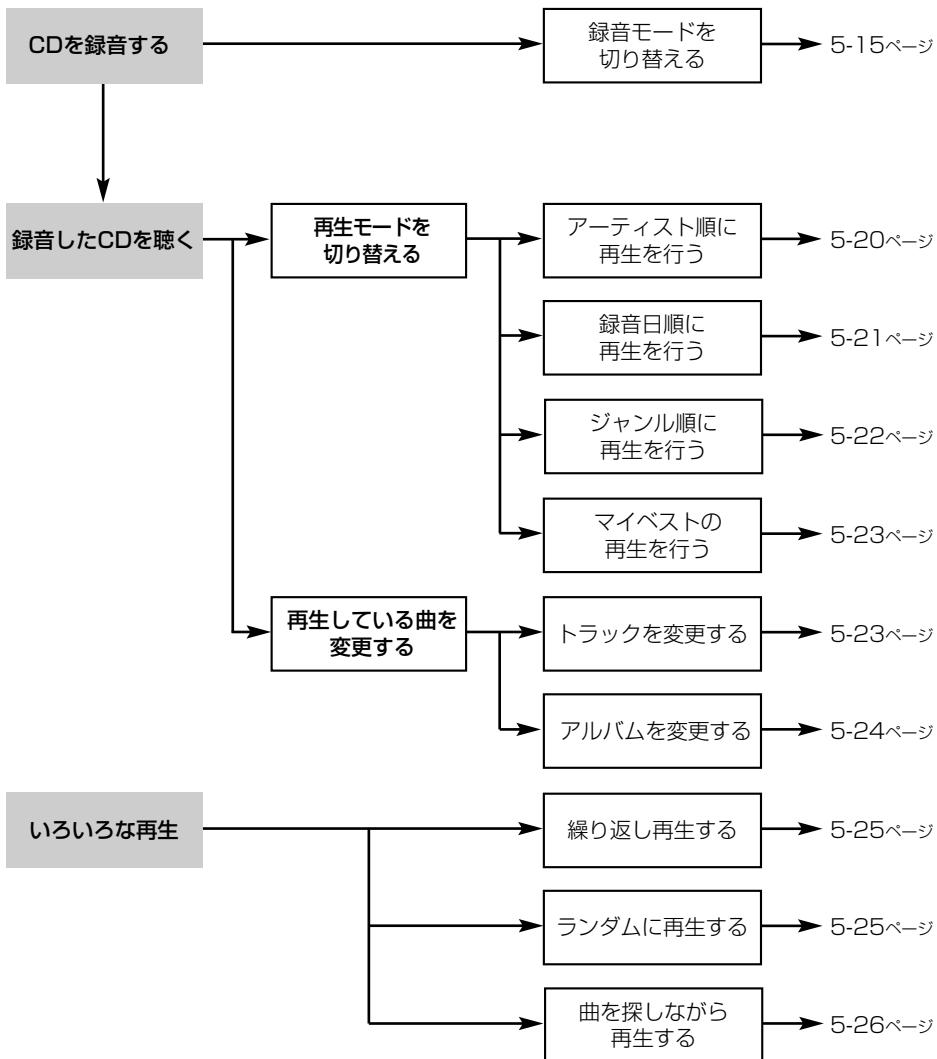
- (1) SDメモリーカードを本機に挿入して、ディスプレイを閉じます。(P.1-10の①参照)
- (2) データ管理画面 (P.5-2の(2)参照) を表示して、Gracenote Databaseの**SDで更新**にタッチします。
- (3) **はい** にタッチするとデータベースの更新（アップデート）が開始されます。

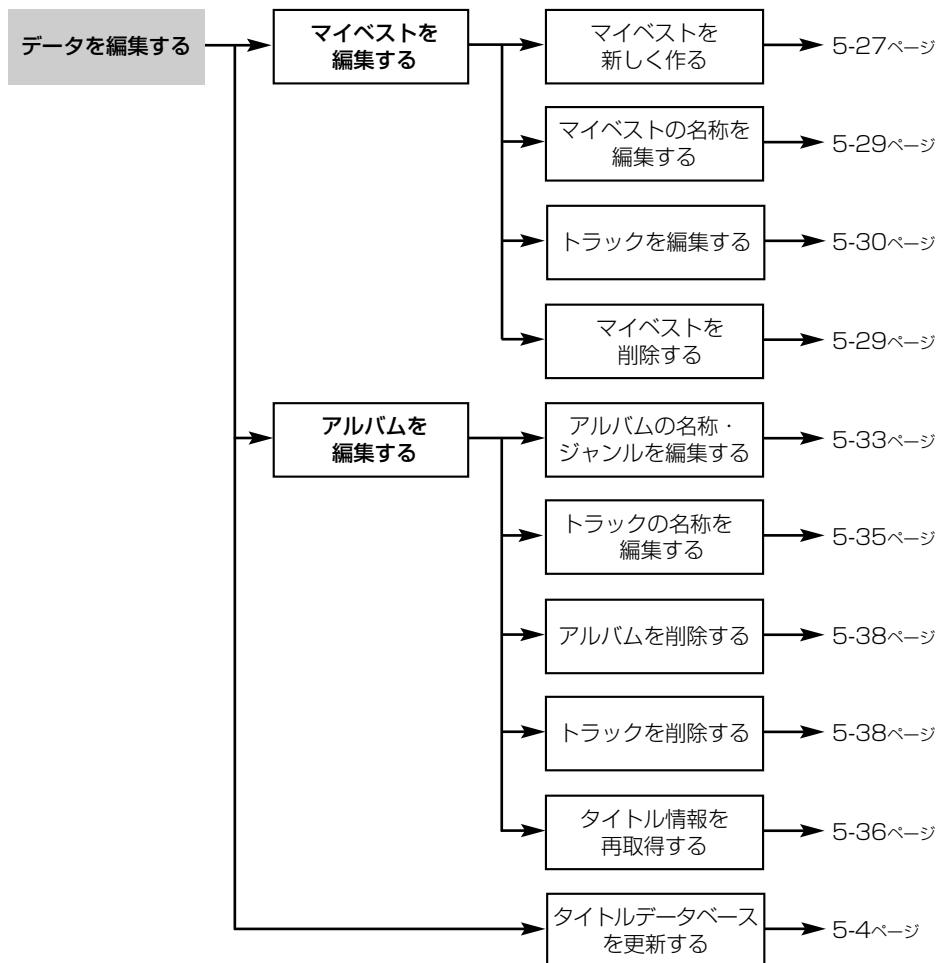


目的別早見表

サウンドライブラリをお使いになるには、まずCDを録音します。

録音した音楽はサウンドライブラリのさまざまな再生モードでお楽しみいただけます。





CDを録音するには

●CDの録音について

本機は、音楽CDをハードディスクに録音し、サウンドライブラリで聴くことができます。CDの録音には、CDの未録音トラック（曲）全てを自動録音・手動録音する方法と、録音したい曲のみを選んで録音する方法があります。何れの録音方法も高速で録音を行い、CD以外の音声（ラジオやテレビなど）を聴きながらでも録音を行うことができます。

※CD-R/CD-RWに格納したMP3・WMAやDTS-CDを録音することはできません。

●録音中の表示

録音中は、CD操作画面（P.4-40参照）に録音中マークと残りの録音曲数を表示します。

録音中マークと残りの曲数



録音中マーク

赤色：録音を行っている状態

灰色：録音の準備中または一時停止中

残りの録音曲数

残り〇〇曲：録音する残りの曲数

録音済：録音できる全ての曲を録音済み

録音停止 にタッチすると録音を停止します。

録音開始 にタッチすると録音を再開します。

5
サウンド
ライブラリ

CDを録音するには



アドバイス

CD以外のオーディオ操作画面（P.2-3の1の(1)参照）には、画面右上に録音中マーク（CD REC）のみ表示されます。

●録音の一時停止

録音中に以下の状態になると録音を一時停止し、機能終了後に録音を開始します。

オーディオの電源OFF（オーディオの電源ONで録音を再開します。）

ACC OFF（ACC ONで録音を再開します。）



アドバイス

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽データについて
は保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽データが正しく録音されていることを
確認してください。
- エンジンスイッチがACCの状態で録音しているときにエンジンを始動すると、録音したデータが消失する
おそれがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然
な音切れが発生することがあります、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- CD-TEXT情報は、タイトル情報としては保存されません。



アドバイス

- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、オーディオ機器を使用して録音したもの（CD-R、CD-RW）を本機に録音することはできません（パソコン用コンピュータを使用してCDを作成または複製した場合は、ライティングソフトウェアの仕様に依存します）。
- DTS-CDは再生のみお楽しみいただけます。本機への録音はできません。
- サウンドライブラリには、最大1000のCD（アルバム）を録音することができ、1つのアルバムには最大99曲※までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は、最大2500※です。
※録音時間や録音音質によって作成可能なアルバム数や録音可能なトラック数は異なります。

1 録音モードを設定するには

録音モードの設定はCD録音設定画面にて行います。録音音質の設定、自動録音・手動録音の切り替え、選んで録音の設定を行うことができます。



5
サウンド
ライブラリ

CDを録音するには

- (1) 設定・編集画面（P.2-4参照）で **オーディオ** にタッチします。
- (2) **CD⇒HDD録音設定** にタッチします。
 - CD録音設定画面が表示されます。
 - 録音音質を **高音質** に設定すると、録音音質は良くなりますが録音データの容量は大きくなります。
普通 に設定すると、録音データの容量は高音質に設定した場合の約半分になります。
初期設定は、**普通** に設定されています。
 - 自動録音を **する** に設定すると、CDを差し込んだとき未録音トラックを自動で録音できます（自動録音）。**しない** に設定すると、CD操作画面（P.4-40参照）で **録音開始** を押したときCDの録音を開始できます（手動録音）。
初期設定は **しない** に設定されています。
 - 選んで録音を **する** に設定すると、手動録音のときCDから好きなトラックを選んで録音できます。
しない に設定すると、手動録音のときCDの未録音トラックを録音できます。
初期設定は **しない** に設定されています。

(3) [完了]にタッチします。



アドバイス

- CDの録音中に録音モードの設定を行うことはできません。全てのトラックの録音が終了するか、録音を停止してからお使いください。
- 選んで録音を設定するには、自動録音で [しない] を選択してください。

2 CDの収録トラックを自動で録音するには

CDを差し込み、再生と同時に未録音トラック全ての録音を開始します。



(1) CD録音設定画面（P.5-15参照）で自動録音が [する] に設定されているときにCDを差し込みます。（CDの差し込み方についてはP.1-10を参照してください。）

- 自動で録音が開始されます。全てのトラックの録音が完了すると録音を停止します。再生は継続されます。
- 録音を停止する場合は、CD操作画面（P.4-40参照）で [録音停止] にタッチします。
録音を再開するには [録音開始] にタッチしてください。



アドバイス

- 自動で録音中に [PWR] を押し続け、オーディオの電源がOFFになると録音を一時停止します。オーディオの電源をONにすると録音を再開します。
- 録音中は [PWR] やCD操作画面（P.4-40参照）の [RPT] [RAND] [SCAN] を操作することができます。全てのトラックの録音が終了するか、録音を停止してからお使いください。

3 CDの収録トラックを手動で録音するには

手動でCDの収録トラックを録音する方法には、全てのトラックを録音する方法と、お好みのトラックを選んで録音する方法があります。

●手動で全ての未録音トラックを録音するには



- (1) CD録音設定画面（P.5-15参照）で自動録音が「しない」、選んで録音が「しない」に設定されているときにCD操作画面（P.4-40参照）を表示します。（CD操作画面の表示方法についてはP.4-40の1を参照してください。）
- (2) CD操作画面（P.4-40参照）で【録音開始】にタッチします。
 - 録音が開始されます。全てのトラックの録音が完了すると録音を停止します。再生は継続されます。
 - 録音を停止する場合は、【録音停止】にタッチします。
録音を再開するには【録音開始】にタッチしてください。

●CDの中からお好みの未録音トラックを録音するには



- (1) CD録音設定画面（P.5-15参照）で自動録音が「しない」、選んで録音が「する」に設定されているときにCD操作画面（P.4-40参照）を表示します。（CD操作画面の表示方法についてはP.4-40の1を参照してください。）
- (2) CD操作画面（P.4-40参照）で【録音開始】にタッチします。



(3) 録音したいトラックにタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 選択しているトラックを再度選択すると、選択が解除されます。
- **全選択**にタッチすると録音可能トラックを全て選択します。
- **全解除**にタッチすると全ての選択を解除します。



(4) **完了**にタッチします。

- 選択したトラックの録音を開始します。選択した全てのトラックの録音が完了すると録音を停止します。再生は継続されます。
- 録音を停止する場合は、**録音停止**にタッチします。
録音を再開するには**録音開始**にタッチした後、(3)の操作を行ってください。



アドバイス

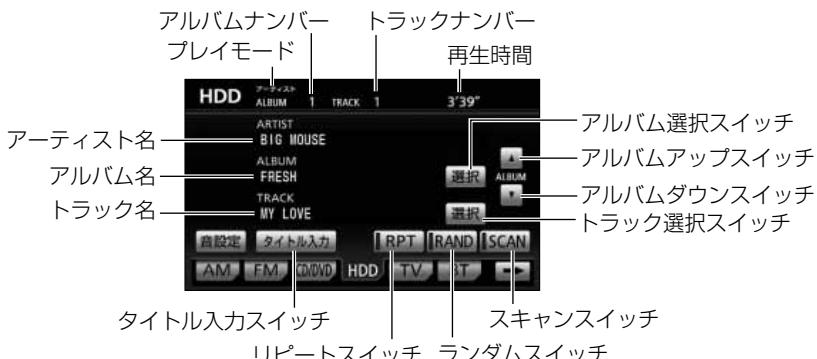
- 手動で録音中に を押し続け、オーディオの電源がOFFになると録音を停止します。オーディオの電源をONにすると録音を再開します。
- 録音中は やCD操作画面(P.4-40参照)の **RPT** **RAND** **SCAN** スイッチを操作することができます。全てのトラックの録音が終了するか、録音を停止してからお使いください。

サウンドライブラリを聞くには

ハードディスクに録音した音楽をいろいろな再生方法で楽しむことができます。

サウンドライブラリ操作画面について

●サウンドライブラリの操作画面に表示される情報とスイッチの名称



アドバイス

- アーティスト名、アルバム名、トラック名は再生している曲（トラック）の情報を表示します。
- トラック名、アーティスト名、アルバム名はアルファベット・カタカナ・記号の半角文字では最大25文字、漢字・ひらがなの全角文字では12文字まで表示できます。

1 サウンドライブラリを起動するには



- (1) を押します。
● オーディオ操作画面 (P.2-3参照) が表示されます。
- (2) **HDD** にタッチします。
● サウンドライブラリの再生を開始します。
● 前回再生していたトラックが、前回と同じプレイモードで再生されます。
● **HDD** が表示されていないときは、 にタッチしてページを切り替えます。



アドバイス

はじめてお使いになる場合など、録音されている曲がない場合は再生を開始できません。CDを録音して（P.5-14参照）からお使いください。

サウンドライブラリのプレイモードについて

サウンドライブラリは、聞きたいアルバムの選曲方法によりプレイモードが決まります。

プレイモード	特徴
アーティスト	アーティストから選曲した場合は、アルバムをアーティストの順番（アルバムに設定されているアーティスト読みで50音順）に再生します。 アーティストに読みが設定されていないアルバムは、読みが設定されているアルバムよりも後に再生されます。 同じアーティスト（※）のアルバムは録音が古い順に再生されます。 ※読みが同じでもアーティスト名が違う場合は異なるアーティストと認識します。また、アーティスト名が同じでも読みが違う場合も異なるアーティストとして認識します。
録音日順	録音日から選曲した場合は、アルバムを最近録音した順に再生します。
ジャンル	ジャンルから選曲した場合は、ジャンルの順番に再生します。 同じジャンルのアルバムは録音が古い順に再生されます。
マイベスト	マイベストから選曲した場合は、マイベストを最近作成した順に再生します。



アドバイス

現在のプレイモードはサウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）の左上に「アーティスト」「録音日」「ジャンル」「マイベスト」と表示されます。

2 聞きたい曲（アルバム）を選ぶには

アーティスト、録音日順、ジャンル、マイベストから、アルバムまたはマイベストを選択します。

●アーティストから選ぶには



- (1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で ALBUMの【選択】にタッチします。
- (2) 【アーティスト】にタッチします。
 - プレイモードがアーティスト順に変更され、アーティストのリストが50音順に表示されます。

サウンドライブラリ

5
サウンド
ライブラリ

サウンドライブラリを聞くには



(3) 再生したいアーティスト（リスト）にタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 選択したアーティストのアルバム（リスト）が表示されます。

(4) 再生したいアルバム（リスト）にタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 選択したアルバムの最初のトラックから再生します。

(5) 「選択完了」にタッチします。



アドバイス

- アーティストから選曲するとプレイモードがアーティスト順になります。
- リストでは現在再生しているアルバム、アーティストが強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているアルバム、アーティストから表示されます。（再生しているアルバムを含まない場合は、先頭から表示します。）

●録音日から選ぶには



(1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で ALBUMの「選択」にタッチします。

(2) 「録音日順」にタッチします。

- プレイモードが録音日順に変更され、アルバムのリストが表示されます。

(3) 再生したいアルバム（リスト）にタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 選択したアルバムの最初のトラックから再生します。



アドバイス

- 録音日から選曲するとプレイモードが録音日順になります。
- リストでは現在再生しているアルバムが強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているアルバムから表示されます。(再生しているアルバムを含まない場合は、先頭から表示します。)

● ジャンルから選ぶには



(1) サウンドライブラリ操作画面 (P.5-19参照) で ALBUMの [選択] にタッチします。

- アルバム選択画面が表示されます。

(2) [ジャンル] にタッチします。

- プレイモードがジャンル順に変更され、ジャンルの一覧が表示されます。

(3) 再生したいジャンルにタッチします。

- 選択したジャンルのアルバム (リスト) が表示されます。

(4) 再生したいアルバム (リスト) にタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 選択したアルバムの最初のトラックから再生します。

(5) [選択完了] にタッチします。

5
サウンド
ライブラリ

サウンドライブラリを聞くには



アドバイス

- ジャンルから選曲するとプレイモードがジャンル順になります。
- リストでは現在再生しているアルバム、ジャンルは強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているアルバムから表示されます。(再生しているアルバムを含まない場合は、先頭から表示します。)

サウンドライブラリ

●マイベストから選ぶには



(1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で ALBUMの「選択」にタッチします。

(2) 「マイベスト」にタッチします。

- プレイモードがマイベスト順に変更され、マイベストのリストが表示されます。
- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。

(3) 再生したいマイベスト（リスト）にタッチします。

- 選択したマイベストの最初のトラックから再生します。



アドバイス

- マイベストから選曲するとプレイモードがマイベスト順になります。
- リストでは現在再生しているマイベストが強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているマイベストから表示されます。（マイベストを再生していないかった場合は、先頭から表示します。）

3 聞きたい曲（トラック）を選ぶには

●トラックスイッチで選ぶには



(1) |◀▶|を押します。

- 右側を1回押すと、次の曲を再生します。
- 左側を1回押すと、曲の先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前の曲を再生します。



アドバイス

- 前のトラックの再生を行う場合は、トラックの再生時間が1秒以内に左側を押します。5曲前のトラックを再生する場合は、左側を続けて6回押します。
- 右側または左側を押し続けると、早送りまたは早戻しになります。再生するトラックを変更する場合には、短く押してください。

●リスト画面で選ぶには



(1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で TRACKの **選択** にタッチします。

- 現在再生しているアルバムまたはマイベストのトラック（リスト）を表示します。
- **▲**・**▼** は1項目ずつ、**↑**・**↓** は1ページずつリストを動かせます。

(2) 再生したいトラック（リスト）にタッチします。

- 選択したトラックを最初から再生します。



アドバイス

- 現在再生しているトラック（曲）は強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているトラック（曲）が一番上に表示されます。

4 再生しているアルバム・マイベストを変更するには



(1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で **▲** または **▼** にタッチします。

- **▲** にタッチすると次のアルバムまたはマイベストの先頭のトラックから再生します
- **▼** にタッチすると前のアルバムまたはマイベストの先頭のトラックから再生します。

5 早送り・早戻しをするには



(1) |**◀◀** **▶▶**| を押し続けます。

- 右側を押し続けると、早送りできます。
- 左側を押し続けると、早戻しできます。
- 手を離した位置から再生が開始されます。



アドバイス

早送りにより曲の最後まで送った、または早戻しにより曲の最初まで戻った場合、曲の最後または最初で止まります。

6 同じ曲を繰り返し再生するには



- (1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で **RPT** にタッチします。
- **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面上部に“RPT”的文字が表示されます。
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度**RPT**にタッチします。

7 同じアルバム・マイベストを繰り返し再生するには



- (1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で **RPT** にピッと音が鳴るまでタッチします。
- **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面上部に“ALB.RPT”的文字が表示されます。
- 再生中のアルバム、マイベストを繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度**RPT**にタッチします。

8 曲の再生順をランダムにするには



- (1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で **RAND** にタッチします。
- **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面上部に“RAND”的文字が表示されます。
- 解除するまで再生しているアルバム、マイベストの中から曲をランダム（無作為）に選んで再生します。
- 解除するにはもう一度**RAND**にタッチします。

9 全てのアルバム・マイベストから曲をランダムに再生するには



- (1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で **RAND** にピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
- **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面上部に "ALB.RAND" の文字が表示されます。
 - 解除するまで再生される全アルバム、全マイベストに登録されている曲の中からランダム（無作為）に選んで再生します。
 - 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

10 再生中のアルバム・マイベストから曲を探すには



- (1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で **SCAN** にタッチします。
- **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面上部に "SCAN" の文字が表示されます。
 - 再生中の次の曲から、曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
 - 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。

11 全てのアルバム・マイベストからアルバム・マイベストを探すには



- (1) サウンドライブラリ操作画面（P.5-19参照）で **SCAN** にピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
- **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面上部に "ALB.SCAN" の文字が表示されます。
 - 再生中の次のアルバム・マイベストから、先頭にある曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
 - 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。

5
サウンド
ライブラリ

サウンドライブラリを聞くには

サウンドライブラリを編集するには

サウンドライブラリでは録音した曲を目的に合わせて集めたマイベストを作成することができます。また、録音したアルバムやトラックの情報（タイトルやアーティスト、ジャンルなど）を編集することができます。

1 マイベストを作成するには



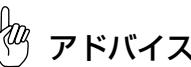
(1) 設定・編集画面（P.2-4の②参照）で**オーディオ**にタッチします。

(2) **サウンドライブラリ編集**にタッチします。

- サウンドライブラリ編集メニュー画面が表示されます。

(3) **新規作成**にタッチします。

- マイベスト名称入力画面が表示されます。



アドバイス

● マイベストは最大で1000個まで作成できます。

● 1つのマイベストには99曲（トラック）まで登録できます。

(4) 名称を入力（編集）します。

- 入力方法は、「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」を参照してください。

(5) **完了**にタッチします。

(6) アルバムの検索方法のスイッチにタッチします。（ここでは**アーティスト**にタッチした場合を例に説明します。）

- アーティストのリストが50音順に表示されます。
- **▲**・**▼**は1項目ずつ、**↑**・**↓**は1ページずつリストを動かせます。

(7) マイベストに登録したいアーティスト（リスト）にタッチします。

- アルバムのリストが表示されます。

(8) マイベストに登録したいアルバム（リスト）にタッチします。

- ・は1項目ずつ、・は1ページずつリストを動かせます。

- トラックのリストが表示されます。

(9) マイベストに登録したいトラックを選択します。

- ・は1項目ずつ、・は1ページずつリストを動かせます。

- トラック（リスト）にタッチするとマイベストに追加するトラックを選択します。もう一度タッチすると選択を解除します。

- **全選択**にタッチすると全てのトラックを選択します。

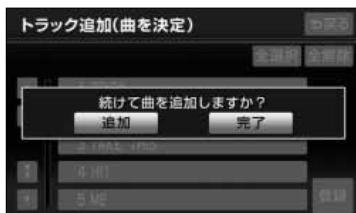
- **全解除**にタッチすると全ての選択を解除します。

(10) **登録**にタッチします。

- **追加**を選択するとP.5-27の（6）から同じ操作を繰り返して曲を追加できます。

(11) **完了**にタッチします。

- 登録した内容でマイベストを作成します。



アドバイス

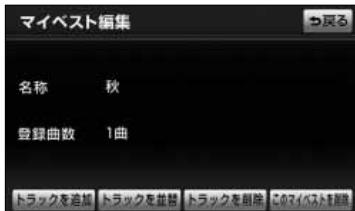
登録にタッチする前に、他の画面を表示するとマイベストの作成および曲の登録が解除されます。

2 マイベストの名称を編集するには



- (1) サウンドライブラリ編集メニュー画面 (P.5-27の①の(3)参照) でマイベストの【名称修正】にタッチします。
 - マイベストのリストが表示されます。
 - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- (2) 名称を編集したいマイベスト（リスト）にタッチします。
- (3) 名称を入力（編集）します。
 - 入力方法は、「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」を参照してください。
- (4) 【完了】にタッチします。

3 マイベストを消去するには

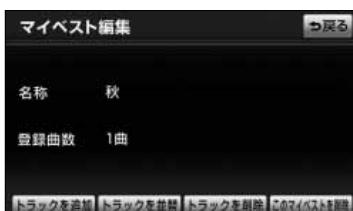


- (1) サウンドライブラリ編集メニュー画面 (P.5-27の①の(3)参照) でマイベストの【編集】にタッチします。
 - マイベストのリストが表示されます。
 - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- (2) 消去したいマイベスト（リスト）にタッチします。
- (3) 【このマイベストを削除】にタッチします。
- (4) 【はい】にタッチします。
 - 消去の処理が開始されます。

4 マイベストに曲（トラック）を追加するには



- (1) サウンドライブラリ編集メニュー画面 (P.5-27の①の(3)参照) でマイベストの**編集**にタッチします。
- マイベストのリストが表示されます。
 - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。

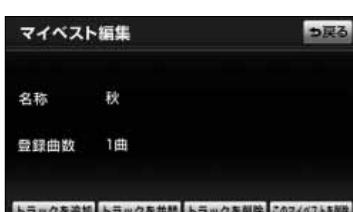


- (2) 曲を追加したいマイベスト（リスト）にタッチします。
- (3) **トラックを追加**にタッチします。
- トラック追加画面が表示されます。
 - 以降の手順は、P.5-27の①の(6)～(11)と同じです。

5 マイベストの曲（トラック）を並べ替えるには



- (1) サウンドライブラリ編集メニュー画面 (P.5-27の①の(3)参照) でマイベストの**編集**にタッチします。
- マイベストのリストが表示されます。
 - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。



- (2) 曲を並べ替えたいマイベスト（リスト）にタッチします。
- (3) **トラックを並替**にタッチします。



- (4) 並べ替えたい曲（リスト）にタッチします。
- 選択した曲が強調表示されます。
 - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。

5
サウンド
ライブラリ

サウンドライブラリを編集するには



(5) 並べ替えたい位置の **並替** にタッチします。

- 選択した曲の順番を変更します。

(6) **完了** にタッチします。

6 マイベストの曲（トラック）を消去するには

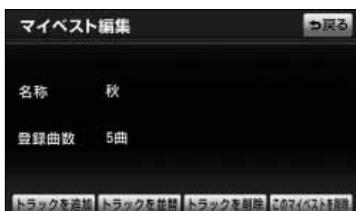


(1) サウンドライブラリ編集メニュー画面（P.5-27の①の（3）参照）でマイベストの **編集** にタッチします。

- マイベストのリストが表示されます。
- **▲**・**▼** は1項目ずつ、**▲**・**▼** は1ページずつリストを動かせます。

(2) 曲を消去したいマイベスト（リスト）にタッチします。

(3) **トラックを削除** にタッチします。



(4) 消去したい曲（リスト）にタッチします。

- **▲**・**▼** は1項目ずつ、**▲**・**▼** は1ページずつリストを動かせます。
- 選択した曲が強調表示されます。
- もう一度タッチすると選択を解除します。
- **全選択** にタッチすると全ての曲を選択します。
- **全解除** にタッチすると全ての選択を解除します。

(5) **削除** にタッチします。



(5)





(6) [はい] にタッチします。

- 消去の処理が開始されます。

7 アルバムの情報を編集するには

お好みのタイトルやジャンルにアルバムの情報を編集することができます。また、タイトル情報をデータベースから取得して付与することができます。

(1) サウンドライブラリ編集メニュー画面 (P.5-27の①の(3)参照) でアルバムの [修正] にタッチします。

(2) アルバムの検索方法のスイッチにタッチします。(ここでは [アーティスト] にタッチした場合を例に説明します。)

- アーティストのリストが50音順に表示されます。
- ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。

(3) 編集したいアルバムのアーティスト (リスト) にタッチします。

- アルバムのリストが表示されます。

(4) 編集したいアルバム (リスト) にタッチします。

- ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。

- アルバム修正画面が表示されます。



5
サウンド
ライブラリ

サウンドライブラリを編集するには



アドバイス

編集したいアルバムを再生中にサウンドライブラリ操作画面 (P.5-19参照) で [タイトル入力] にタッチしても P.5-33の(5)の画面を表示できます。

サウンドライブラリ



(5) 編集したい項目のスイッチにタッチします。

- **アルバム** にタッチするとアルバム名を編集できます。(下記参照)
- **アルバム読み** にタッチするとアルバム名の読みを編集できます。(下記参照)
- **アルバムアーティスト** にタッチするとアーティスト名を編集できます。(P.5-34参照)
- **アルバムアーティスト読み** にタッチするとアーティスト名の読みを編集できます。(P.5-34参照)
- **ジャンル** にタッチするとジャンルを変更できます。(P.5-35参照)
- **トラック名を修正** にタッチするとトラックの名称、読みを編集できます。(P.5-35参照)
- **HDDで検索** または **Gで検索** にタッチするとタイトル情報を取得できます。(P.5-36参照)

* **Gで検索** は、「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」の「CDタイトル情報を取得するには」を参照してください。

● アルバムの名称を編集するには



(1) アルバム修正画面 ((5) 参照) で **アルバム** にタッチします。

(2) 文字を入力します。

- 入力方法は、「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」を参照してください。

(3) **完了** にタッチします。

(1) アルバム修正画面 ((5) 参照) で **アルバム読み** にタッチします。

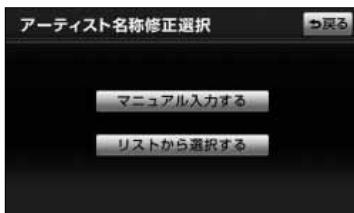
(2) 文字を入力します。

(3) **完了** にタッチします。

● アルバムの読みを編集するには



●アーティストの名称を編集するには



(1) アルバム修正画面（P.5-33の（5）参照）で **アルバムアーティスト** にタッチします。

● 文字を入力する場合は **マニュアル入力する** にタッチします。

● すでに登録されているアーティスト（CD録音による自動登録またはマニュアル入力による登録）の中から選択するには、**リストから選択する** にタッチします。

(2) **マニュアル入力する** を選択した場合、文字を入力します。

● 入力方法は、「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」を参照してください。

(3) **完了** にタッチします。

(4) **リストから選択する** を選択した場合は、アーティスト（リスト）にタッチします。



●アーティストの読みを編集するには



(1) アルバム修正画面（P.5-33の（5）参照）で **アルバムアーティスト読み** にタッチします。

(2) 文字を入力します。

(3) **完了** にタッチします。

サウンドライブラリ

●ジャンルを編集するには



- (1) アルバム修正画面（P.5-33の（5）参照）で **ジャンル** にタッチします。
- (2) 変更したいジャンルのスイッチにタッチします。
- (3) **完了** にタッチします。

●トラックの名称を編集するには



- (1) アルバム修正画面（P.5-33の（5）参照）で **トラック名を修正** にタッチします。
 - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- (2) 名称を編集したいトラック（リスト）にタッチします。
- (3) **トラック** にタッチします。



- (4) 文字を入力します。
 - 入力方法は、「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「メモリ地点を登録・修正・消去するには」を参照してください。
- (5) **完了** にタッチします。

●トラックの読みを編集するには



- (1) アルバム修正画面（P.5-33の（5）参照）で **トラック名を修正** にタッチします。
 - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- (2) 読みを編集したいトラック（リスト）にタッチします。



(3) [Track Read]にタッチします。



(4) 文字を入力します。

(5) [完了]にタッチします。

● タイトル情報を再取得するには

ハードディスクに録音した音楽のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、ハードディスクに収録されているGracenoteメディアデータベースの中から検索して、該当する情報を付与することができます。



(1) アルバム修正画面（P.5-33の（5）参照）で [HDDで検索] にタッチします。

● 検索が開始されます。



(2) 複数候補が検索されたときは、タイトル（リスト）にタッチします。

● 該当する候補が1つだけだったときは（3）の画面を表示します。



(3) [登録]にタッチします。

● 検索結果を反映しないときは [中止] にタッチします。



アドバイス

- 編集したアルバム情報、トラック情報を元に戻したいときに使用すると便利です。
- タイトル情報はアルバムのみまたはトラックのみに情報を反映することができません（アルバムとトラックのタイトル情報を強制的に更新します）。
- CD録音時に間違って付与された場合でも、データベースの更新後（P.5-4参照）に再取得することで正しい情報が得られる可能性があります。
- アルバム修正画面（P.5-33の（5）参照）の **Gで検索** は、G-BOOKオンラインサービスの利用手続きをされているときに使用することができます。
Gで検索 にタッチすると、G-BOOKオンラインサービスを利用して、最新のタイトル情報をG-BOOKセンター経由でGracenoteメディアデータベースから取得することができます。
詳しくは「**G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版**」の「CDタイトル情報を取得するには」を参照してください。

5
サウンド
ライブラリ

サウンドライブラリを編集するには

8 アルバム・トラックを消去するには

ハードディスクに録音したアルバム、トラックを選択して消去します。



(1) サウンドライブラリ編集メニュー画面 (P.5-27の①の(3) 参照) でアルバムの **削除** にタッチします。

(2) アルバムの検索方法のスイッチにタッチします。(ここでは「アーティスト」にタッチした場合を例に説明します。)

- アーティストのリストが50音順に表示されます。

- □ ▲・□ ▾は1項目ずつ、□ ▲・□ ▾は1ページずつリストを動かせます。

(3) 消去したいアルバム、トラックを含むアーティスト (リスト) にタッチします。

- アルバムのリストが表示されます。

(4) 消去したいアルバム、または消去したいトラックを含むアルバム (リスト) にタッチします。

- □ ▲・□ ▾は1項目ずつ、□ ▲・□ ▾は1ページずつリストを動かせます。

- アルバムのタイトル情報が表示されます。

- 「このアルバムを削除」にタッチするとアルバムを消去できます。(P.5-39参照)

- 「トラックを削除」にタッチするとトラックを消去できます。(P.5-39参照)



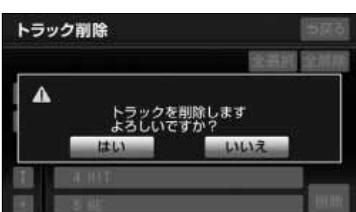
5
サウンド
ライブラリ

サウンドライブラリを編集するには

● アルバムを消去するには



● トラックを消去するには



- (1) P.5-38の(4)の画面で **このアルバムを削除** にタッチします。
- (2) **はい** にタッチします。

● 消去の処理が開始されます。

- (1) P.5-38の(4)の画面で **トラックを削除** にタッチします。
- (2) 消去したいトラック(リスト)にタッチします。

● **▲**・**▼** は1項目ずつ、**▲**・**▼** は1ページずつリストを動かせます。

- 選択したトラックが強調表示されます。
- もう一度タッチすると選択を解除します。
- **全選択** にタッチすると全てのトラックを選択します。
- **全解除** にタッチすると全ての選択を解除します。

- (3) **削除** にタッチします。
- (4) **はい** にタッチします。

● 消去の処理が開始されます。

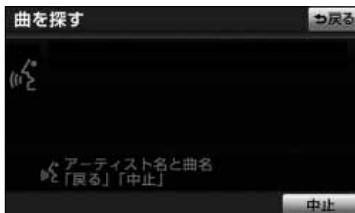


アドバイス

- アルバム、トラックを消去するとマイベストに登録したトラックも消去されます。
- 消去の処理を開始すると途中でキャンセルすることはできませんので、十分に注意してから実行してください。

音声操作で楽曲を検索するには

サウンドライブラリに登録されている曲にアルバムアーティスト読みとトラック読みが登録されている（P.5-32の⑦参照）と、音声操作システムでアーティスト読みとトラック読みを音声入力するだけで該当する曲を再生します。



(1) 音声入力ボタンを押します。

(2) 「曲を探す」を音声入力します。

- 「アーティスト名と曲名をお話ください」と音声案内されます。
- アーティスト名と曲名を続けて音声入力する方法と、別々に音声入力する方法があります。ここでは別々に音声入力した場合について説明します。



(3) 「○○○（アーティスト名）」を音声入力します。

- 検索されたアーティストの名称が表示され、「○○○（アーティスト名）の曲を探します」「曲名をお話ください」と音声案内されます。



アドバイス

アーティストが複数検索された場合は、画面に候補のアーティスト名が表示されます。このとき「候補 1」または「候補 2」と音声入力することで他のアーティストを選択することができます。



(4) 「△△△（曲名）」を音声入力します。

- 検索されたアーティストと曲が表示され、「○○○（アーティスト名）の△△△（曲名）が検索されました」「この曲を聴く場合は、曲を聴くとお話ください」と音声案内されます。



アドバイス

曲が複数検索された場合は、画面に候補のアーティスト名と曲名が表示されます。このとき「候補 1」または「候補 2」と音声入力することで他の曲を選択することができます。

(5) 「曲を聴く」と音声入力します。

- 検索された曲を再生します。



アドバイス

(3) で「〇〇〇（アーティスト名）の△△△（曲名）」と続けて音声入力した場合は、(5) から同じ音声操作を行います。



アドバイス

- 画面に表示されるアーティスト名と曲名は、タイトル情報のアルバムアーティストとトラックの名称です。タイトル情報に名称が無い場合は空欄で表示されます。
- 同一アーティストのトラックでも、トラック読みの情報が設定されていないトラックは選曲されません。P.5-35を参照し、読みの情報を入力してください。

5
サウンド
ライブラリ

音声操作で楽曲を検索するには

メモ

5
サウンド
ライブリ

メ
モ

SDカード連携

SD AUDIOで音楽を聞くには

SDメモリーカードに取り込んだ圧縮音楽ファイルを再生することができます。
SDメモリーカードへの圧縮音楽ファイルの取り込みには、次の方法があります。

- パソコンでの配信サイトからのダウンロード
- パソコンを使ってCDから作成した音楽ファイルの書き込み

■推奨エンコーダー

Panasonic製 SD-Jukebox (V5以降)

■対応データ形式

Panasonic製 SD-Jukebox V5の出力形式に準拠します。

セキュア AAC	サンプリング周波数 (kHz)	16	22.05	24	32	44.1	48
	ビットレート (kbps)	32~144					
セキュア MP3	サンプリング周波数 (kHz)	16	22.05	24	32	44.1	48
	ビットレート(VBRを含む) (kbps)	32~192					

いずれの形式も著作権保護のために、SDメモリーカードへ書き込むためには著作権保護機能に対応したリーダーライターが必要です。

■推奨データ形式

- データフォーマット セキュアAAC
- サンプリング周波数 44.1kHz、ビットレート 96kbps (標準録音) または 128kbps (高音質録音)



アドバイス

- パソコンを使っての音楽ファイルの書き込みには、Panasonic製SD-Jukebox V5以降の使用を推奨します。パソコンのハードディスクなどにある音楽ファイルをSDメモリーカードにコピーしただけでは再生できません。また、Panasonic製SD-Jukebox以外 (SD AUDIO規格に準拠していない) のソフトウェアを使用して書き込んだ場合は、正常に再生できないことがあります。
- パソコンの環境によっては録音できなかったり、録音した音楽データが使えないなどの不具合が発生する場合があります。お客様のデータの損失ならびにその他の直接／間接的な障害につきましては、保証いたしかねますので、予めご了承ください。

● SD AUDIO操作画面



1 SD AUDIOで音楽を聞くには



(1) SDメモリーカードが差し込まれているときに
を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **SD** にタッチします。

- 再生を開始します。

- **SD** が表示されていないときは、**→** にタッ
チしてページを切り替えます。



SDカード連携



アドバイス

- SD AUDIO操作画面に表示される文字数は以下のとおりです。
 - アーティスト名…半角で最大30文字、全角文字で最大15文字まで、先頭から表示します。
 - プレイリスト名…半角で25文字、全角12文字まで、先頭から表示します。
 - トラック名………半角で最大25文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
 - 全角、半角が混在している場合は、枠内で表示可能な文字数分を表示します。
- 再生中に、他のオーディオモードに切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにすると、再生が停止されます。この場合、再びSD AUDIOに切り替わると、その曲の停止した場所から再生されます。ただし、次のような場合は、デフォルトプレイリスト（P.6-5参照）により、最初の曲から順に再生されます。
 - ・バッテリーとの接続が断たれたり、電圧が下がったとき
 - ・SD AUDIOの内容を変更したとき
- アーティスト名またはトラック名がないときはSD AUDIO操作画面に名称は表示されません。
- サポートしている音楽ファイルが1つもない、またはSDメモリーカード内のデータに異常がある場合は「再生できるデータがありません」と表示されます。

2 曲を選ぶには



(1) |◀|▶|を押します。

- 右側を1回押すと、次の曲を再生できます。
- 左側を1回押すと、曲の先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前の曲を再生できます。

3 早送り・早戻しをするには



(1) |◀|▶|をピッと音がするまで押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

4 聞きたい曲を探すには



(1) **SCAN** にタッチします。

- **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面上部に "SCAN" の文字が表示されます。
- 再生中の曲の次の曲から、曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
- 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。
- 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。

5 同じ曲をリピート再生するには



(1) **RPT** にタッチします。

- **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面上部に "RPT" の文字が表示されます。
- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度 **RPT** にタッチします。

6 曲の順番をランダムに聞くには



(1) **RAND** にタッチします。

- **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面上部に "RAND" の文字が表示されます。
- 再生中のプレイリスト内の全ファイルの中から再生する曲をランダムに選んで再生します。
- 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。



アドバイス

ランダム選曲は、曲が終わるごとに次に再生する曲をランダム（無作為）に決めています。このため同じ曲が連続して再生されることがあります。

7 再生しているプレイリストを変更するには



(1) SD AUDIO操作画面（P.6-2参照）で ▲ または ▼ にタッチします。

- ▲ にタッチすると、次のプレイリストの先頭の曲から再生されます。
- ▼ にタッチすると、前のプレイリストの先頭の曲から再生されます。

8 プレイリストから曲を選ぶには



(1) SD AUDIO操作画面（P.6-2参照）で PLAY LIST の 選択 にタッチします。

- プレイリスト画面が表示されます。
- プレイリストは、SD-Jukebox (V5以降) を使用して、SDメモリーカードに音楽ファイルを書き込む (Check Outする) と、自動的に作成されます。
- プレイリスト画面で希望のプレイリスト名にタッチすると、選択したプレイリストの曲が再生されます。
- 全曲再生 にタッチすると、再生中のプレイリストをデフォルトプレイリストに変更して、再生します。
- ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。



アドバイス

● プレイリストの編集は、SD-Jukebox (V5以降) で行うことができます。

● プレイリスト画面に表示される文字数は以下のとおりです。

プレイリスト名・・・・半角で最大26文字、全角文字で最大13文字まで、先頭から表示します。

9 トラックリストから曲を選ぶには



(1) SD AUDIO操作画面（P.6-2参照）でTRACKの
選択にタッチします。

- トラックリスト画面が表示されます。
- 再生中のプレイリスト内の曲が一覧で表示（SDメモリーカードに書き込んだ順）されます。
- トラックリスト画面で曲名（トラック名）にタッチすると選択した曲が再生されます。再生が終わると、トラックリスト画面に並んでいる順に曲が再生されます。
- 現在再生されている曲は、リストが強調表示されます。
- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。



アドバイス

トラックリスト画面に表示される文字数は以下のとおりです。

トラック名···半角で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。

iPod®で音楽を聞くには

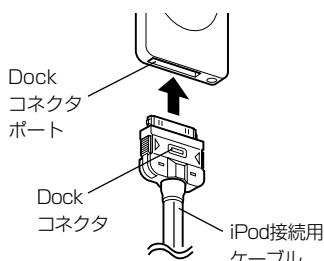
オプションのiPod対応USB/VTRアダプターを購入した場合、iPodを本機に接続して、iPodの音楽を聞くことができます。また、選曲やシャッフルモードの切り替えを、本機で操作することができます。

●iPod操作画面

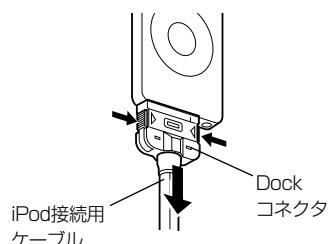


*1 日本語および英語表記のみ対応

1 iPodを本機に接続するには



- (1) iPod本体に接続されているイヤホン、リモコン、ACアダプターなどを、すべて取りはずします。
 - (2) iPod対応USB/VTRアダプターに、iPod接続用ケーブルを使用してiPodを接続します。
- iPod再生状態に関わらず、本機に接続すると自動的に一時停止、全曲リピートモードになります。



●取りはずすには

- (1) Dockコネクタを矢印の方向に押しながら、取り外します。



アドバイス

- iPodに収録されている曲数、ソフトバージョンによっては、iPodとの通信状態により、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しないことがあります。
- iPodにイヤホンやリモコンなどのアクセサリーを挿したまま使用しないでください。その場合、動作保障対象外となります。
- iPodで音楽再生している間は、接続ケーブルを抜かないでください。iPodが故障する場合があります。
- 正しく動作しない場合、iPodを本機から取り外し、iPod本体をリセットしてから本機に再度接続してご使用ください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書をご覧ください。
- ご使用になるiPodが本機に対応しているバージョンであるか確認してください。対応しているバージョンについては、「対応iPod機種一覧」(P.7-9参照)を参照してください。
- 本機とiPodを接続しても、自動でiPodモードに切り替わりません。
- iPodを本機に接続すると、iPodに“TOYOTA”が表示されます。また、“TOYOTA”が表示されている間はiPodによる操作をすることができません。(iPodの仕様によりTOYOTAマークが表示されない場合があります)
- iPodの電源をOFFにしたまま接続しても、TOYOTAマークが表示されます。
- 本機にiPodを接続すると、本機で表示される曲名リストの順番がiPodと異なることがあります。
- iPod未接続時は、オーディオモードスイッチの **iPod** は表示されません。iPodを本機に接続してからご使用ください。
- 接続したiPodを本機で操作する場合、本機の操作とiPodの動作が異なることがあります。



注意

- 運転中は、安全のため、ヘッドフォンまたはイヤホンを使用しないでください。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消去した場合は、その補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- iPod対応USB/VTRアダプターに500mA以上の機器を接続しないでください。ナビゲーション本体の過電流保護機能が作動する場合があります。過電流保護機能が作動した場合、ナビゲーション本体の電源を入れ直すと復帰します。

2 iPodを聞くには



(1) を押します。

- オーディオ操作画面 (P.2-3参照) が表示されます。

(2) **iPod** にタッチします。

- 再生を開始します。
- iPod操作画面が表示されます。
- **iPod** が表示されていないときは にタッチしてページを切り替えます。

3 曲を頭出しそるには



(1) を押します。

- 右側を1回押すと、次のトラック（曲）を再生します。
- 左側を1回押すと、トラック（曲）の先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前のトラック（曲）を再生します。
- iPod操作画面 (P.7-1参照) で または にタッチしても曲を頭出しきできます。
- を1回押すと次のトラック(曲)を再生します。
- を1回押すと再生曲の先頭に戻ります。
- を続けて2回押すと、前のトラック(曲)を再生します。

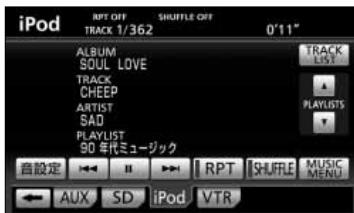


アドバイス

- 前のトラックの再生を行う場合は、トラックの再生時間が3秒以内に左側を押します。5曲前のトラックを再生する場合は、左側を続けて6回押します。
- 右側または左側を押し続けると、早送りまたは早戻しになります。再生するトラックを変更する場合には、短く押してください。

4 早送り・早戻しをするには

● トラックスイッチで選ぶ



(1) |◀◀▶▶|を押し続けます。

- 右側を押し続けると、早送りできます。
- 左側を押し続けると、早戻しできます。
- 手をはなすとはなしした位置から再生が開始されます。
- iPod操作画面（P.7-1参照）で▶▶または◀◀をタッチしても早送りまたは早戻しできます。
- ▶▶を押し続けると、早送りします。
- ◀◀を押し続けると、早戻しします。



アドバイス

早送りによりトラックの最後まで送った場合は、次のトラックに移り通常の再生を行います。

早戻しによりトラックの最初まで戻った場合は、トラックの先頭から通常の再生を行います。

5 再生を一時停止するには



(1) ■■にタッチします。

- 一時停止中は、▶▶が表示されます。
- 通常の再生に戻すには、▶▶をタッチします。

6 同じ曲をリピート再生するには



(1) iPod操作画面（P.7-1参照）でRPTにタッチします。

- RPT の作動表示灯が点灯し、画面上部に“1 TRACK RPT”的文字が表示されます。
- もう一度タッチすると解除されます。

7 曲の順番をランダムに聞くには(シャッフル再生)



●曲をシャッフルするには

- (1) iPod操作画面（P.7-1参照）で、**SHUFFLE**にタッチします。

- **SHUFFLE** の作動表示灯が点灯し、画面上部に "TRACK SHUFFLE" の文字が表示されます。
- 再生対象となっている曲全てからランダム（無作為）に並べて再生します。
- もう一度タッチすると解除されます。

●アルバムをシャッフルするには

- (1) iPod操作画面（P.7-1参照）で **SHUFFLE** を押し続けます。

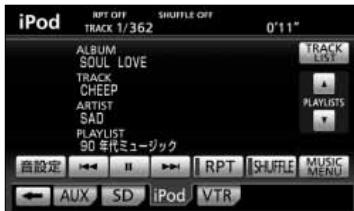
- **SHUFFLE** の作動表示灯が点灯し、画面上部に "ALBUM SHUFFLE" の文字が表示されます。
- 再生対象曲をアルバム単位でアルバムの順番をランダム（無作為）に並べて再生します。
- もう一度タッチすると解除されます。



アドバイス

再生される順序は、iPod本体の動作に準じます。

8 リストから曲を選ぶには



● MUSIC MENU 画面



タブ

- (1) iPod操作画面 (P.7-1参照) で、 **MUSIC MENU** にタッチします。

- (2) 表示したいリストを選んでタッチします。

- **→** 5個目以降のタブ画面へ切替えます。
- 選択されているタブ以外を選択すると再生曲が切り替わります。
- PLAYLISTS、ARTISTS、ALBUMS、PODCASTS、GENRES、COMPOSERSを選択した場合は、選択した項目の全曲を再生します。
- **▲ ▼ ↗ ↘** リストを動かします。
- **ALL** 選択したリストの全曲が再生されます。
- **LIST** 選択した項目に登録されているリストが表示されます。

- (3) リストから項目を選びます。

- 選んだ項目の再生を開始します。
- **メイン画面へ** iPod操作画面に戻ります。



アドバイス

- 各リスト画面に表示される文字数は、半角で最大32文字、全角文字で16文字まで、先頭から表示します。
- iPodを接続後、ダイレクトモードを選択 (P.7-7参照) するまでは、MUSIC MENU画面のリストは表示されません。
- PLAYLISTS、PODCASTS、SONGS の場合は、 **ALL** リストは表示されません。
- 曲のリストを表示している場合は、 **LIST** は表示されません。
- 現在再生しているプレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者は強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているトラックを含むプレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者が一番上に表示されます（再生中トラックを含まない場合は、先頭から表示します）。また、リストは再生する順に表示されます。

9 ダイレクトモードで選曲するには

ダイレクトモードとは、選択したモードを単位として再生対象を切り替えることができる機能です。

●リスト画面から選択



(1) リストから曲を選びます。

8の「リストから曲を選ぶには」(P.7-6参照)

●iPod操作画面から選択



(2) iPod操作画面 (P.7-1参照) で、▲ または ▼ にタッチします。

- iPod操作画面 (P.7-1参照) で、▲ または ▼ にタッチすると、選択したモードごとに再生曲を切り替えることができます。
- ▲ にタッチすると、選択したモードの次のリストの先頭曲が再生されます。

- ▼ にタッチすると、選択したモードの1つ前のリストの先頭曲が再生されます。



アドバイス

- iPod操作画面に表示されているプレイリスト名、ジャンル名、作曲者名、ポッドキャスト名はダイレクトモードでPLAYLISTS、GENRES、COMPOSERS、PODCASTSのいずれを選択している場合に表示されます。
- ▲ または ▼ をタッチして選曲される順序は、iPod本体の動作に準じます。
- 本機にiPodを接続してエンジンスイッチをOFFした場合は、ダイレクトモードの選択が解除されます。
- ダイレクトモードでSONGSを選択している場合は、▲ または ▼ が選択できません。

10 タブのカスタマイズをするには



(1) iPod操作画面（P.7-1参照）で、**MUSIC MENU** にタッチします。

(2) **タブ設定** にタッチします。

- タブ設定画面が表示されます。



(3) MUSIC MENU画面のタブ表示順番で、1～4番目に配置したい項目にタッチします。

- 初期設定は、**PLAYLISTS**・**ARTISTS**・**ALBUMS**・**SONGS**に設定されています。
- 選択している項目にタッチすると、選択を解除できます。



(4) **完了** にタッチします。

- 選択した項目が、MUSIC MENU画面の1～4番目のタブに配置されます。
- 選択しなかった項目は、MUSIC MENU画面の5～7番目のタブとして配置されます。
- 現在設定されているダイレクトモードのタブが存在するMUSIC MENU画面を表示します。

11 再生するトラックの一覧を表示するには



(1) iPod操作画面（P.7-1参照）で、**TRACK LIST**にタッチします。

- 再生対象となっているトラックが再生順に全て表示されます。
- ▲ ▼ ↑ ↓ リストを動かします。

(2) 表示されているトラックにタッチするとタッチしたトラックの再生を開始します。



アドバイス

- リストは再生する順に表示されます。
- 現在再生しているトラックはリストが強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているトラックのリストが一番上に表示されます。

12 対応iPod機種一覧

機種	世代	バージョン	備考
iPod	第5世代	1.3	第1～第4世代については対応しておりません。
iPod nano	第1世代	1.3.1	—
	第2世代	1.1.3	
	第3世代	1.1.3	
	第4世代	1.0.4	
	第5世代	1.0.2	
iPod classic	第1世代	1.1.2	—
	第1世代 '08 '09	2.0.1	—
iPod touch	第1世代 Ver.1系	1.1.5	—
	第1世代 Ver.2系	2.2.1	
	第1世代 Ver.3系	3.1.2	
	第2世代	3.1.2	
	第2世代 2009	3.1.2	
iPhone	3G	3.1.2	—
	3GS	3.1.2	

※iPod shuffle、iPod mini、iPod photoには対応しておりません。



アドバイス

- iPodのバージョン情報は、iPod本体で確認できます。詳しくは、iPodの取扱書をご覧ください。
- iPodで再生できる動画や静止画は、本機で再生できません。
- オーディオブック機能には対応していません。
- iPod は、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPod は著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。
著作権の侵害は法律上禁止されています。
- "Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- "Works with iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPhone and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- iPhone is a trademark of Apple Inc.



iPodで音楽を聞くには

USBメモリーで音楽を聞くには

オプションのiPod対応USB/VTRアダプターを購入した場合、USBメモリーを本機に接続して、USBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを聞くことができます。

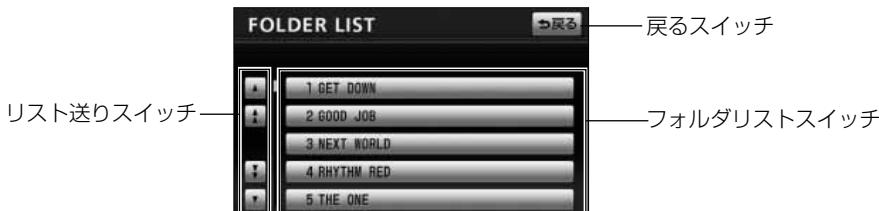
● USBメモリー操作画面



アドバイス

- USBメモリー操作画面のアーティスト名は、MP3/WMAファイルのタグ情報（P.7-21参照）を表示します。
- 記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。
- アーティスト名を表示するのに、時間がかかる場合があります。

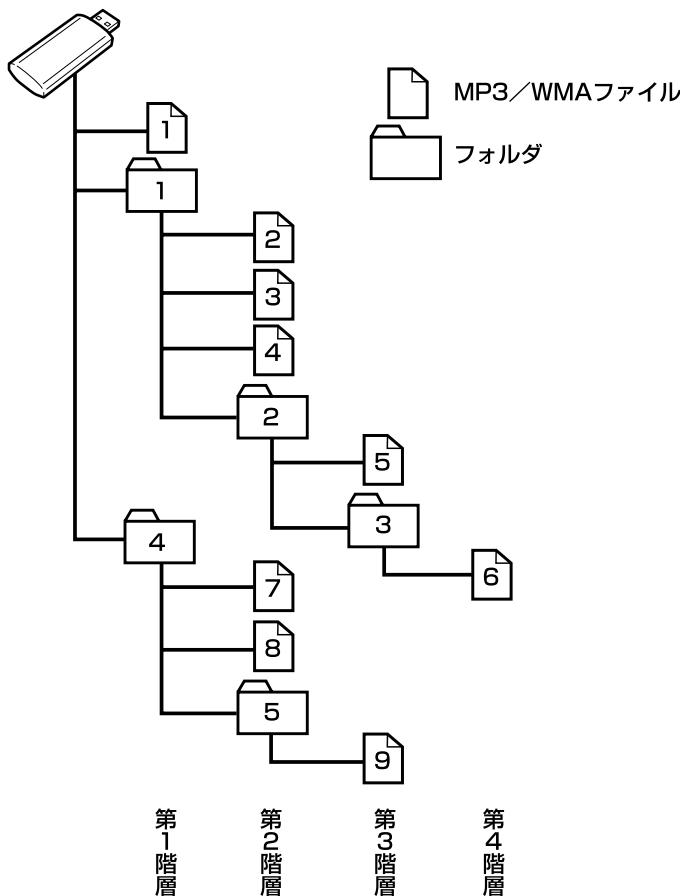
● フォルダリスト画面



● ファイルリスト画面



●MP3/WMA対応USBメモリーの構造例

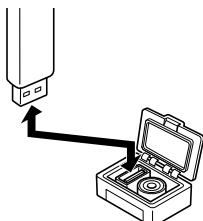


アドバイス

- フォルダに格納されずUSBメモリーに直接格納されているファイル①は、“ROOT FOLDER”という架空のファルダに格納されます。
- MP3/WMAファイルが直接格納されていないフォルダは、本機では表示されません。
- 同じUSBメモリー（同一セッション）に音楽CD（CDDA）データとMP3/WMAデータが混在する場合は、MP3/WMAデータは再生できません。
- 同じUSBメモリーにオーディオファイル（WAVEデータ）とMP3/WMAデータが混在する場合には、MP3/WMAデータのみ再生することができます。

1 USBメモリーを本機に接続するには

- (1) iPod対応USB/VTRアダプターの端子に、USBメモリーを接続します。



アドバイス

- USBメモリーで音楽再生している間は、USBメモリーを抜かないでください。USBメモリーが故障する場合があります。
- 本機とUSBメモリーを接続しても、自動でUSBメモリーモードに切り替わりません。
- USBメモリー未接続時は、オーディオモードスイッチの **USB** が反転し、USBメモリーモードに切り替えることができません。USBメモリーを本機に接続してからご使用ください。



注意

- 本機と接続してUSBメモリーを使用中に、USBメモリーのデータが消去した場合は、その補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- USBメモリーを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- iPod対応USB/VTRアダプターに500mA以上の機器を接続しないでください。ナビゲーション本体の過電流保護機能が作動する場合があります。過電流保護機能が作動した場合、ナビゲーション本体の電源を入れ直すと復帰します。
- グローブボックス内などでUSBメモリーを直接接続した場合、USBメモリーボディと車内部分が干渉し、USBメモリーが破損するおそれがあります。その場合は、同梱のUSBメモリ接続用ケーブルを使用してください。

2 USBメモリーを聞くには



- (1)  を押します。
● オーディオ操作画面（P.2-3参照）が表示されます。
- (2) **USB** にタッチします。
● 再生を開始します。
● USBメモリー操作画面が表示されます。
● **USB** が表示されていないときは、 にタッチしてページを切り替えます。



アドバイス

- 通常は①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧→⑨（「●MP3/WMA対応USBメモリーの構造例」を参考）の順に再生します。
- 再生中のファイルのモードを、“MP3”または“WMA”で表示します。
- 画面に表示させることができるフォルダ名、ファイル名の文字数は、最大12文字（半角のみのときは25文字）までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されない場合があります。

USBメモリーで音楽を聞くには

3 聞きたいフォルダを選ぶには

USBメモリーの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

●操作画面で選ぶには



- (1) USBメモリー操作画面（P.7-11参照）で
▲または▼にタッチします。

- 選んだフォルダに格納されている最初のファイルの再生を始めます。

●リスト画面で選ぶには



- (1) USBメモリー操作画面（P.7-11参照）でFOLDERの「LIST」にタッチします。

- (2) リストに表示されたフォルダ名にタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 行走中はリストのスクロール操作はできません。
- 選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

4 聞きたいファイルを選ぶには

USBメモリーの中から聞きたいファイルを選ぶことができます。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



(1) |◀◀▶▶|を押します。

- 右側を1回押すと、次のファイルを再生します。
- 左側を1回押すと、ファイルの先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前のファイルを再生します。

●リスト画面で選ぶには



(1) USBメモリー操作画面（P.7-11参照）でFILEのLISTにタッチします。



(2) リストに表示されたファイル名にタッチします。

- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- 走行中はリストのスクロール操作はできません。
- 選択したファイルの再生を開始します。

5 早送り・早戻しをするには



(1) |◀◀▶▶|をピッと音が鳴るまで押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

6 同じファイルをリピート再生するには



(1) USBメモリー操作画面（P.7-11参照）で [RPT] にタッチします。

- [RPT] の作動表示灯が点灯し、画面上部に“RPT”的文字が表示されます。
- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度 [RPT] にタッチします。

7 同じフォルダをリピート再生するには



(1) USBメモリー操作画面（P.7-11参照）で [RPT] をピッと音が鳴るまでタッチし続けます（フォルダリピート）。

- [RPT] の作動表示灯が点灯し、画面上部に“FLD.RPT”的文字が表示されます。
- 再生中のファイルと同じフォルダにあるファイルを繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度 [RPT] にタッチします。

8 再生中のフォルダの中からランダムに再生するには



- (1) USBメモリー操作画面 (P.7-11参照) で **RAND** にタッチします。
- **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面上部に “RAND” の文字が表示されます。
 - 再生中のフォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
 - 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

9 全フォルダの中からランダムに再生するには



- (1) USBメモリー操作画面 (P.7-11参照) で **RAND** をピッと音が鳴るまでタッチし続けます (フォルダランダム)。
- **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面上部に “FLD. RAND” の文字が表示されます。
 - USBメモリー内の全フォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
 - 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

10 再生中のフォルダの中からファイルを探すには



- (1) USBメモリー操作画面 (P.7-11参照) で **SCAN** にタッチします。
- **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面上部に “SCAN” の文字が表示されます。
 - 再生中のファイルの次のファイルから、フォルダ内の全ファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
 - 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
 - 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

11 全フォルダの中からフォルダを探すには



- (1) USBメモリー操作画面 (P.7-11参照) で **SCAN** をピッと音が鳴るまでタッチし続けます (フォルダスキャン)。
- **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面上部に “FLD. SCAN” の文字が表示されます。
 - 再生中のフォルダの次のフォルダから、各フォルダ内の先頭にあるファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
 - 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
 - 全フォルダの先頭にあるファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

●MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio Layer3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMAファイルの規格や記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格

MP3(MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3)

●対応サンプリング周波数

MPEG-1 Audio Layer3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG-2 Audio Layer3 : 16、22.05、24 (kHz)

●対応ビットレート

MPEG-1 Audio Layer3 : 32、40、48、56、64、80、96、112、128、
160、192、224、256、320 (kbps)

MPEG-2 Audio Layer3 : 8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、
128、144、160 (kbps)

再生可能なWMAファイルの規格について

●対応規格

WMA Ver. 7、8、9

●対応サンプリング周波数

32、44.1、48(kHz)

●対応ビットレート

Ver. 7、8 : CBR 5、6、8、10、12、16、20、22、32、40、48、64、80、
96、128、160、192 (kbps)

Ver. 9 : CBR 5、6、8、10、12、16、20、22、32、40、48、63、64、
80、96、127、128、160、191、192、256、320 (kbps)

※2ch再生のみ対応しています。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機では、ID3 V1 Ver. 1.0、1.1、ID3 V2 Ver. 2.2、2.3のID3タグに対応しています。(文字数はID3 Ver. 1.0、1.1に準拠します。)

※Riff SIFには対応しておりません。

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、オーナー名(アーティスト名)を保存することができます。

使用できるUSBメモリーのフォーマットについて

使用できるUSBメモリーのフォーマットは下記のとおりです。

●USBコミュニケーションフォーマット

USB1.1 (12Mbps)

●ファイルシステム

FAT 16、32

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

●最大ディレクトリ階層 : 8階層

●最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角12文字。半角のみのときは25文字。

●最大フォルダ数 : 255 (リート含む)

●最大ファイル数 : 999

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子 “.mp3” / “.wma” がついたものだけです。

MP3/WMAファイルには、“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけて保存してください。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが格納されているUSBメモリーを接続すると、最初にUSBメモリー内の全てのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。

USBメモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。



アドバイス

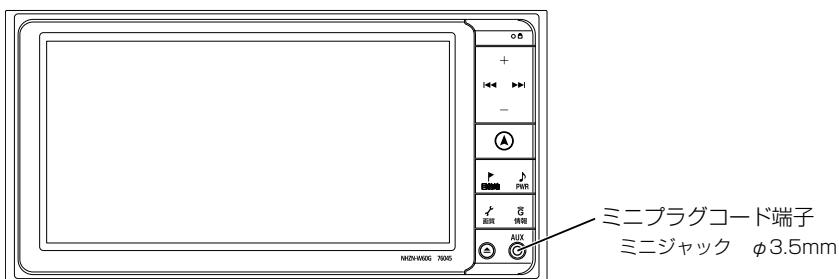
- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、64kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- USBメモリーにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、USBメモリーの認識に時間がかかる場合、再生できない場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

市販のポータブルオーディオを接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を聞くことができます。

ポータブルオーディオを接続する場合は、市販の「ミニプラグコード」をご使用ください。

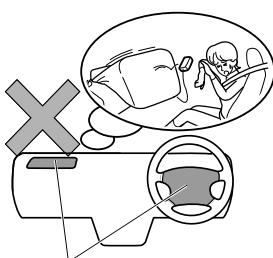
※本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえご使用ください。



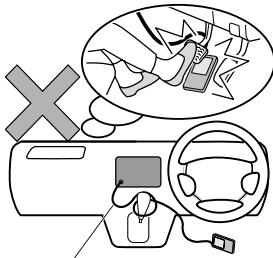
● ポータブルオーディオをお使いになる前に



警告



SRSエアバッグ展開部



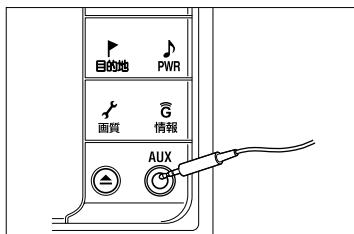
ミニプラグコード

- 接続したポータブルオーディオやミニプラグコードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
※ SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。

- ポータブルオーディオやミニプラグコードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。
運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

1 ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのモードがAUX以外になっている、または本機の電源がOFFになっていることを確認してください。



(1) ミニプラグコードを接続します（取りはずします）。



アドバイス

- 抵抗付きコードは使用できません。
- モニター開閉時、コードを挟み込まないように注意してください。
- 今後発売される機器に関しては、動作の保証はいたしません。



注意

- ディスプレイが開いている、または傾いた状態（P.1-16参照）では、ミニプラグコードの抜き差しはしないでください。
- ミニプラグコードに手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
- 運転中はポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。

2 ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

(1) 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。



(2) を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(3) にタッチします。

- AUX操作画面が表示されます。
- が表示されていないときは、 にタッチしてページを切り替えます。
- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。



3 ポータブルオーディオを終わる



(1) を押し続けるか、他のオーディオモードに切り替えます。

● もう一度 を押し続けるか、**AUX** にタッチすると再生が再開されます。



アドバイス

- AUXモード中にミニプラグコードを抜き差しすると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- AUXモード中にポータブルオーディオの電源を切り替えると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- 接続した機器の入力音量が大きい場合は、音が歪む場合があります。この場合は、接続した機器側で音量を調整してください。
- AUXモード中に音量を調整すると、AUXモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- 本機に接続したポータブルオーディオの音量を変更したときは、本機との接続を解除したあと、音量をもとに戻してください。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリーなどを使用してください。お車に搭載されているシガライタソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

後席ディスプレイを使うには

本機の後席ディスプレイ出力端子に別売の後席ディスプレイを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。また、後席ディスプレイに付属のリモコン操作により映像の切り替えやオーディオの操作が行えます。

詳しくは、後席ディスプレイの取扱書をご覧ください。

1 後席ディスプレイに表示される画面について

- 後席ディスプレイには、テレビ・DVD・ビデオCD・ビデオデッキのみ表示します。
- テレビ・DVD・ビデオCD・ビデオデッキ以外のオーディオモードをご使用になっている場合は、本機の映像は表示されません。
- オーディオOFFの場合は、本機の映像は表示されません。
- ナビゲーション画面、カメラ映像は表示されません。



アドバイス

後席ディスプレイでは、走行中／停車中に関わりなく映像が表示されるため、走行中でもテレビ・DVD・ビデオCD・ビデオデッキの映像をご覧になることができます。



注意

この製品を、トヨタ純正品以外の後席ディスプレイに接続されると、オリジナル映像とは異なった見え方で映像が表示されますので、このような接続はお控えください。

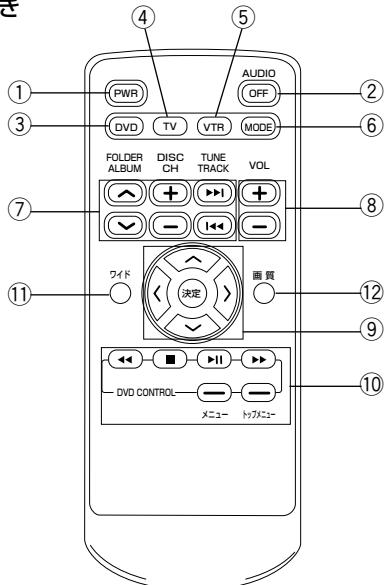
この製品と画面切り替え機能のない後席ディスプレイとを接続した場合の画面表示につきましては、一切の責任を負わないものとします。

2 後席ディスプレイの操作

●リモコン操作のしかた

後席ディスプレイ本体の受光部に向けて操作してください。

●リモコンのおもな働き



①後席PWRスイッチ	後席ディスプレイの電源をOFF/ONするときに押します。
②AUDIO OFFスイッチ	オーディオをOFFするときに押します。
③DVDスイッチ	CD、MP3/WMAディスク、ビデオCD、DVDを再生するときに押します。
④TVスイッチ	デジタルテレビを受信するときに押します。
⑤VTRスイッチ	ビデオなどの外部機器を接続している状態で、その映像を表示するときに押します。
⑥MODEスイッチ	オーディオモードを切り替えるときに押します。
⑦DISC/CHスイッチ、 TUNE/TRACKスイッチ、 FOLDER/ALBUMスイッチ	曲の選曲やラジオの放送局、デジタルテレビのチャンネルを変えるなどに押します。
⑧VOLUMEスイッチ	スピーカーから出力される音量を調整するときに押します。
⑨カーソル操作スイッチ	画質調整画面やDVDメニューのカーソル操作をするときに押します。
⑩DVD操作スイッチ	DVDを操作するときに押します。
⑪画面モードスイッチ	画面モードを切り替えるときに押します。
⑫画質スイッチ	後席ディスプレイの画質を調整するときに押します。

⑪⑫について、詳しくは後席ディスプレイの取扱書をご覧ください。

3 各オーディオの操作

●共通操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(DVD)	DVDスイッチ	挿入されているDISCモード(CD、MP3/WMA、ビデオCD、DVD)に切り替えります。	「テレビ・オーディオの切り替え方」 …P.2-3
(VTR)	VTRスイッチ	VTRモードに切り替えります。	「テレビ・オーディオの切り替え方」 …P.2-3
(TV)	TVスイッチ	デジタルテレビに切り替えります。	「テレビ・オーディオの切り替え方」 …P.2-3
(MODE)	MODEスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・オーディオモードが切り替えられます。 FM→CD (MP3/WMA、ビデオCD)またはDVD→サウンドライブラリ→デジタルテレビ→Bluetoothオーディオ→AUX→SD AUDIO→iPod*またはUSB×モリー*→VTR (VTR1/VTR2)*→AM→FMに戻る * 各機器接続時のみ切り替え可能 ・スイッチを押し続けると、オーディオがOFFになります。 	「テレビ・オーディオの切り替え方」 …P.2-3
(AUDIO OFF)	AUDIO OFFスイッチ	オーディオがONのとき、スイッチを押すとオーディオがOFFになります。オーディオがOFFのとき、スイッチを押してもONにできません。	「電源の入れ方」 …P.2-1
VOLUME (+) · (-)	音量スイッチ	押すごとに1ステップずつ音量が変わります。	「音量調整のしかた」 …P.2-2

●ラジオの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
DISC/CH (+) · (-)	選局スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・プリセットスイッチに記憶させた放送局を順に呼び出します。 	「選局するには」 …P.3-42
TUNE/TRACK (<<) · (>>)	選局スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・押すごとに手動で周波数を選局できます。 ・スイッチを押し続けると、自動選局を開始します。 	「選局するには」 …P.3-42

●デジタルテレビの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
DISC/CH (+) · (-)	選局スイッチ	スイッチを押すごとにサービスを切り替えます。	「選局するには」 …P.3-10
TUNE/TRACK (<<) · (>>)	選局スイッチ	スイッチを押すごとにサービスを切り替えます。	

●CD・MP3/WMAの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE/TRACK (<<) · (>>)	早送り/早戻し/ 選曲スイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを押し続けると、早送り・早戻しを開始します。	「曲を選ぶには」 …P.4-41 「聴きたいファイルを選ぶには」 …P.4-46
FOLDER/ ALBUM (^) · (^V)	FOLDER切り 替えスイッチ	次または前のフォルダに切り替えて再生します。 ※MP3/WMAのみ有効	「聴きたいフォルダを選ぶには」 MP3/WMA …P.4-45
DVD CONTROL (<<) · (>>)	早送り/早戻し スイッチ	早送り・早戻しを開始します。	「早送り・早戻しをするには」 CD…P.4-42 MP3/WMA …P.4-47

●サウンドライブラリの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE/TRACK (I<<) · (>>I)	早送り/早戻し /選曲スイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを押し続けると、早送り・早戻しを開始します。	「聞きたい曲（トラック）を選ぶには」 …P.5-23
FOLDER/ ALBUM (^) · (^V)	アルバム切り 替えスイッチ	次または前のアルバムに切り替えて再生します。	「再生しているアルバム・マイベストを変更するには」 …P.5-24
DVD CONTROL <td>早送り/早戻し スイッチ</td> <td>早送り・早戻しを開始します。</td> <td>「早送り・早戻しをするには」 …P.5-24</td>	早送り/早戻し スイッチ	早送り・早戻しを開始します。	「早送り・早戻しをするには」 …P.5-24

●SD AUDIOの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE/TRACK (I<<) · (>>I)	早送り/早戻し /選曲スイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを押し続けると、早送り・早戻しを開始します。	「曲を選ぶには」 …P.6-3
FOLDER/ ALBUM (^) · (^V)	プレイリスト切 り替えスイッチ	次のプレイリスト・前のプレイリストに切り替えて再生します。	「再生しているプレイリストを変更するには」 …P.6-5
DVD CONTROL <td>早送り/早戻し スイッチ</td> <td>早送り・早戻しを開始します。</td> <td>「早送り・早戻しをするには」 …P.6-3</td>	早送り/早戻し スイッチ	早送り・早戻しを開始します。	「早送り・早戻しをするには」 …P.6-3

●ビデオCDの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE/TRACK (I<<) · (>>)	早送り/早戻し /選曲スイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを押し続けると、早送り・早戻しを開始します。	「トラックを選択するには」 …P.4-38
DVD CONTROL <td>早送り/早戻し スイッチ</td> <td>早送り・早戻しを開始します。</td> <td>「早送り・早戻しをするには」 …P.4-36</td>	早送り/早戻し スイッチ	早送り・早戻しを開始します。	「早送り・早戻しをするには」 …P.4-36
(■)	停止スイッチ	映像を停止します。	「停止するには」 …P.4-36
(>II)	ポーズ/再生 スイッチ	映像を一時停止・再生します。	「一時停止するには」 …P.4-37

●DVDの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(UP) (DOWN) (LEFT) (RIGHT) (決定)	カーソル操作 スイッチ	ディスクメニュー内の項目の選択や決定に使用します。	「ディスクメニューを操作するには」 …P.4-15
TUNE/TRACK (I<<) · (>>)	早送り/早戻し /チャプター切り替えスイッチ	・次のチャプター・前のチャプターに切り替えます。 ・スイッチを押し続けると、早送り・早戻しを開始します。	「見たい映像を探すには」 …P.4-16
DVD CONTROL <td>早送り/早戻し スイッチ</td> <td>早送り・早戻しを開始します。</td> <td>「早送り・早戻しをするには」 …P.4-13</td>	早送り/早戻し スイッチ	早送り・早戻しを開始します。	「早送り・早戻しをするには」 …P.4-13
(■)	停止スイッチ	映像を停止します。	「停止するには」 …P.4-13
(>II)	ポーズ/再生 スイッチ	映像を一時停止・再生します。	「一時停止するには」 …P.4-14
(メニュー) · (トップメニュー)	DVDメニュー スイッチ	ディスクメニューを表示します。	ディスクメニューを操作するには …P.4-15

●iPodの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE/TRACK (<<) ・ (>>)	早送り/早戻し/ 選曲スイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを押し続けると、早送り・早戻しを開始します。	「曲を頭出しするには」 …P.7-3
FOLDER/ ALBUM (^) ・ (^V)	選曲スイッチ	選択したモードの次または前の曲を再生します。(ダイレクトモード選択時のみ有効)	「ダイレクトモードで選曲するには」 …P.7-7
DVD CONTROL (<<) ・ (>>)	早送り/早戻し/ スイッチ	早送り・早戻しを開始します。	「早送り・早戻しをするには」 …P.7-4

●USBメモリーの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE/TRACK (<<) ・ (>>)	早送り/早戻し/ 選曲スイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを押し続けると、早送り・早戻しを開始します。	「聞きたいファイルを選ぶには」 …P.7-16
FOLDER/ ALBUM (^) ・ (^V)	FOLDER切り 替えスイッチ	次または前のフォルダに切り替えて再生します。	「聞きたいフォルダを選ぶには」 …P.7-15
DVD CONTROL (<<) ・ (>>)	早送り/早戻し/ スイッチ	早送り・早戻しを開始します。	「早送り・早戻しをするには」 …P.7-17

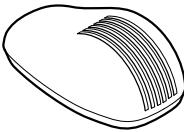
●Bluetoothオーディオの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
TUNE/TRACK (<<) ・ (>>)	早送り/早戻し/ 選曲スイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを押し続けると、早送り・早戻しを開始します。	「G-BOOK・ Bluetooth取扱書 詳細版」を参照してく ださい
DVD CONTROL (<<) ・ (>>)	早送り/早戻し/ スイッチ	早送り・早戻しを開始します。	

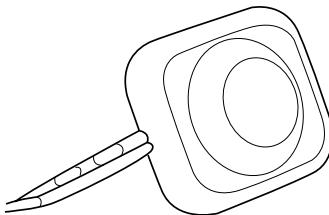
音声操作システムについて

音声操作は音声認識用マイクと音声入力ボタンを使い、音声でナビゲーションの操作を行うことができる機能です。

1 音声操作システムの構成



音声認識用マイク
(音声入力を認識します)



音声入力ボタン
(音声操作への切り替えや解除に使用します)

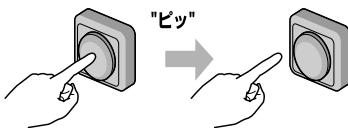
2 音声を正しく認識するために

音声操作システムは、音声認識コマンドを正しく発声しないと認識されないことがあります。使用上は、以下の点に留意してください。

- 音声入力をを行う際に、発声以外の音があると認識されにくくなったり、誤って認識されることがあるため、自動車の窓はできるかぎり閉めてから行ってください。窓を開けていることにより風切り音や外からの騒音など、周囲の音により認識しない場合があります。
- 方言や言い方の違いには対応していません。音声入力コマンドの指定された読みで発音してください。
- 地名や施設名称などの通称名や略称には対応していません。
必ず検索リスト（タッチスイッチ）に表示される施設や住所の名称または音声入力コマンド一覧表を参考に発声してください。

音声操作の使いかた

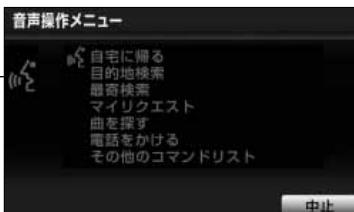
1 音声入力を行うには



(1) 音声入力ボタンを短く押します。

- 認識できるコマンドが表示され、「ピッと鳴ったらお話しください」というナビゲーションの音声案内のあとに「ピッ」と鳴ります。
- 音声認識中を示すマーク  が表示され、音声認識モードになります。

音声認識中マーク



(2) 「ピッ」という音が鳴ったあと、およそ6秒以内にマイクに向かって音声入力コマンドを発声します。

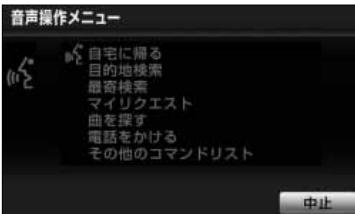
- 入力された音声が正しく認識されるとコマンドが実行され、案内音声が聞こえます。



アドバイス

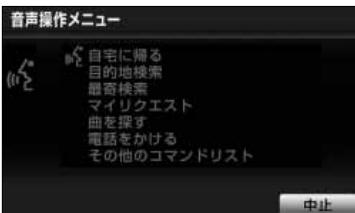
- 音声入力コマンドは、状態によって操作できるものとできないものがあります。音声入力コマンドの詳細については、P.8-7～P.8-9を参照してください。
- 音声入力時、マイクから近すぎたり遠すぎたりすると正しく認識されないことがあります。
- コマンドは、力まず滑らかに連続して発声してください。
- 発声時間が長過ぎると、正しく認識されないことがあります。

2 音声入力を中止するには

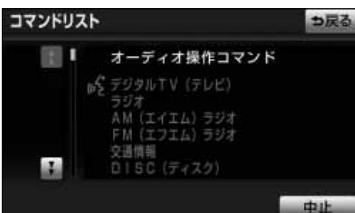


- (1) 音声認識中に音声入力ボタンを1秒以上長く押します。
- 音声認識中マークが消去され、音声認識モードが終了します。
 - 音声認識中に**中止**にタッチするか「中止」を音声入力しても中止できます。

3 コマンドリストを表示するには



- (1) 音声入力ボタンを短く押します。
- (2) 「その他のコマンドリスト」と音声入力します。



- 使用可能なコマンドリストが表示され「コマンドリストを表示します、コマンドを直接お話ください」というナビゲーションの音声案内のあとに「ピッ」と鳴ります。
- **↑**・**↓**にタッチすると、1ページずつリストが動いて、操作したいコマンドを確認することができます。

- (3) 「ピッ」という音が鳴ったあと、およそ6秒以内に、コマンドリストの中から操作したいコマンドをマイクに向かって音声入力します。



アドバイス

↑・**↓**にタッチしてコマンドを確認した場合は、再度音声入力ボタンを短く押してから音声入力をに行ってください。

4 知っておいてください

●こんな音声が出たときは

音声ガイド	原因	処置方法
認識できませんでした	ピッという音がしてから話し始めるまでの時間が長すぎるとき	ピッという音が聞こえてから6秒以内に話し始めてください
	ピッという音が鳴る前に話し始めているとき	ピッという音を聞いてから話し始めてください
	音声が大きすぎるとき	もう少し小さな声でお話ください
	音声が小さすぎるとき	もう少し大きな声でお話ください
	音声の発声時間が長いとき	もう少し短い時間でお話ください
	音声が正しく認識できないとき	正しい発音ではっきりお話ください

●故障とお考えになる前に

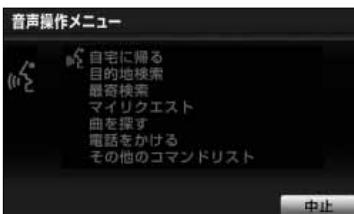
症状	確認項目	処置方法
発声内容を認識しない	音声コマンドの読み方は正しいですか？	コマンド一覧を参考にして正しく发声してください
認識間違いが多い	車外の雑音を音声として認識していませんか？	窓を閉めてお使いください
	車内の音を音声として認識していませんか？	車内の音を止めてお使いください
	マイクに口を近付けていませんか？	マイクに口を近付けずに、助手席の人と会話をする程度のはやさで滑らかにお話ください
	早口で話していませんか？	
音声認識に時間がかかる	認識する言葉の候補数に応じて認識時間が長くかかります	反応の時間が遅くても故障ではありません

音声操作システムの操作例

ここではオーディオの音声操作システムの操作例を紹介します。音声入力コマンドの詳細については、P.8-7～P.8-9を参照してください。

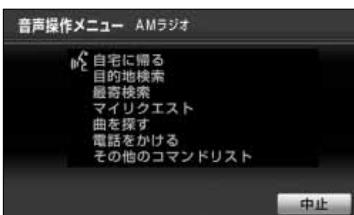
■ オーディオを操作する

● オーディオモードを切り替える



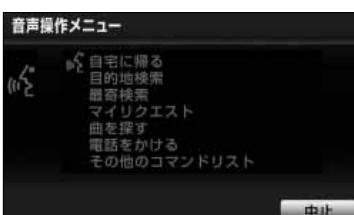
(1) 切り替えたいオーディオモードを音声入力します。

- 一例として「AMラジオ」を音声入力します。



- AMラジオ放送を受信します。

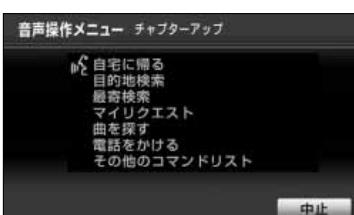
● オーディオを操作する



(1) DVDを再生しているときに、「チャプターアップ」または「チャプターダウン」と音声入力します。

- 「チャプターアップ」で次のチャプターに切り替えます。

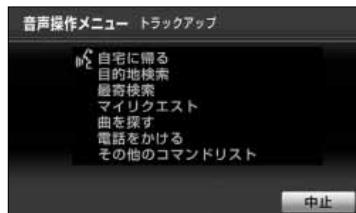
- 「チャプターダウン」で前のチャプターまたは再生中のチャプターの先頭に切り替えます。



●サウンドライブラリを操作する

サウンドライブラリを再生しているときは、以下の音声操作をすることができます。

■再生しているトラックを変更する



- 「ツギノキヨク」と音声入力します。
- 次のトラックに再生を切り替えます。
- 「マエノキヨク」と音声入力すると前のトラックに再生を切り替えます。

■楽曲を検索する



- サウンドライブラリに登録されているアーティスト読みとトラック読みを音声入力します。
- 検索されたトラックを再生します。詳細についてはP.5-40を参照してください。

音声入力コマンド一覧

ここではオーディオ機能を音声操作するときの音声入力コマンド一覧を紹介します。

ナビゲーションを操作する音声入力コマンドについては「ナビゲーション取扱書 詳細版」の「音声入力コマンド一覧」をご覧ください。

また、G-BOOK・Bluetoothを操作する音声入力コマンドについては「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」の「音声入力コマンド一覧」をご覧ください。

<音声入力コマンド一覧の見かた>

■読みについて

- ・「！」の記号は「！」の前後のどちらかのコマンドを発声すると認識できます。
例)：エーエム！エーエムラジオ…「エーエム」または「エーエムラジオ」と発声します。
- ・「[〇〇〇]」の記号は「[〇〇〇]」内のコマンドを発声しても、発声しなくても認識できます。

●音声入力コマンド一覧

音声操作するときの音声入力コマンド一覧を紹介します。

■ オーディオ機能を音声操作する

●オーディオの画面を切り替えるコマンド

機能	音声入力コマンド
電源を入れる	オーディオオン※1
電源を切る	オーディオオフ※2
AMにする	エーエム エーエムラジオ
FMにする	エフエム エフエムラジオ
SD AUDIOにする	エスディー エスティー エスディーオーディオ エステーオーディオ
サウンドライブラリにする	サウンドライブラリ ハードディスク [オーディオ] エッヂディーディー [オーディオ]
CD、ビデオCD、MP3/WMAにする	シーディー シーデー ディスク
DVDにする	ディーブイディー テーフイティー ディスク
ビデオにする	ビデオ
ラジオにする	ラジオ
デジタルテレビにする	デジタルテレビ テレビ
交通情報をする	コービージョーホー [オン]
交通情報をOFFする	コービージョーホー [オフ]
AUXにする	エユーエックス ポータブル ミニジャック
iPodにする	アイポッド
USBメモリーにする	ユースピー ユースピーオーディオ

※1 電源が切れている状態で「オーディオ」と音声入力しても操作できます。

※2 電源が入っている状態で「オーディオ」と音声入力しても操作できます。

●AM/FM/デジタルテレビを操作するコマンド

機能	音声入力コマンド
周波数の高い方へ選局する	シークアップ
周波数の低い方へ選局する	シークダウン シークダウ シークダン
放送局名を入力して選局する	【放送局名】

※放送局名は、オーディオ操作画面のタッチスイッチに表示される名称を音声入力してください。

(例) 「NHK」ではなく「NHK-FM」(FMの場合) や「NHK総合」(テレビの場合) と音声入力します。

※デジタルテレビで音声入力する場合は、「シークアップ」・「シークダウン | シークダウ | シークダン」と音声入力しても、操作できません。

●CDプレーヤー/MP3/WMA/SD AUDIOを操作するコマンド

機能	音声入力コマンド
次の曲を選曲する	トラックアップ ツギノキョク
前の曲を選曲する	マエノキョク ヒツヅマエノキョク イッキョクマエ
現在の曲を選曲する（頭出し）	トラックダウン トラックダウ トラックダン アタマダシ

●DVDプレーヤーを操作するコマンド

機能	音声入力コマンド
次のチャプターに切り替える	チャプターアップ ツギノチャプター
現在のチャプターに切り替える（頭出し）	チャプターダウン アタマダシ
前のチャプターに切り替える	マエノチャプター ヒツヅマエノチャプター

●サウンドライブラリを操作するコマンド

機能	音声入力コマンド
次の曲を選曲する	トラックアップ ツギノキョク
前の曲を選曲する	マエノキョク ヒツヅマエノキョク イッキョクマエ
再生中の曲の頭出しをする	トラックダウン トラックダウ トラックダン アタマダシ
楽曲を検索する	キヨクラサガス

●iPodを操作するコマンド

機能	音声入力コマンド
次の曲を選曲する	トラックアップ ツギノキョク
前の曲を選曲する	マエノキョク イッキョクマエ
再生中の曲の頭出しをする	トラックダウン アタマダシ

●USBメモリーを操作するコマンド

機能	音声入力コマンド
次の曲を選曲する	トラックアップ ツギノキョク アトノキョク ヒトゾアトノキョク イッキョクアト
前の曲を選曲する	マエノキョク ヒツヅマエノキョク イッキョクマエ
再生中の曲の頭出しをする	トラックダウン アタマダシ

メモ

メ
モ

8

音声操作

ステアリングスイッチ

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリング部スイッチでテレビ・オーディオなどの主要操作をすることができます。

●各部の機能名称と概要

1 共通操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(+) · (-)	音量スイッチ	押すごとに1ステップずつ音量が変わります。また、押し続けると音量が連続して変わります。	「音量調整のしかた」 …P.2-2
(MODE)	モード切り替えスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・電源がオフのとき、スイッチを押すと電源がオンになります。 ・モードが切り替わります。 FM→CD (MP3/WMA、ビデオCD) またはDVD→サウンドライブラリ→デジタルテレビ→Bluetoothオーディオ → AUX→ SD AUDIO→ iPod*またはUSBメモリー*→VTR (VTR1/VTR2) *→AM→FMに戻る * 各機器接続時のみ切り替え可能 ・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、電源がオフになります。 	「テレビ・オーディオの切り替え方」 …P.2-3

2 ラジオの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(△) · (▽)	選曲スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・プリセットスイッチに記憶させた放送局を順に呼び出します。 ・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、自動選局を開始します。 	「選局するには」 ラジオ…P.3-42

3 CD・ビデオCDの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(△) · (▽)	選曲スイッチ	次曲・前曲に切り替えます。	「曲を選ぶには」 CD…P.4-41 「トラックを選択するには」 ビデオCD…P.4-38

4 MP3/WMAの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(A) · (V)	選曲／ フォルダ 切り替えスイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のフォルダ、前のフォルダに切り替えます。	「聞きたいファイルを選ぶには」 …P.4-46 「聞きたいフォルダを選ぶには」 …P.4-45

5 DVDの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(A) · (V)	チャプター 切り替えスイッチ	次のチャプター・前のチャプターに切り替えます。	「見たい映像を探すには」 …P.4-16

6 サウンドライブラリの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(A) · (V)	選曲／ アルバム 切り替えスイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のアルバム、前のアルバムに切り替えます。	「聞きたい曲（トラック）を選ぶには」 …P.5-23 「再生しているアルバム・マイベストを変更するには」 …P.5-24

7 デジタルテレビの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(A) · (V)	選局スイッチ	スイッチを押すごとにサービスを切り替えます。	「選局するには」 …P.3-10

ステアリングスイッチ

8 Bluetoothオーディオの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(^) · (v)	選曲スイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のアルバム、前のアルバムに切り替えます。	「G - B O O K · Bluetooth取扱書 詳細版」を参照

9 SD AUDIOの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(^) · (v)	選曲/ プレイリスト切 り替えスイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のプレイリスト、前のプレイリストに切り替えます。	「曲を選ぶには」 ···P.6-3

10 iPodの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(^) · (v)	選曲スイッチ	選択したモードの次または前の曲を再生します。(ダイレクトモード選択時のみ有効)	「ダイレクトモードで選曲するには」 ···P.7-7

11 USBメモリーの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(^) · (v)	選曲／ フォルダ 切り替えスイッチ	・次曲・前曲に切り替えます。 ・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のフォルダ、前のフォルダに切り替えます。	「聞きたいファイルを 選ぶには」 ···P.7-16 「聞きたいフォルダを 選ぶには」 ···P.7-15

12 音声操作システムの使い方

スイッチ	名称	機能	操作説明
(音声 トリガ)	音声入力 スイッチ	音声入力スイッチを押すと、“音声認識状態”に切り替わります。	「音声操作システム について」 ···P.8-1

メモ

メ
モ

9
ステアリング
スイッチ

Gracenote音楽認識サービスのご利用について

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア (以下「Gracenoteソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenoteデータ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenoteサーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenotelは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenotelは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenotelは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenotelは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenotelは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenotelは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenotelは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。

Gracenotelは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

こんなメッセージが表示されたとき

機能分類	メッセージ内容	メッセージが表示される場合	処置方法
共通	ディスクをお確かめ下さい	音楽CD、MP3/WMAディスクまたはDVD、ビデオCDが裏返しになっている場合	ディスクを正しく入れ直してください。
		ディスクが汚れているまたは傷がある場合	汚れているときはクリーニングしてください。 傷があるときは傷のないものと交換してください。
	SDカードが挿入されていません	SDメモリーカード差し込み口にSDメモリーカードが入っていない場合	SDメモリーカードを入れてください。
デジタルテレビ	受信できません	デジタル放送の受信レベルが低い、電波を受信できない、放送休止などの場合	デジタル放送の電波を正常に受信できる場所に移動してください。
		異なる放送局のサービスエリアに移動した場合もしくは、放送局の送信周波数に変更があった場合	チャンネル設定（スキャン）してください。
	アンテナの接続に問題があります 接続をもう一度ご確認下さい	アンテナ接続に問題がある場合	お買い上げの販売店へお問い合わせください。
	B-CASカードが正常に動作しませんでした 販売店へお問い合わせ下さい	B-CASカードが挿入されていない、B-CASカード以外が挿入されている場合	お買い上げの販売店へお問い合わせください。
		B-CASカードが故障している場合	お買い上げの販売店へお問い合わせください。
DVD	リージョンコードエラー	再生しているDVDソフトのリージョンコードが「2」、「ALL」以外の場合	対応しているDVDを入れてください。(P.4-4参照)
	入力番号が正しくありません	DVDに対応していない言語コードを入力したまたは暗証番号が正しく入力されなかった場合	正しい言語コード (P.4-31参照) または暗証番号を入力してください。
	異常検知でDVD停止中です ※	何らかの原因でDVDプレーヤーが動作しない場合	DVDプレーヤーからディスクを取り出してください。
MP3/WMA	再生できるデータがありません	対応していないフォーマットのMP3/WMAファイルまたはデータ破損などで再生が不可能なMP3/WMAファイルを使用している場合	再生可能なフォーマット (P.4-50参照) のMP3/WMAファイルを使用してください。

※操作をしてもディスクを取り出せない場合には、販売店にご相談ください。

こんなメッセージが表示されたとき

知っておいてください

こんなメッセージが表示されたとき

10
知っておいて
ください

機能分類	メッセージ内容	メッセージが表示される場合	処置方法
サウンド ライブラリ	再生できるデータがありません	サウンドライブラリに音楽データがない場合	ハードディスクに音楽を録音 (P.5-14参照) してください。
	データベース処理中のためしばらくしてから操作してください	データベース更新の処理中、中断または終了直後にサウンドライブラリを再生しようとしたとき	本機のデータベース更新処理が終了するまでそのままでお待ちください。
	SDカードにアクセスできません SDカードをご確認下さい	PCツールまたは音楽情報をSDメモリーカードへ出力するときに、SDメモリーカードの誤消去防止用レバーがLOCK状態になっていた場合	SDメモリーカードの誤消去防止用レバーを記録可の位置にしてください。
	SDカードの空き容量が不足しています	PCツールまたは音楽情報をSDメモリーカードへ出力するときに、SDメモリーカードの空き容量が不足していた場合	容量に余裕のあるSDメモリーカードをお使いください。
	更新するデータがありません	すでに更新済みのデータベース情報にアップデートしようとした場合	最新のデータベース情報をダウンロードしてお使いください。(P.5-4参照)
	再生を停止しました HDDをご利用できません	再生中、編集中にハードディスク内のデータの読み込み、書き込みができなかったとき	オーディオをOFFにしてから、再度サウンドライブラリを起動してください (P.5-19参照)。 解消されないときは、エンジンスイッチをOFF→ACCまたはONしてください。
	録音できませんでした	録音中にハードディスク内データの読み込み、書き込みができなかったとき	・録音をやり直すか、ディスクを入れ直してから再度録音を開始してください (P.5-14参照)。 ・エンジンスイッチをOFF→ACCまたはONにしてください。 それでも解消されないときは、販売店にご相談ください。
	これ以上録音できません 削除してからお使い下さい	録音（登録）可能な最大数（アルバム1000、トラック数2500）に達したとき	サウンドライブラリ編集メニュー画面からアルバムまたはトラックを消去してから録音してください (P.5-38参照)。
	これ以上登録できません 既存のマイベストを削除して下さい	マイベストの新規作成、トラックの追加で最大数（マイベスト数1000、トラック数99）を超過したとき	サウンドライブラリ編集メニュー画面からマイベストまたはトラックを消去してからお使いください (P.5-38参照)。
	ハードディスクの容量がありません 録音を停止します	録音中にハードディスクの容量が無くなったとき	サウンドライブラリ編集メニュー画面からデータを消去してからお使いください (P.5-38参照)。
SD AUDIO	異常検知でSDオーディオ停止中です	何らかの原因でSDメモリーカードが読み込めない場合	いったんSDメモリーカードを抜いて、再度差し込んでください。 解消されないときは、推奨フォーマットソフトウェアでフォーマットしてください (P.1-14参照)。 なお、フォーマットするとデータがすべて消去されるため、事前にデータをバックアップしてから行ってください。
	再生できるデータがありません	サポートしている音楽データが1件も存在しない、またはSDメモリーカード内のデータに異常がある場合	サポートしているデータをご利用ください。(P.6-1参照) また、データを誤って消去していないか確認してください。
	このSDカードには対応していません	●規格外フォーマット済みのSDメモリーカードを使用している場合 ●規格外のメディアを挿入している場合（マルチメディアカードなど）	SDメモリーカードが規格外のものでないかを確認してください (P.1-14参照)。

知っておいてください

機能分類	メッセージ内容	メッセージが表示される場合	処置方法
iPod	iPodとの通信に失敗しました	本機とiPodとの通信が正常に行われなかったとき	いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。
	iPodのファームウェアバージョンをご確認ください	iPodのファームウェアが古いため、本機がiPodを正常に認識しなかったとき	iPodのファームウェアのバージョンを確認して、ファームウェアを更新してお使いください。(P.7-9参照)
	再生できるデータがありません	iPodに音楽データがない場合	iPod内のデータを確認してください。
	認証に失敗しました	iPodの認証に失敗したとき	いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。
	異常が発生しました。再生を行なうためにはiPodの再接続を行って下さい	何らかの理由によりiPodとの通信異常が発生した場合	いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。
	異常検知により、iPod停止中です	PCMのデコード処理に失敗したとき	いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。
USBメモリー	USBメモリとの通信に失敗しました	本機とUSBメモリーとの通信が正常に行われなかったとき	いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。
	再生できるデータがありません	USBメモリーに音楽データがない場合	USBメモリー内のデータを確認してください。
	認証に失敗しました	USBメモリーの認証に失敗したとき	いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。
	異常が発生しました。再生を行なうためにはUSBメモリの再接続を行って下さい	何らかの理由によりUSBメモリーとの通信異常が発生した場合	いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。
	異常検知により、USBオーディオ停止中です	PCMのデコード処理に失敗したとき	いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。

こんなメッセージが表示されたとき

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなった時は、下表にしたがって確認していただき、それでも作動しない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

万一異常（ヒューズ溶断など）が起こりましたら、必ずお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。ご自身でヒューズの取りかえや修理をされますと故障範囲を大きくするおそれがありますので特にご注意ください。

症 状	確 認 項 目
画面が次の何れかの状態になっている場合 ●真っ暗で全く光らない ●光っているが、画面が表示されない ●画像が乱れる ●画像の色がおかしい ●ライトを点灯しても夜画面にならない	画面消に設定されていませんか？ ⇒  などを押してください。 画質の設定は適切ですか？ ⇒  を押して、設定を確認してください (P.1-17参照)。 解消されないときは、エンジンスイッチをOFF→ACCまたはONにしてください。 それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
デジタルテレビの画面が表示されない場合	車の電源のスイッチは入っていますか？ ⇒エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。 ヒューズは切れていませんか？ ⇒ヒューズの位置は、車の取扱書を参照してください。 B-CASカードは正しく挿入されていますか？ ⇒B-CASカードを正しく挿入してください。 車は完全に停止していますか？ ⇒車を完全に停止させてください。
タッチスイッチを操作しても、画面が変わらない場合	しばらくお待ちください。 解消されないときは、エンジンスイッチをOFF→ACCまたはONにしてください。 それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
画面が見にくい場合	画面の明るさ、コントラスト調整は適正ですか？ ⇒P.1-18を参照して明るさ、コントラストを調整してください。 ディスプレイの角度調整は適正ですか？ ⇒P.1-16を参照して画面の向きを見やすい位置にしてください。
音声は出るが、映像は出ない（停車中）場合	サイドブレーキを引いていますか？ ⇒サイドブレーキを引いてください。
音飛びをしてしまう場合	結露していませんか？ ⇒換気してからご使用ください。 ディスクがひどく汚れていませんか？ ⇒ディスクをクリーニングして入れてください。

症 状	確 認 項 目
SDメモリーカードに書き込みができない場合	SDメモリーカードは差し込まれていますか? ⇒SDスロットにSDメモリーカードを差し込んでください。 SDメモリーカードの誤消去防止用レバーがLOCKになっていますか? ⇒SDメモリーカードの誤消去防止用レバーを、記録可の位置にしてください。 SDメモリーカードの空き容量が不足していませんか? ⇒SDメモリーカード内の不要なデータを消してください。
ディスクを差し込めない場合	車の電源スイッチは入っていますか? ⇒エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。
ディスクを取り出せない場合	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
SDメモリーカードがSDスロットに差し込めない場合	SDメモリーカードの差し込み方向は正しいですか? ⇒SDメモリーカードの差し込み方向を確認して正しい方向で差し込んでください。 SDスロット内に異物が混入していませんか? ⇒SDスロット内に異物が混入していないか確認してください。
SDメモリーカードがSDスロットから取り出せない場合	SDメモリーカードを押さずに取り出そうとしていませんか? ⇒SDメモリーカードを押して取り出してください。
ハードディスクに書き込みができない場合	ハードディスク空き容量が不足していませんか? ⇒ハードディスク内の不要なデータを消してください。 解消されないとときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
片側のスピーカーしか音が出ない場合	音量の調節は正しいですか? ⇒左右の音量調節をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない場合	調整した音質が放送、ディスクに含まれていますか? ⇒放送、ディスクを変更して確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある場合	液晶特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや異常点灯するものが生じことがあります。 故障ではありませんので安心してお使いください。
エンジンスイッチをONにしたあと、しばらく画面にムラがある、または画面が暗い場合	寒冷時、液晶のバックライトの特性上、光ムラが発生することもあります。エンジンをかけて温度が上がるまでしばらくお待ちください。
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない場合	ポータブルオーディオの電源は入っていますか? ⇒ポータブルオーディオの電源を入れてください。 ポータブルオーディオは再生されていますか? ⇒ポータブルオーディオを再生してください。 抵抗付きコードを使用していませんか? ⇒抵抗無しコードを使用してください。

故障とお考えになる前に

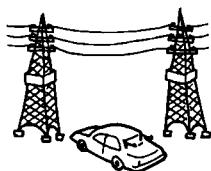
知っておいてください

地上デジタル放送の電波について
つぎのような場所では、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。

ビルとビルの間



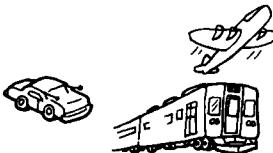
送電線の付近



山や木立のかげ



上空を飛行機が通過
電車が近くを通過



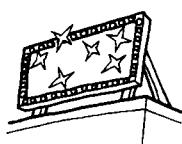
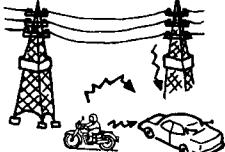
山かけ、放送局から遠いところ



トンネル内



自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近く



ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近く

車内の無線機を使用している場合



アンテナのお手入れについて

- フィルムアンテナ及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

用語説明

●DVDビデオ

動画の記憶されているDVDビデオは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつです。 「MPEG2」（エムペグ2）が採用され、映像データが平均約1／40に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCMのほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

●DVDビデオレコーディングフォーマット (VR)

DVDビデオフォーマットのひとつで、DVD-R/RWに録画した地上デジタルテレビ放送などをビデオ編集や映像・音声の追記などができます。本機ではDVD-VRの映像を再生することができます。

●マルチアングル

DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラ位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

●マルチランゲージ（多言語）

DVDビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

●ビデオCD

音声と動画データが共に保存されたCDです。

動画フォーマットにはMPEG1（エムペグ1）を採用しています。

●MPEG1

Moving Picture Experts Group Phase1の略で、映像・音声圧縮技術に関するフォーマットです。画像の中の物体の動きを予測し、動いた差分のみを記録することにより圧縮しています。

再生品質はVTR再生並みで、Video CDなどに採用されています。

●PBC

Play Back Control の略で、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい部分を呼び出すことができるビデオCDの機能です。

(PBCはビデオCD Ver.2.0以降で対応しています)

●MP3

MP3はMPEG Audio Layer IIIの略で、MPEG Audio Layer IIIは音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを1／10のサイズにすることができます。

●ID3タグ

曲の関連する情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名、発売年などがあります。この内容はID3タグ編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。

●エンコーダ

WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。

●セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、リードアウトの固まりを“セッション”といいます。1枚のCD-R／RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R／RWに複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」といいます。

●マルチセッション

マルチセッションとは、データの追加ができる記録方式で、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方式です。本機では、同じディスクに複数のセッションが書き込まれている場合、すべてのセッションを再生できない場合があります。

●VBR（ブイビーアール）

「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能になります。

●WMA

WMAはWindows Media™ Audioの略称で、マイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約半分）で音楽ファイルを作成でき、圧縮率を高くした場合の音質がMP3よりも優れています。

●SDメモリーカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDメモリーカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDメモリーカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

“SDHCメモリーカード”は、“SDメモリーカード”的上位規格で大容量のデータを記録することができ、データの転送速度も高速化されています。

（“SDHCメモリーカード”対応機器で使用することができます）

●SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）

デジタル録音は、音質の劣化がとても少ないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これがSCMSです。

●コピーコントロールCD、レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。

コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されます。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



●AAC

衛星デジタル放送や地上デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

●データ放送

データ放送には番組に連動した内容と、番組に関係なく独立した内容があります。お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

●ハイビジョン

高精細度テレビジョン（HDTV：High Definition TV）のことです。地上デジタル放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信することができます。

走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現することができます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しむことができます。

●ワンセグ

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した移動体向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、試聴可能な範囲が広いのが特長です。

●Bluetooth

2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信を行うことができます。本機は、Bluetoothを搭載した携帯電話やポータブルオーディオとの無線通信によりハンズフリーや音楽ファイルの再生ができます。

用語さくいん

【あ行】

アーティスト	5-20
映像出力切替	4-30
液晶AI	1-18
選んで録音	5-15
オーディオ操作画面	2-3
オートスタート	4-27
おでかけ	3-13
音設定	2-6
音声操作システム	8-1
音声ダイナミックレンジ	4-29
音声入力コマンド一覧	8-7
音声入力ボタン	8-1
音声認識用マイク	8-1

【か行】

画面の調整	1-17
交通情報	3-44

【さ行】

サービス番号	3-2
サービスID	3-2
サウンドライブラリ	5-1
視聴制限	4-26
自動録音	5-15
ジャンル	5-20
推薦フォーマットソフトウェア	1-14
ステアリングスイッチ	9-1
セキュリティ	1-8

【た行】

対応SDメモリーカード	1-14
ダイレクトタッチ機能	4-15
ダウンミックス	4-28
タッチスイッチ	1-9
地上デジタル放送	3-1
デジタルテレビ	3-9

【は行】

番組表	3-21
パンスキャン	4-30

ビデオCD	4-32
-------	------

昼画面	1-17
-----	------

フォルダスキャン	4-49、7-19
----------	-----------

フォルダランダム	4-48、7-18
----------	-----------

フォルダリピート	4-48、7-17
----------	-----------

プレイモード	5-20
--------	------

ホーム	3-13
-----	------

ポータブルオーディオ	7-23
------------	------

【ま行】

マイベスト	5-20
マルチアングル	4-2
メッセージ	10-2

【や行】

夜画面	1-17
-----	------

【ら行】

ラジオ	3-41
リモコンチャンネル	3-2
レターBOX	4-30
録音音質	5-15
録音日	5-20

【わ行】

ワンセグ	3-3
------	-----

【アルファベット/数字】

AM	3-41
AUTO.P	3-42
Bluetooth	10-11
CDプレーヤー	4-40
DVDプレーヤー	4-1
FM	3-41
Gで検索	5-33、5-37
HDDで検索	5-33、5-36
iPod	7-1
MP3/WMAプレーヤー	4-43
PBC	4-33
ProLogic	4-28

知っておいてください

- RAND …4-42、4-48、5-25、6-4、7-18
- RPT ……4-42、4-47、5-25、6-4、7-17
- SCAN …4-42、4-49、5-26、6-4、7-19
- SD AUDIO……………6-1
- SDメモリーカード ……1-10、1-14、1-15
- USBメモリー ………………7-11
- Wonder Theater ………………2-10

用語さくいん

10
知っておいて
ください

知っておいてください

メモ

メ
モ

10
知っておいて
ください

知っておいてください

メモ

10
知っておいて
ください

10-15

知っておいてください

メモ

10
知っておいて
ください

